



SAGA “SAIKO” COMPANY GUIDEBOOK

佐賀さいこう企業  
ガイドブック



## はじめに

幕末維新期、ものづくりや人づくりで日本をリードしていた佐賀。現代においても、佐賀県にはその優れた技術に基づくものづくりや創造的なサービスの提供などを行うことで、国内はもとより、世界を舞台に活躍する素晴らしい企業が多く存在しています。

県では、これらの県内企業の存在を広く県民の皆さまに知っていただくことで、県内企業の認知度向上やイメージアップ、従業員のモチベーションアップや働くことへの誇りを醸成するとともに、県民の皆さまが佐賀県を誇りに思っていただくことや県外に流出している高校生や大学生等の県内企業への就職につなげるため、平成27年度（2015年度）から佐賀さいこう企業表彰を実施しており、令和元年度（2019年度）までの5年間で72社を表彰してきました。

このガイドブックでは、これまでに“佐賀さいこう企業”に認定された企業のものづくりや人づくりに対する熱い思い等を紹介しています。このガイドブックが、県内企業の皆さまの新たな取組を促進し、また、県民の皆さまへ県内企業の素晴らしさを伝える一助になれば幸いです。

**佐賀さいこう企業とは、  
次のいずれかに該当する企業で知事が認めたものです。**

- ・ 高度な技術や知的財産に基づく製品やサービスが、国内外で高いシェアを誇っている。  
または、オンリーワンなものとして評価されている。
- ・ ビジネスモデルの開発や独創的な商品・サービスなどによって、著しい成果を上げている。
- ・ 流通チャネルや販売方法等において新機軸を打ち出し、著しい成果を上げている。
- ・ 人にやさしい経営を行い、活力に満ちた魅力ある職場づくりを行っている。
- ・ 特徴ある人材育成や技能の継承を行っている。



受賞企業一覧

(2015年度～2019年度)

# 佐賀さいこう企業



## 第 1 回 [ 2015年度 ]

01	 株式会社オプティム 佐賀市	4
02	 株式会社唐津プレジジョン 唐津市	5
03	 熊本電気工業株式会社 神埼市	6
04	 小糸九州株式会社 佐賀市	7
05	 株式会社佐賀鉄工所 佐賀市	8
06	 株式会社SUMCO 伊万里市	9
07	 田口電機工業株式会社 基山町	10
08	 株式会社炭化 佐賀市	11
09	 東亜工機株式会社 鹿島市	12
10	 株式会社中村電機製作所 佐賀市	13
11	 株式会社中山鉄工所 武雄市	14
12	 株式会社名村造船所 伊万里市	15
13	 株式会社西村鐵工所 小城市	16
14	 久光製薬株式会社 鳥栖市	17
15	 富久千代酒造有限会社 鹿島市	18
16	 株式会社ブルーム 唐津市	19
17	 株式会社百田陶園 有田町	20
18	 森鉄工株式会社 鹿島市	21

19	 ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 吉野ヶ里町	22
----	--	----

20	 株式会社ワイビーエム 唐津市	23
----	---	----

## 第 2 回 [ 2016年度 ]

21	 株式会社飛鳥工房 佐賀市	24
----	---	----

22	 木村情報技術株式会社 佐賀市	25
----	---	----

23	 共立エレックス株式会社 有田町	26
----	--	----

24	 株式会社香田製作所 佐賀市	27
----	--	----

25	 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 佐賀コールセンター室 佐賀市	28
----	---	----

26	 株式会社東洋新薬 鳥栖市	29
----	---	----

27	 株式会社戸上電機製作所 佐賀市	30
----	--	----

28	 トヨタ紡織九州株式会社 神埼市	31
----	--	----

29	 株式会社中村 神埼市	32
----	---	----

30	 宮島醤油株式会社 唐津市	33
----	---	----

## 第 3 回 [ 2017年度 ]

31	 味の素株式会社 九州事業所 佐賀市	34
----	--	----

32	 株式会社EWMファクトリー 佐賀市	35
----	--	----

33	 株式会社イマリ 佐賀市	36
----	--	----

34	 岩尾磁器工業株式会社 有田町	37
----	---	----

35	 株式会社大橋 神埼市	38
----	---	----

36	 株式会社佐賀電算センター 佐賀市	39
37	 昭栄化学工業株式会社 鳥栖事業所 鳥栖市	40
38	 聖徳ゼロテック株式会社 佐賀市	41
39	 田中電子工業株式会社 吉野ヶ里町	42
40	 チクシ電気株式会社 佐賀工場 吉野ヶ里町	43
41	 日本ハードメタル株式会社 武雄市	44
42	 福博印刷株式会社 佐賀市	45
43	 株式会社ブリヂストン 鳥栖工場 鳥栖市	46
44	 宮崎鉄工株式会社 鹿島市	47
45	 レグナテック株式会社 佐賀市	48

### 第 4 回 [ 2018年度 ]

46	 株式会社AQUAPASS 有田町	49
47	 株式会社ウェアサブ 佐賀市	50
48	 株式会社川口スチール工業 鳥栖市	51
49	 九州住電精密株式会社 大町町	52
50	 九州精密工業株式会社 佐賀市	53
51	 株式会社九州トリシマ 武雄市	54
52	 古伊万里酒造有限会社 伊万里市	55
53	 サンポー食品株式会社 基山町	56
54	 西研グラフィックス株式会社 吉野ヶ里町	57
55	 武井電機工業株式会社 みやき町	58
56	 竹下製菓株式会社 小城市	59
57	 天山酒造株式会社 小城市	60

58	 株式会社トレミー 九州唐津工場 唐津市	61
59	 株式会社中島製作所 佐賀市	62
60	 日本タングステン株式会社 基山工場 基山町	63
61	 有限会社平田椅子製作所 佐賀市	64
62	 株式会社ミゾタ 佐賀市	65
63	 株式会社安永 小城市	66
64	 吉田刃物株式会社 多久市	67

### 第 5 回 [ 2019年度 ]

65	 A-noker株式会社 太良町	68
66	 農業生産法人グレイスファーム株式会社 唐津市	69
67	 有限会社サガ・ビネガー 佐賀市	70
68	 シンエイメタルテック株式会社 神埼市	71
69	 株式会社友樹飲料 小城市	72
70	 株式会社中村製材所 佐賀市	73
71	 2016株式会社 有田町	74
72	 株式会社メルシー 佐賀市	75

(各回50音順)

#### 業種アイコン説明

- |  |  |
|--|--|
|  農業・林業・漁業       |  製造業<br>(コスメ系)  |
|  建設業            |  製造業<br>(機械金属系) |
|  製造業<br>(食品系)   |  情報通信業          |
|  製造業<br>(化学系)   |  卸売業・小売業        |
|  製造業<br>(ゴム系)   |  サービス業          |
|  製造業<br>(地場産業系) |  |

株式会社  
オプティム佐賀から革新的な  
イノベーションを起こす

## ネットを空気に変える

AI※1、IoT※2、Roboticsサービスなどに関するライセンス販売・保守サポートサービスを行っているベンチャー企業のオプティム。創業は平成12年（2000年）、佐賀大学在学中に菅谷社長が立ち上げました。「コンセプトとして“ネットを空気に変える”を掲げ、インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことを目指しています。これから第4次産業革命が全ての産業を、企業を一変させると考えていて、創業以来全ての人々が等しくインターネットのもたらす、創造性・利便性を享受できるようサポートできるプロダクトの開発に尽力しております」と細見リーダー。AI、IoTを活用したサービスは多岐にわたり、農業、医療、建築などさまざまな分野でサービスを提供しています。

## 世界一AIを実用化する

「菅谷が佐賀大学の農学部出身だということもありますが、農業はAIやIoTで変わる度合いが大きく、イノベーションができると考えました」と細見リーダー。特に佐賀では、“楽しく、かっこよく、稼げる農業”を目指すために、ドローンやAIを駆使し、病虫害を検知した箇所だけにピンポイントで農業をまけるピンポイント農業散布テクノロジーや、生育状況の解析サービスなど農業でAIを活用し、生産性の向上と効率化に寄与しています。また、医療の分野で佐賀大学医学部と連携し、医療画像診断支援AIの共同研究ならびに臨床研究を推進する取組や、佐賀銀行と連携して振り込み詐欺を検知するシステムの実証実験などのほか、九州電力、川崎重工、コマツなどと協定を結んでいるさまざまな分野に取り組んでいます。

「ソフトウェア会社でありながら米を作

る、医療分野のAI、IoTソリューションを提供する。そのために、世界を一変させるイノベーションのヒントは、他産業とタッグを組むことで生まれていくと考えています。その中で、佐賀でいち早くAIを生活の中に実用化していきたい。佐賀を発信源にして日本中に普及させ、AIを世界一実用化することでイノベーションを起こしていきたいですね」と細見リーダー。GoogleやAppleに負けない世界を驚かせるサービスをオプティムは佐賀から目指していきます。



※1 AI:人工知能のこと

※2 IoT:モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること

佐賀本店 リーダー  
ほそみ じゅん  
細見 純さまざまな用途に  
カスタマイズされた  
ドローン

## 株式会社オプティム

☎ 0952-41-4277

[所] 佐賀市本庄町1 オプティム・ヘッドクォータービル

[代表者] 代表取締役社長 菅谷 俊二(すがや しゅんじ)

[創業] 平成12年(2000年)

[従業員] 229名

[HP] <https://www.optim.co.jp/>

オプティム 検索

## ピンポイント



高解像度カメラ搭載ドローンで空撮後、AIで解析して病虫害の発生場所を特定。該当箇所に必要な量だけ農業を散布する“ピンポイント農業散布”が令和元年(2019年)九州地方発明表彰の文部科学大臣賞を受賞。世界的にも注目を集め始め、世界のテクノロジーのトレンドとしても注目されています。



# 02

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 唐津プレジジョン

110年の歴史を刻む  
世界的工作機械メーカー

### “精密な”機械を作り続ける

私たちの生活を支える発電機や自動車といったさまざまな機械。それらの製造過程で活躍するのが“機械を作る機械”である工作機械です。唐津プレジジョンは、110年にわたり、唐津の地で工作機械を作り続けてきました。

「プレジジョン」は英語で“精密な”という意味なんです。以前の社名である唐津鐵工所では、製鉄の会社などと思われることも多かったため、“精密な機械を作る”という使命を表す意味もあり、当社の創業100周年を機に社名変更を行いました」と竹尾社長。

戦前は国内5大メーカーに数えられ、戦艦大和の主砲の製作にも一役買った同社は、現在も主に大型の旋盤や歯車加工機などの工作機械メーカーとして知られています。

「世界と勝負できているのは大型・精密に特化してきたからこそ」と竹尾社長。1台

数千円から時には数億円にもなるフルオーダーの高額製品に求められるのは、何より“品質”です。110年をかけて培ってきた“KARATS”ブランドは、国内外で高く評価されています。

### とことん考え抜くものづくり

ほぼ毎朝現場に出掛け、社員への声掛けと敷地内のゴミ拾いをしているという竹尾社長。「製造業は現場にさまざまなヒントが落ちています」との言葉通り、そこから新たな製品につながることも多いそうです。

社員との対話を大切にしており、「最終的に全ては“人”」と竹尾社長は言い切ります。同社は150名に満たない社員数ですが、一騎当千の少数精鋭主義で、生え抜きの職人も多く、定年後の再雇用も盛んです。

竹尾社長の口癖は「とことん考えよう」。細部に及ぶ“こだわりのものづくり”

の精神は、社員の一人一人に浸透しており、性能・精度・使い良さの全ての面において、お客さまの要求に100%応えられるよう、現在ではミクロン単位での精度の追求を行い、産業用ロボット等の精密加工機械の世界でもその力を発揮。創業の理念である“用うるに利有るをつくり売るに利有るものを追わず”の精神で、工作機械の未来を開き続けています。



代表取締役社長  
たけお けいすけ  
竹尾 啓助

大型・超大型軸物を  
高精度に加工する  
大型旋盤



## 株式会社唐津プレジジョン

☎ 0955-72-1111

[所] 唐津市ニタ子3-12-41

[創業] 明治42年(1909年)

[従業員] 133名

[HP] <http://www.karats.co.jp/> 唐津プレジジョン 検索

### このポイント!

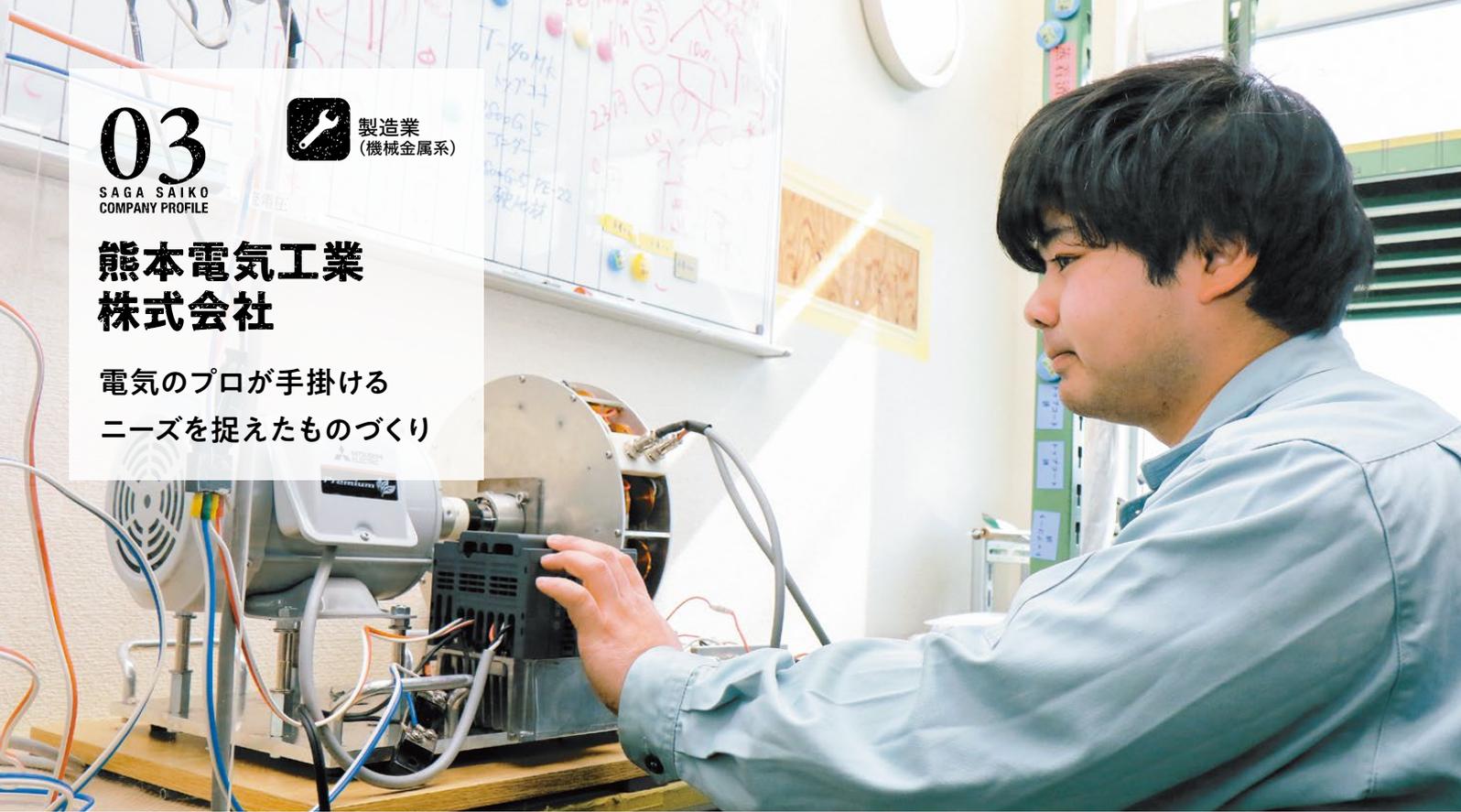


耐用年数は30年以上という“KARATS”の工作機械。「海外での納品を終えた帰り際、1本のネジを締めに戻った職人もいます。おかげで10年間ノートラブルです」と竹尾社長。正確で精密な独自の技術とともに“そこまでやるのか”というほどの職人魂がブランドを支えています。



## 熊本電気工業 株式会社

電気のプロが手掛ける  
ニーズを捉えたものづくり



### “諦めない”ものづくり

昭和46年(1971年)に電気工事を行う企業として創業した熊本電気工業は、電気工事だけではなく、“シャインブライト”に代表されるさまざまな特許商品の製造販売を行っている企業です。

「ものづくりを行う上で特許を取ることでも大事だと思うのですが、常にお客さまが何を求めているかを捉えることがより大切です。そこに必ずヒントがあります」と熊本社長。高い省エネ効果を発揮するリフレクターに、長寿命の無電極ランプを組み合わせた照明の“シャインブライト”は、ももとは工場の電灯の数を減らした上で、広範囲を明るくしたいというお客さまの要望から生まれた商品です。その後、特許を取得し、平成23年(2011年)には省エネ大賞、平成24年(2012年)には日本機械工業連合会会長賞を受賞しました。熊本社長は「重要なのは、企業が何を作り出せばいいのか

を見つけ出し、作り上げることだと思います」と話します。

さまざまな商品を開発している同社ですが、その過程ではいくつもの失敗を重ねてきました。そこから生まれるものづくりの基本精神は、“諦めないこと”です。社員全員に諦めない精神が浸透しています。

### 人に喜ばれるものづくり

「シャインブライトをあるお客さまに納めた時に、受注していただき感謝していることを伝えると、お客さまは『これはお金が喜んでいるんですよ』とおっしゃいました。とても感動しましたし、勇気もいただきました。商品の価値は人に喜んでもらうことで上がると思います」と熊本社長。今後は、新たに商品化したスポットエアコンなどの商品の認知度を上げていき、お客さまにより高い付加価値の提案を行っていき

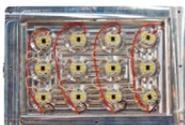
ます。

「自分たちが何を作ればお客さまに支持されるのかを見つけ出すことが、どこの企業にも求められていると思います。ものづくりに決まったルールはありません。ゼロから作ることがものづくりなんです。だから面白いんですよ」と、熊本社長のアイデアを中心に、熊本電気工業は社会の課題を解決していきます。



代表取締役社長  
くまもと もとのぶ  
熊本 元信

省エネ効率がさらに増した  
シャインブライトLED照明



## 熊本電気工業株式会社

☎ 0952-53-1088

[所] 神崎市神埼町尾崎3274-1

[創業] 昭和46年(1971年)

[従業員] 11名

[HP] <https://www.kumamotodk.co.jp/>

熊本電気工業 検索

### このポイント!



熊本電気工業の商品開発は多種多様。特許を取った“シャインブライト”をはじめ、スポットエアコンなどの商品を作っています。中でもスポットエアコンは令和元年(2019年)12月に、佐賀県でトライアル発注製品に選定され、塩田工業高校に納入。また、工場などの環境改善にも寄与しています。



04  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 小糸九州株式会社

“安全を光に託して”



### 佐賀から光の革新を

KOITOグループは、大正4年(1915年)の創業以来、自動車、鉄道、さらには航空機や船舶などに使用されるあらゆる照明機器のサプライヤーとして、世界五極(日本、北米、欧州、中国、アジア)のグローバルネットワークにより世界中のお客さまに製品・サービスを提供しています。また、世界で初めて実用化したLEDヘッドランプなど、安全や環境に配慮した新技術や新製品の開発にも積極的に取り組んでいます。

小糸九州はKOITOグループの九州生産拠点として、平成17年(2005年)に佐賀市久保泉工業団地に誕生しました。以来自動車用照明機器分野において西日本地域の自動車産業の一翼を担っており、自動車用照明機器のリーディングカンパニーとして、佐賀から光の革新を続けています。

### 安全と高品質の両立

自動車用ヘッドランプは、前方視認性の確保とともに高いデザイン性が要求される自動車部品です。安全・環境に寄与するLED・ADB※のさらなる普及により、ランプ自体も高機能、高意匠化し、複雑化が進展しています。

また、標識灯は、後続車への迅速な意思伝達を可能にすることで安全性に寄与しており、デザイン的には長尺化が進んでいます。

このような急速な技術革新に対応した高品質の製品を早期に市場へ投入するため、KOITOグループは、先進技術の開発をスピードアップさせています。その中で特に重要となるのが、生産体制・品質保証体制の強化(現場力強化)であり、全社を挙げたルールの遵守、徹底した横展開、さらには社員一人一人の品質意識の向上を図ることで、お客さまに安全・安心、高品質の製品をお届けしています。

最適な光を作り出すため、光源・配光制御部品を開発から生産まで一貫して行うトータルサプライヤーの小糸九州。ランプに必要な全てのものを、生産・技術部門が連携を図り、新技術や新工法を織り込みながら作ることで、お客さまの要望に応えられる“ものづくり”を追求しています。



※ADB:配光可変ヘッドランプのこと



代表取締役社長  
たかかわ おさみ  
瀧川 修已

最新技術が投入された  
LEDランプ



## 小糸九州株式会社

☎ 0952-71-8355

[所] 佐賀市久保泉町上和泉1580-6

[創業] 平成17年(2005年)

[従業員] 1,246名

[HP] <http://www.koito-kyushu.co.jp/> 小糸九州 検索

### このポイント



小糸九州には、科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞を受賞した技術者が多く、平成30年(2018年)には4名、その翌年には2名と2年連続で受賞を果たしています。これらの高い技術がランプ作りに生かされています。

05  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 佐賀鉄工所

完全一貫生産システムで  
高品質のボルトを提供



### ボルトの専門技術者集団

昭和13年(1938年)に創業した佐賀鉄工所は、昭和20年代から自動車、農業機械に使用されるボルトの提供に特化し、現在は自動車用ボルトのトップメーカーです。佐賀工場をはじめ国内外8カ所に製造拠点をもち、月に1万種類以上、数億本に及ぶボルトを生産。「材料の加工から成形、ねじ転造、熱処理、表面処理など、全ての工程を自社内で確実に管理する“一貫生産方式”を採用しています」と中島工場長。業界でも数少ない生産体制で、各工程の徹底した品質管理が高品質・高機能のボルト製造を可能にしています。

その中でも主要製品とされているのが高強度ボルトです。自動車の心臓部と言えるエンジン部分に使用するため、高いスペックが要求されます。日本では、製造できるメーカーが数社に限られ、高強度ボルトを製造できるかどうか、ボルトメー

カーの技術力を計る尺度とも言われています。

### 企業ブランドの立ち上げ

創業80周年を迎えた平成30年(2018年)には、コーポレートブランドの“DEXTECH”<sup>デクステック</sup>を立ち上げ、同社が初めて海外進出をして大きな転換点になった、アメリカの子会社の社名が由来で、「地元では“佐賀鉄工所”という名称が親しまれていますが、業務内容がイメージしにくく、特に海外では分かりにくいようです」と中島工場長。ブランド立ち上げは、自社の強みをさらに磨き上げ、国内外でお客さまに安心していただける確かな製品と未来を切り開く締結技術を提供し続ける礎と言えるでしょう。

同社の強みは、単に設計図通りのボルトを作るのではなく、仕様に応じた最適な締結技術を提供できることです。締め付けに

バラつきがなく、一定の力で締結ができるかを分析・評価するための部門もあり、日々、研究開発に取り組んでいます。まさに、小さなボルトで支える大きな未来。ガソリンから電気へと自動車は進化し、時代が求めるボルトが変化したとしても、業界屈指のものづくり力で産業社会の発展に貢献し続けていきます。



佐賀工場長  
なかしま なおき  
中島 直樹

デクステックブランドの  
高強度エンジンボルト



## 株式会社佐賀鉄工所

☎ 0952-31-2111

[所] 佐賀市神園1-5-30

[代表者] 代表取締役社長 坂田 潤一(さかた じゅんいち)

[創業] 昭和13年(1938年)

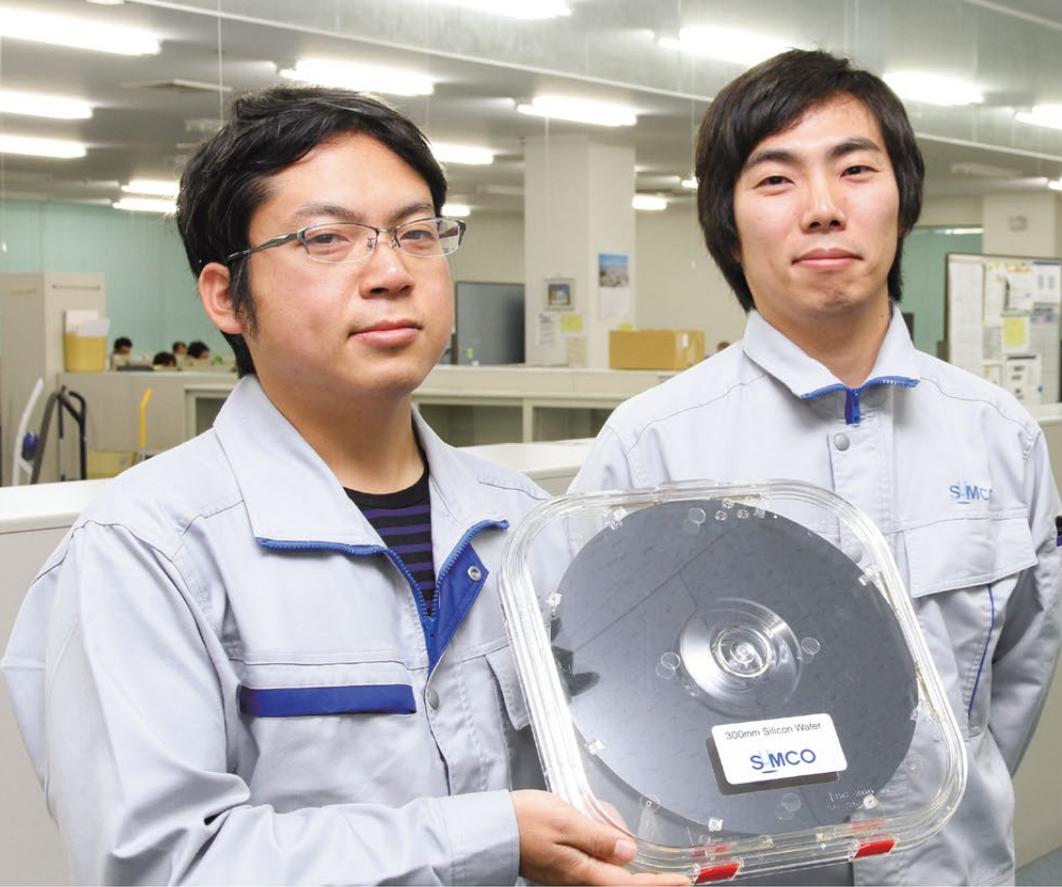
[従業員] 803名(国内)

[HP] <https://www.dextech.co.jp/> 佐賀鉄工所 検索

### このポイント!



毎月、数億本も生産するボルト一本一本に責任を持つため、全数検査ラインで異品混入や形状不良をチェック。あらゆる角度から徹底的に行う品質管理は、“一本も不良品を出さない”という強い決意の表れです。厳しい検査を合格したボルトだけが世界中の車で使用されています。



06  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 SUMCO

技術で世界を牽引する  
シリコンウェーハメーカー

### 佐賀から世界へ

パソコンやスマートフォン、デジタル家電等の電子機器、自動車や医療機器、産業用機械の制御装置のみならず、交通機関や公共インフラの制御に至るまで幅広く私たちの生活を支えている半導体デバイス。

SUMCOでは、半導体デバイスの大切な基板材料となっているシリコンウェーハを作っています。シリコンウェーハは、直接目に触れることはなくとも、現在の私たちの生活に欠かせないものとなっています。

そのシリコンウェーハを世界を相手に供給する製造拠点が伊万里市と江北町にあります。

東京に本社を置く同社は、平成11年(1999年)に住友金属、三菱マテリアル、三菱マテリアルシリコンの共同出資で設立されました。

「シリコンウェーハの製造に欠かせない

潤沢な水や電気、優秀な人材が豊富なこの佐賀の地が、行政や地域のさまざまな支援もあり、当社の一大製造拠点として発展してきました。佐賀県には昭和48年(1973年)に住友金属と大阪チタニウム製造の共同出資により九州電子金属を設立、2年後に工場が稼働を開始しました。徐々に規模を拡大し、現在佐賀県(九州事業所)には3,000名ほどの社員が働いています。実は県内では最も従業員の多い会社なんです」と平本副社長。

### 世界最高品質を支える誇り

「シリコンウェーハは、徹底的にクリーンな環境で製造しますが、実際の製造現場は自動化が進み、人はほとんど現場に入らず、主に設備やデータの監視を行っています。そのため“ものづくり”の実感は薄いかもしれませんが、お客さまからは高品質

の製品を求められ、少しのトラブルがあったという間に不良品の山につながるため、人が行う作業も手は抜けない」とのこと。

現場のモチベーション強化のため、歩留りや生産性を上げる提案の発表会も全社で行っており、報奨金も用意しています。離職率は極めて低く、佐賀県では初の事業所内認可保育園を設置するなど、福利厚生にも力を入れています。

「改善・改良の積み重ねが生んだノウハウで、繊細なロジック半導体の使用に耐え得る世界最高品質のウェーハを作り出しています」と語る平本副社長からは、製品への絶対的な自信と人々の生活を根底で支えているという誇りが伝わります。技術で世界を目指し、SUMCOは挑み続けます。



代表取締役副社長  
生産本部長 九州事業所長  
ひらもと かずお  
平本 一男

SUMCOが製造する  
シリコンウェーハの技術は  
世界トップレベル



## 株式会社SUMCO

☎ 0955-22-7015

[所] 伊万里市東山代町長浜826-1

[代表者] 代表取締役会長兼CEO 橋本 眞幸(はしもと まゆき)

[設立] 平成11年(1999年)

[従業員] 8,017名(グループ会社含む)

[HP] <https://www.sumcosi.com/>

SUMCO 検索

### このポイント!



SUMCOのシリコンウェーハの世界シェアはなんと3割。その品質は、主要な取引先であるSamsungやIntelなど世界トップの半導体企業からの折り紙付きです。同社のシリコンウェーハは、あらゆる技術

革新の礎となっていますが、私たちの未来の生活をさらに便利なものにするために、同社は今日も研究と開発に励んでいます。



## 田口電機工業 株式会社

ハイテク技術を支える  
“めっきのデパート”



### 表面処理のエキスパート

電気めっき、合金めっき、無電解めっき、複合めっき、研磨加工など表面処理全般の加工を行う田口電機工業。50以上のめっきの品種を取り扱うことで、“めっきのデパート”とも称されています。

「めっきは、ものづくりに欠かせない加工技術。鉄や銅などの材料にめっきを施すことで、サビ防止や耐久性、電気伝導性や装飾性などさまざまな機能を持たせることができます」と田口社長。

顧客からの多種多様なオーダーに応えられる高精度の加工技術が評価され、取引先は半導体・液晶製造装置をはじめとするIT関連、ロボット産業、自動車や医療機器の分野など約1,700社に及びます。「他社では“できません”と断られたようなものでも、“やってみましょう”とチャレンジするのが我が社のモットーです」。その高い技術力を裏付けるように、平成27年（2015

年）にはパワー半導体基板への精密めっき加工の量産をスタート。さまざまな産業機器に活用されるパワー半導体は急成長の市場で、同社では主に電気自動車、ハイブリット自動車のモーターを制御する半導体部品の加工を手掛けています。

### ナノテク分野の微細加工

めっき加工の技術を磨き続けるため、研究開発にも積極的で、特に注目すべきはナノテクノロジーの分野。佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターにおいて、シンクロトロン光によるX線照射で微細加工技術の研究開発を行っています。例えば、世界最小といわれる直径0.1ミリの歯車は同社の技術でしか作れないナノ部品。国内外のナノテク関連の展示会でも注目度は高く、最先端の医療分野で活用されることが期待されつつ、実用化は5~10年先のこと。

「我が社だけのオンリーワンの技術ですが、実際に使える市場はまだありません。けれど、未来のナノテク分野に必ず生かされる技術だと確信しています。目指すは、世界初のマイクロマシンメーカーです」と田口社長。ナノテクノロジーの最先端技術を佐賀から世界へ。未来を見据えた大きなチャレンジはこれからも続きます。



代表取締役社長  
たぐち ひでのぶ  
田口 英信

直径0.1ミリの超微小歯車



## 田口電機工業株式会社

☎ 0942-92-2811

[所] 三養基郡基山町小倉399

[創業] 昭和27年(1952年)

[従業員] 75名

[HP] <http://www.taguchi-dk.co.jp/> 田口電機工業 検索

### このポイント!



経済産業省の支援を受け、平成19年(2007年)からシンクロトロン光X線による微細めっき技術の研究開発をスタートさせ、最先端のナノテク加工技術を確立。医療機器メーカーをターゲットに、手術器具や医療用ロボット向けのマイクロパーツやマイクロマシンの製品化、市場化に取り組みます。

たんか  
株式会社炭化

 独自の鮮度保持剤を開発  
世界の食品ロス低減へ

## 青果物の鮮度保持剤を開発

私たちの食生活に不可欠な青果物は、出荷された多くが貯蔵、輸送、販売などの過程で傷み、国内では約45%という高い割合で廃棄されています。炭化は、この食品ロスの低減に寄与する鮮度保持剤“Tanka fresh.®”を開発。日本および海外でも特許を取得し、青果物の物流分野を中心にグローバルに展開しています。原料は、放置竹林の竹を500~700度で炭化し、10ミクロン以下に粉碎した微粉竹炭と嬉野の三番茶のカテキン成分を混合、ゲル化し乾燥させたもの。エチレンやアンモニアなどの発生ガス類を吸着し、呼吸する青果物のCO<sub>2</sub>を一定に保ちます。捨てられるはずだった素材を活用した天然由来で安全性の高い製品です。

また、佐賀県の特許である酸化チタンによる“光触媒”を活用した鮮度保持システム“Tanka fresh.UV”も開発。例えば、日本が

韓国、中国を経由して台湾へ運ばれる混載の定期便では、通常5日ほどで劣化が始まるイチゴも、このシステムを使えば28日経った後も新鮮さを保つことができます。これにより船やトラックでの運送も可能となり、コスト削減にもつながります。

## ベンチャー企業として成長

入江社長は、建設会社を定年退職した後、それまでの経験とは別の分野で起業しました。「竹は森林の浅いところに根を張るため、山に水分が浸透せずミネラル分の乏しい水が森から川、そして海へと運ばれます。里山の整備のために放置竹林の竹炭を利用したビジネスを考えました」と入江社長。事業を模索し、社会の課題と向き合いながら行き着いたところが佐賀県茶業試験場でした。他機関の協力も得て、竹炭と茶葉を組み合わせた鮮度保持剤の発明

が実現したのです。

現在は花の鮮度保持も含め東南アジアや中国などに展開するほか、大手運送会社との連携による事業も進めています。カテキンなど茶成分の応用も視野に、成長途上の市場へと精力的にアプローチし、シェアを拡大。社会貢献とともに人々の豊かさの向上を目指します。


 代表取締役社長  
いりえ やすお  
入江 康雄

 青果物の鮮度保持剤  
“Tanka fresh.®”


## 株式会社炭化

☎ 0952-51-8811

[所] 佐賀市富士町古湯2655-3

[創業] 平成24年(2012年)

[従業員] 11名

 [HP] <https://tanka-eco.info/>

株式会社炭化 検索

## こだわりのポイント



放置竹林の竹炭と嬉野茶のカテキンを活用した鮮度保持剤および空間鮮度保持システムを開発し、日米で特許を取得。主に青果物の鮮度を長期間保持でき、国内や海外の物流においてシェアを広げています。捨てられるはずの素材から高付加価値を生み出し、九州未来アワードをはじめ受賞歴も多数。



## 東亜工機株式会社

世界の海を支える  
高精度な船舶用エンジン部品



### 世界トップシェアの製品

第二次世界大戦中の昭和19年(1944年)、酒蔵に铸造設備を持ち込み、艦船用の部品生産工場として創業した東亜工機。

大型タンカーやコンテナ船などの船舶用ディーゼルエンジンに使われるシリンダライナと呼ばれる筒状の部品を製造しています。

大型船舶を動かすための巨大なエンジンの爆発力を受け止める耐久性と滑らかなピストン運動を維持しながらも磨耗しない強さ。そして潮風でも腐食しない製品が特長です。

「人の命と商品を預かる部品ですので、多くの職人の手で大切に作っています。品質と納期にこだわり、実際に世界を運航する船に当社の製品を使っていただき、腐食の追跡調査を行って開発を進めました。その結果、機関長から耐摩耗性を評価いただき、世界中を走る船で使っていただいています」と光武社長。

幾度となく襲いかかる経済不況を乗り越え、現在、大型シリンダライナの製造ではシェア世界一の地位を確立しました。

### 高度な技能を若手へ伝承

シリンダライナの製造には、高度な铸造、機械加工、そして手仕上げ技術が必要。その技を磨く場所が、平成23年(2011年)に開設した技能習得道場“錬磨”で、現代の名工に選ばれたトップクラスの技術者が若手を指導しています。技能資格の取得も積極的に推奨し、現場で働く約220名の社員のうち100名以上が铸造、機械加工、仕上げなど、さまざまな分野で難易度の高い1級の資格を取得。

また、製造現場では女性の活躍もめざましく、女性が動きやすい職場環境も整っています。

「ロボット化や自動化も進めています

が、ものづくりの原点は作業員一人一人の技能にかかっています。訓練を通して身に付けた五感で感じる力が高い次元の仕事につながります」と光武社長。

新たな主力製品の開発にも積極的に取り組んでおり、その一つが発電用天然ガスエンジン向けのシリンダライナです。複雑な設計も高度な技術で再現し、世界的なメーカーからの受注も受けています。

今後も熟練の铸造技術を生かし、高精度な製品づくりに邁進していきます。



代表取締役社長  
みつとけ わたる  
光武 渉

巨大なシリンダライナ



## 東亜工機株式会社

☎ 0954-63-3236

[所] 鹿島市大字山浦丁1430-30

[創業] 昭和19年(1944年)

[従業員] 309名

[HP] <https://toakoki.co.jp/> 東亜工機 検索

### このポイント!



内径600ミリメートル以上の大型部品では国内で7割超、海外で3割超のシェアを誇る東亜工機のシリンダライナ。高い強度と精度に寄せられる信頼は厚く、メーカーは届いた製品をそのままエンジンに組み込めるほど。不良品を出さない確かな技術が、海上の安全を支えています。

# 10

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 中村電機製作所

防爆制御機器の  
国内トップメーカー

### 70年以上培った防爆技術

創業70年以上の実績と技術力を活かし、防爆業界の中でも老舗メーカーとして知られる中村電機製作所。「防爆」は聞き慣れない言葉かもしれませんが、石油や天然ガスを扱う大型プラントなど、危険場所で使う電気機器に爆発や引火を防ぐ手段を施すことです」と中村社長。引火性の強いガスが存在する場所では、スイッチを入れたときのわずかな電気火花や静電気で爆発が起こる可能性があるため、防爆機器の使用が法律で義務付けられています。

創業は鉱山用電気機器の修理サービスからのスタートで、石炭産業衰退後は工場用電気機器の防爆化に取り組み、現在は防爆制御機器等を製造・販売しています。近年は、IT機器や通信機器のニーズが高く、防爆パソコンシステムや防爆タッチパネルなどを開発。新エネルギーとして期待される水素の炎を検知する耐圧防爆型の

紫外線炎検知器も製品化しています。

### グローバルニッチトップ企業

防爆の手法は主に3種類あり、頑丈な箱で電気機器を被う「耐圧防爆」、内部と外部の圧力差で箱内への危険ガスの侵入を防ぐ「内圧防爆」、着火源にならないようにシステムを構成する「本質安全防爆」です。「その中でも一番難しいのが本質安全防爆。経験の積み重ねがあってこそ確立できる技術で、我が社がナンバーワンだと自負しています」と中村社長。

時代とともに求められる防爆製品は多様化し、年間100台売ればヒット商品といわれる世界。高い技術力はもちろんのこと、大手企業ではまねできない多品種少量生産で顧客のニーズに細かく対応し、国内有数の大きさを誇る爆発試験設備を備えていることも同社の強みと言えます。

同業・競合企業が全国で数社というニッチな産業だからこそ、国内シェアのさらなる拡大に努めるだけでなく、海外市場も視野に入れています。すでに世界20カ国以上に製品を納入し、各国の異なる規格に対応できるようにイタリアの防爆メーカーと業務を提携。業界をリードする防爆技術で、グローバルニッチトップ企業を目指しています。



代表取締役社長  
なかむら なおき  
中村 直紀

高品質の防爆装置



## 株式会社中村電機製作所

☎ 0952-30-8141

[所] 佐賀市高木瀬西6-4-7

[創業] 昭和21年(1946年)

[従業員] 72名

[HP] <http://www.ex-nakamura.co.jp/>

中村電機製作所 検索

### このポイント!



国内トップレベルの技術力と開発力で、業界内では“防爆のナカムラ”として社名が浸透。IoT※化が進展する現代に合わせ、パソコンや通信機器などIoT関連の防爆製品も手掛けています。あらゆるニーズに応える開発力で、製品の幅を広げています。

※IoT:モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること

# 11

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 中山鉄工所

現場の声から生み出す  
破碎機メーカー



### 革新的な破碎機を開発

明治41年(1908年)に創業し、100年以上にわたって破碎・選別機を作り続けてきた中山鉄工所。国内外の採石場やトンネルなどの建設現場で、同社の破碎機が活躍しています。

石を砕いてその大きさごとに選別するという作業を一貫して行う破碎機や、各現場に応じたプラントを作る同社。納めた機械のメンテナンスにも手厚く対応しています。

同社の主力製品は、電動駆動で稼働する破碎機“デンドマン”です。これまで主流だった大きな力を発揮できる油圧ポンプ式の破碎機に、同社で開発したエンジンで発電するシステムを搭載。電気のみで駆動する技術によってエネルギー効率を上げることに成功し、お客さまに好評を得ています。

ただ単に機械を作るだけでなく、お客さまの現場の状況・要望に合わせて機械

の組み合わせやアフターフォローまで考えた提案も同社の強み。「お客さまからの声を参考にしながら機械の改良・製造を行っています。開発のニーズは現場にあると考えています」と中山社長は話します。

### 現場の声を生かしたものづくり

IoT※技術を活用し、全国各地で稼働している同社の機械を通信機能によってリアルタイムで監視できるシステムを開発した同社。機械の稼働状況、機械負荷の状況、異常値など現地の状況を把握し、故障や異常が発生した場合には、いち早くサポートやメンテナンスの対応ができるようになりました。「これまでお客さまからの連絡がなければ機械のトラブルを把握できませんでしたが、この技術によってお客さまの作業停止時間の短縮を可能にしました」と中山社長。

さらに、バッテリーのみで稼働する破碎機や環境に配慮した破碎機の開発も行うほか、小水力発電などの新たな分野にも挑戦し、海外の電気の通っていない地区への技術の提供も視野に入れています。中山鉄工所はよりいっそう技術向上への努力を重ね、お客さまとのつながりを深めることで、長く続く企業を目指します。



※IoT:モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



代表取締役社長  
なかやま ひろし  
中山 弘志

世界初となるバッテリー駆動  
破碎機“デンドマン”



## 株式会社中山鉄工所

☎ 0954-22-4171

[所] 武雄市朝日町甘久2246-1

[創業] 明治41年(1908年)

[従業員] 120名

[HP] <https://www.ncjpn.com/>

中山鉄工所 検索

### このポイント!



中山鉄工所には、インドやインドネシアなどから来る技能実習生も数多くいます。“自国に帰っても弊社の技術や思いを持って活躍してほしい。そこに海外への人脈も生まれる。”という中山社長の思いから、多様な経験を積んだ外国人技術者を育成しています。



# 12

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 名村造船所

伊万里から世界へ  
チーム名村で存在感を示す

### チーム名村のものづくり

バルクキャリアと呼ばれる大型の貨物船をはじめ、タンカーなど大型の商船を製造する新造船事業を中心にしながら船舶修繕事業や鉄橋を造る鉄構事業を展開している国内屈指の造船メーカー名村造船所。明治44年(1911年)に大阪の造船業として創業、昭和49年(1974年)には戦後の高度成長期で大型の貨物船の需要増に伴い、造船に好適地である伊万里へ工場進出しました。現在では同社の全ての船を伊万里工場で製造しています。

同社の強みはものづくりを支える高い技術力とチーム力。1隻あたり何万点にも及ぶ部品一つ一つに職人の技術力が求められます。開発から製造に至るまで“お客さまが真に求めるものを提供し続ける”という思いで“チーム名村”として、ものづくりを行っています。近年では、燃費性能が良く長い距離を航行できる環境に優しい船や、

天然ガスなどの代替エネルギーで動く船など、お客さまからのさまざまな要望に柔軟に応えるものづくりを行っています。その中で開発したのが、船舶の推進性能を向上させるために船尾につける特殊なフィンで、同社独自の技術として特許を取得しています。

### より技術を高みへ

船造りは答えがないから難しいと言われていています。“これが正解”ということがないからこそより高い技術を磨かないといけません。人づくりにおいては、大学と連携し、スタッフに博士号を取得させる社内制度など、スタッフの自己研鑽と部門ごとに調査研究を行い課題解決を進める取組を行っています。

お客さまからの多様なニーズに柔軟に対応するために、平成31年(2019年)4月か

らは技術開発センターを設置。他社に負けない性能や新技術などの開発を行うことで、さらなる造船技術の向上を図り、挑戦し続けることにより、“名村じゃないといけない”とお客さまから求められる企業であり続けるべく、名村造船所は存在感を示し続けます。



代表取締役社長  
なむら けんすけ  
名村 建介

25万トンの鉄鋼石を  
運べる船“WOZMAX”



## 株式会社名村造船所

☎ 0955-27-1121

[所] 伊万里市黒川町塩屋5-1

[創業] 明治44年(1911年)

[従業員] 1,094名

[HP] <https://www.namura.co.jp/> 名村造船所 検索

### このポイント!



名村造船所では、造船技術を生かして鉄構事業にも取り組んでおり、社会に大きく貢献しています。主に、橋梁や沿岸施設などの鉄構造物を商品化しており、造った橋は六角川大橋や新門可動橋など数多く、九州でトップクラスの実績を誇ります。

# 13

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 西村鐵工所

未知の分野にも  
独自の技術で果敢に挑戦

### 創造と挑戦の機械メーカー

大正9年(1920年)に創業し、今年で創業100周年を迎える西村鐵工所は、農業用ポンプや土木用ポンプ、砕石プラントの製造に始まり、現在では産業用乾燥機とバケットコンベヤを製造しています。西村代表は「社名だけ聞くと小さな町工場をイメージされるかもしれませんが、下請け業務は請け負わず、独自の技術で独自の製品をゼロから作って形にする機械メーカーです」と話します。

日本経済の発展とともに、時代に求められる製品を生み出してきましたが、そのきっかけは技術者でもあった先代社長の「面白そうだからとりあえず作ってみよう」という直感的なひらめきでした。思いついたアイデアを形にするため試作を繰り返し、未知の分野にも果敢に挑戦。「たとえ失敗してもそこから改善点を見出し、次の製品開発につなげていきました」と西村代

表。既成概念にとらわれない“創造と挑戦”こそが、ものづくりに欠かせない精神であり、その精神は社員一人一人に今も息づいています。

### 他社にない製品を開発

事業の主力は、産業廃液を乾燥させて処理する“CDドライヤー”と粉粒体を垂直に搬送するバケットエレベーター“I-Bコンベヤ”の製造です。昭和40年代に開発されたI-Bコンベヤは、垂直輸送の常識を変える独自の構造が高く評価され、昭和53年(1978年)には発明大賞特別賞を、平成4年(1992年)には科学技術庁長官賞など数々の賞を受賞しました。

CDドライヤーが開発されたのは、多くの企業が環境保全活動に取り組み始めた時代で、廃液処理のコストを削減できる製品に産業界が注目。その用途は時代とともに

拡大し、今では電子部品や食材の乾燥などにも使われています。顧客ニーズに合わせてカスタマイズされた製品は、国内外を問わず取引され、海外輸出実績も10カ国以上。韓国やドイツでは現地企業と提携し、海外市場の開拓を進めています。常にチャレンジ精神を持ち続け、他社にはまねできない技術力と開発力で、世の中から必要とされるものづくりにこれからも取り組んでいきます。



代表取締役  
にしむら あきひろ  
西村 明浩

高性能・高効率を実現した  
CDドライヤー



## 株式会社西村鐵工所

☎ 0952-66-0001

[所] 小城市牛津町柿樋瀬286-4

[創業] 大正9年(1920年)

[従業員] 57名

[HP] <http://www.nisitec.co.jp/> 西村鐵工所 検索

### このポイント!



昭和62年(1987年)に完成した“CD(コンパクト・ディスク)ドライヤー”は、産業廃液などを高熱の円盤に当てて蒸発させ、乾燥処理する仕組みで、発売以来500台以上を売るロングセラー製品。主要部品のみを輸出し、アフターサービスを現地企業に任せる戦略で海外展開も進めています。

## 久光製薬株式会社

貼付剤による治療文化を  
世界中の人々に伝えたい



### 貼って手当てする治療文化

弘化4年(1847年)に創業した配置売薬業を原点に鎮痛消炎貼付剤を中心とした医薬品を提供する久光製薬。代表商品である“サロンパス®”は、世界100カ国以上で商標登録され、今では世界共通語にもなっています。「大切な人に手を添え、心を込めて癒す“手当て”のように、貼って手当てする貼付剤は、世界に誇れる日本の治療文化です。その良さや感動を世界中の人にお伝えしたい」と高尾取締役BU本部長。今でこそ世界的に認知された“サロンパス®”ですが、昭和9年(1934年)の発売当時は、商品の良さを一人でも多くのお客さまに知ってもらおうと実物宣伝を実施。いわゆる試供品を配布する手法※で、営業マンは名刺代わりに配って回り、当時の社長が銭湯に向いて風呂上がりのお客さまに貼って回ったというエピソードもあります。

創業当時から変わらないのは、お客さま第一主義であること。お客さまの声を反映しながら貼りやすさや肌への優しさを追求し、さまざまな商品改良を重ねてきました。“今まで以上に快適に使えるように”という、お客さまへの思いがものづくりの原動力になっています。

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、多くのトップ企業が名を連ねるオフィシャルパートナーの一員として大会をサポート。オリンピックという一大イベントをきっかけに、貼って手当てする治療文化を世界中の人に体験してもらい、未来に向かって貼り薬の新しい価値を生み出していきます。

### スポーツの振興に貢献

同社は医薬品の提供を通じた人々の健康づくりだけでなく、文化・芸術の振興やスポーツ支援にも取り組み、企業市民として地域社会との関わりを深めています。創部70年を超える女子バレーボールチームは、久光製薬スプリングス®としてV.LEAGUEに所属し、数々の栄冠を獲得。平成29年(2017年)には佐賀県と連携協定を結び、バレーボール教室を定期的に開くなど地域の活性化にも積極的に関わっています。



※現在は薬機法により薬局・薬店以外での医薬品の試供品は配布しておりません



取締役BU本部長  
たかお しんいちろう  
高尾 信一郎

本社内にある“実物宣伝”を体験できる薬店



## 久光製薬株式会社

☎ 0942-83-2101

[所] 鳥栖市田代大官町408

[代表者] 代表取締役社長 中富 一榮(なかとみ かずひで)

[創業] 弘化4年(1847年)

[従業員] 1,600名

[HP] <https://www.hisamitsu.co.jp/> 久光製薬 検索

### このポイント!



日本における鎮痛消炎貼付剤のリーディングカンパニーで、代表商品の“サロンパス®”は約40カ国に輸出。ブランド力の強化と知的財産保護にも積極的に取り組み、CMで使用されている“ヒサミツ♪”のメロディーとロゴの動きは、日本で初めて新しいタイプの商標として登録されました。

# 15

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(食品系)

## 富久千代酒造 有限会社

米本来の味を大切に  
地元に誇れる酒造り



### “鍋島”誕生のきっかけ

大正末期に創業し、“泉錦”や“富久千代”銘柄で地元に愛されてきた富久千代酒造。1970年代後半から日本酒消費量の低迷期に入り、さらに1990年代からの小売免許緩和によりディスカウントストアやスーパーマーケットの台頭で価格競争が激しくなると、経営が圧迫され始めました。その中でも酒質にこだわった酒造りを行い、今後どのようなお酒を造ろうかと模索していたところに転機がありました。「北九州の酒屋が小売店を中心にオリジナルのお酒を造る事例があり、そこへ学びに行った時、社長から『地元に誇れるようなお酒を造りなさい』と言われたのが“鍋島”を造るきっかけです」と飯盛代表。

そこで、平成8年(1996年)に地元佐賀の若手の小売店を口説き、飯盛代表も含め5人のメンバーで品質にこだわった日本酒を造ろうとプロジェクトチームを立ち上げ

ました。当時のことを飯盛代表は「ブランド名を決めることが難しかったですね。いろんな案が出ましたが、地元が誇れるお酒にしたいという熱い思いから、佐賀新聞で公募を行いました。そこで決まったのが“鍋島”です」と話します。

さらなるブランディングのために、製造ブランドを“鍋島”一本に。以後少しずつ“鍋島”は認められ、全国酒類鑑評会で7年連続金賞を受賞するなど、現在も高い評価を受け続けています。

### “鍋島”の製造コンセプト

“鍋島”の酒造りについて、「米の力を信じて、その特徴を生かしたこうじ造りや発酵管理をするほか、生酒のようなフレッシュさを求めた火入れの酒造りをしています。これからは食事に合うお酒、飽きずに飲み続けられるお酒を目指して、もっとい

ろんなシーンで鍋島を飲んでもらえるようになりたいです」と飯盛代表は話します。

現在は海外からの見学者向けに、お酒を飲んで泊まってもらえるゲストハウスを計画中。また、農業法人を立ち上げ、米づくり体験や棚田の景観を守る取組も行い、鹿島のまちづくりにも貢献できる酒蔵として、富久千代酒造は歩み続けていきます。



お米のうま味を持ち  
すっきりした味わいの  
“鍋島”

代表取締役  
いいもり なおき りえ  
飯盛 直喜/理絵



## 富久千代酒造有限会社

☎ 0954-62-3727

[所] 鹿島市浜町1244-1

[創業] 大正末期

[従業員] 22名

[HP] <https://nabeshima.biz/> 富久千代酒造 検索

### このポイント!



IWC※2011のチャンピオン・サケに選ばれ、それをきっかけに「佐賀の酒」が認知してもらえるようになりました。その時には小売店だけでなく、酒造組合や地元の酒蔵も自分のことのように喜んでくれました。

※IWC：ロンドンで毎年4月に開催される世界的なワインコンペで、平成19年(2007年)からは日本酒部門が設けられています

## 株式会社ブルーム

安全・安心を  
検査・分析で支える技術

## 検査から販売代行まで

化粧品の輸出入代行業務をはじめ、化粧品の分析などを手掛けるブルーム。平成3年(1991年)に創業し、輸入業などさまざまな事業展開を行い、今では分析試験から輸入代行、品質管理、物流までを一貫して行える体制を整えています。山崎代表は「海外からの化粧品や医薬品の検査・分析や製造販売許可などの業務は本当に複雑です。弊社の強みは、その全てを行える国内唯一のインフラを持つことです。もちろん検査・分析のスピードの速さと精度の高さも強みの一つ。そのための設備や人材も高いレベルを求めています」と語ります。

品質管理の行き届いた製品には、安全・安心という付加価値がつけます。同社は、化粧品・医薬品の国内メーカーからはもちろん、海外有名ブランドからも非常に高い評価を受け、今では全世界で300社以上

の取引を行っています。月に3,000件もの分析を行うそのノウハウはデータとして蓄積され、より良い品質向上や製造販売でのサービス向上につながり、農業や水質の分野へも事業を拡大しています。

## 唐津から世界へ

同社は、佐賀県が推進する化粧品産業の拠点づくりを推進する“ジャパン・コスメティックセンター(JCC)”の中心にもなっています。「現在、ヨーロッパやアメリカから化粧品を輸入するには、時間もコストもかかり環境にもあまりよろしくありません。化粧品は、分析データがあれば同じ製品を作ることができるので、弊社の分析ノウハウを生かしながら、JCCのパートナーたちと協力し、海外の製品を唐津で作りました。そうすることで、輸送コストやリスクを減らすことができ、環境にも良い流通

ができます。唐津は歴史的にもアジア・世界の玄関口なので好立地と言えます。弊社だけが成長するのではなく、産学官や大手企業などさまざまなパートナーと組んで唐津、佐賀を世界で有数のコスメの拠点にしたいですね。それこそが地域活性化につながると思っています」と山崎代表。

唐津からコスメをアジア、そして世界へ。ブルームには、それを支え続けるノウハウがあります。



代表取締役  
やまざき しんじ  
山崎 信二

スタッフが最新の設備で  
国内外の製品の  
安全・安心を担保



## 株式会社ブルーム

☎ 0955-70-4701

[所] 唐津市浜玉町浜崎1901-457

[創業] 平成3年(1991年)

[従業員] 40名

[HP] <https://www.bloom-jp.com/> 株式会社ブルーム 検索

## このポイント!



ブルームは、さまざまな市場ニーズに素早く応えるため、また安全・安心な製品を確実に提供するため、社内には常に最新の分析設備と充実したスタッフの体制を整えています。さらに、本社敷地内には化粧品の輸入から販売までができる国内有数の施設を有しています。

17

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

卸売業・小売業

## 株式会社百田陶園

伝統の有田焼に新しい風



### “1616/arita japan”の誕生

有田焼総合商社の百田陶園。バブル期以降の有田焼は、不況の時代が続いていました。それに危機感を抱いた百田代表は、平成24年（2012年）、デザイナーの柳原照弘氏、シヨルテン&パーイングスとともに新ブランド“1616/arita japan”を立ち上げました。「柳原君が『世界中の家庭で食事ができるようにしましょう』と話していたのを聞いて、ハッとしました。生活様式が和から洋に日本も変わってきている中で、有田焼のデザインは変わっていません。例えば、フラットなプレートを作ってほしいとデザイナーは言うのですが、これまでの日本の器にそんな形はないんです。今の時代に合った提案をすべきだと感じました。海外の生活様式に合うようにフラットなデザインが求められています。今までの発想を変えなければなりません」と百田代表。

“1616/arita japan”は、有田焼の窯元3社

と同社だけのプロジェクトとしてスタート。有田焼の伝統製法を生かした新たなデザインの器は、平成24年（2012年）のミラノサローネ※に出展され高い評価を得ました。

### 世界に通用するブランドへ

これまでの有田焼の職人たちには伝統への誇りがありました。そうした中、デザイナーと付き合っていくことで、新たな発見も多かったと百田代表は話します。「デザイナーはものづくりのとき、しっかりとしたコンセプトを持っています。職人はどちらかといえば直感と感性で作っていたので、何のためにこのデザインが必要なのかということ職人に“伝える”ことの重要性がプロジェクトを通じて大きな学びになりました」。

150年前に、有田焼がパリ万博で高い評価を得ました。再度、世界中で有田焼が見

直されることによって市場が変わる手ごたえを“1616/arita japan”でつかんだ同社。令和2年（2020年）からは、さらにデンマークのデザイナーともコラボし、新たなデザインに取り組みます。「“1616/arita japan”は有田焼のスタートで、ゼロベースという意味。有田の未来を創っていきたいです」。百田代表の挑戦は続きます。



Elizabeth Heltoft Arnbj

※ミラノサローネ：イタリアのミラノで毎年開催される世界最大規模の家具見本市



代表取締役  
ももた のりゆき  
百田 憲由

世界中で高い評価を得ている  
“1616/arita japan”



Inga Povilleit

## 株式会社百田陶園

☎ 0955-42-2519

[所] 西松浦郡有田町赤坂丙2351-169

[創業] 昭和47年(1972年)

[従業員] 20名

[HP] <https://1616arita.jp/> 株式会社百田陶園 検索

### ポイント



Takumi Ota

百田陶園がプロデュースした陶磁器ブランド“1616/arita japan”はミラノサローネで発表されたことで世界的な注目を集め、平成25年（2013年）の“エル・デコ インターナショナル デザイン アワード 2013”ではテーブルウェア部門で世界一に輝きました。

# 18

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 森鉄工株式会社

お客さまを第一に考えた  
プレス機メーカー



### 独自路線で成長

油圧プレス機や鍛圧機械の設計・製作を行う森鉄工。そのプレス機は、自動車部品をはじめ電気・電子部品など、精度の高い製品を幅広く作り出しています。

同社は、大正11年(1922年)に農業用肥料を販売する企業として創業。その後、農機具の整備やモーター部品を製造する中で、昭和46年(1971年)に“自社でものづくりを行うメーカーになる”という思いが強まり、油圧プレス機の製造を開始しました。「我が社は、プレス機業界では後発だったので、認めてもらうためにはどうしたらいいのかを考えました」と森社長。当時プレス機はヨーロッパ製が主流でしたが、コストが高く、メンテナンスやサポートの評判もよくありませんでした。そこに商機を見つけた同社は、お客さまの要望に合ったプレス機のカスタマイズやメンテナンスをすることで差別化を図りました。そうして開発

したのがファインブランキング※1プレスです。これにより精度の高いプレス機メーカーとしてのブランディングにも成功しました。「大手にはできない細やかなサービスを提供することと精度を高めていくことで、少しずつ実績を上げてきました」と森社長は話します。

### お客さま第一主義

同社のものづくりの根幹はお客さまの要望にあります。「我が社の製品は、開発の段階から営業一人一人がお客さまのために何ができるかを徹底的に考えたものです。そうしたものづくりを行い、サービスを提供できることが強みですね」と森社長は話します。

今後は、IoT※2やITなど、お客さまから求められる技術をさらに高めるだけでなく、アジアやヨーロッパへの事業展開も視

野に入れていきます。「海外のお客さまにも対応できるよう、社員の約40%が海外出張の経験を積むなど、準備を整えています。中国やタイ、インドへ技術指導をしながら、その国に合った機械も一緒に提案したいです」と森社長。今では28カ国で同社の製品が使われています。

世界市場で挑戦し続ける森鉄工。徹底されたお客さま第一主義は、塑性加工エンジニアリングメーカーとしてグローバルに発揮されています。



※1 ファインブランキング：抜き打ち加工を精密に行うプレス加工技術  
※2 IoT：モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



森鉄工の代名詞  
“ファインブランキングプレス”

代表取締役社長  
もり たかかず  
森 孝一



## 森鉄工株式会社

☎ 0954-63-3141

[所] 鹿島市大字井手2078

[創業] 大正11年(1922年)

[従業員] 150名

[HP] <http://www.moriiron.com/> 森鉄工 検索

### このポイント!



森鉄工は、お客さまの製品開発をさらにサポートするため、平成27年(2015年)に“ものづくり lab”を開設。同社のさまざまなプレス機を試験運用すること

で、ものづくりを開発からサポートできる環境が整い、お客さまの要望に対し細かな対応が可能となりました。

19

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

サービス業

## ユニバーサル・ サウンドデザイン 株式会社

耳につけない対話支援機器  
高精細音響技術の結晶



### “聴こえ”の追求からの発明

平成24年(2012年)に設立し、難聴者だけではなく話す側からも歩み寄れるよう全ての人の“聴こえ”の支援を続けるユニバーサル・サウンドデザイン。

レコード会社でスピーカーの開発に携わっていた中石代表は「難聴者からの“聴こえやすい”というひと言をきっかけに、難聴者は音量を上げるのではなく、高精細でクリアにした音ならば聞き取りやすいことを新たに発見しました」と話します。そこから起業し、大学や企業との研究開発を重ね、平成24年(2012年)に医学的なエビデンスを取得した対話支援機器“コミュニケーション”が誕生しました。難聴者が装着するものではなく、話し手が難聴者に届きやすい声や音を発する、という逆転の発想から生まれた商品。さりげなく生活に溶け込むコンパクトな卵型の機器には、デザイン性だけでなく、理想の音を追求した指向性の高いス

ピーカーなど、高度な技術が集結しています。小型アンプ部分は高級スピーカーのIC部分を手掛けていた佐賀エレクトロニクスと共同で開発。現在は、その製造拠点と研究室“九州R&Dセンター”を有しています。“世界中の人にもっとコミュニケーションをしてもらいたい”と発明された商品は、全国の学校、病院、介護施設などにも導入され、販売台数は1万台に迫ります。

### QOL<sup>※</sup>の向上を目指して

広島大学で研究員を兼任する中石代表は、全国で講演を行い“聴こえ”に対する啓発活動も続けています。「“耳元で声を張り上げる”、“聞こえないだろうと無視して話す”など、難聴者への配慮や理解のなさをヒアリング・ハラスメント(ヒアハラ)と呼び、適切なコミュニケーションの必要性を伝えています。また、難聴者が認知症と誤

認されるケースが多い現状から、“聴こえ”と“脳”の関係性の研究に取り組み、聴きとる脳の力すなわち“聴脳力”<sup>ちようのうりよく</sup>を測定できるアプリも九州大学病院などと共同で開発しました。今後は治療器にも役立てていきます」と中石代表。難聴者の早期治療も視野に入れ、社会全体のQOLの向上へと前進していきます。



※QOL: 人生の質、生活の質の満足度をあらわす指標



代表取締役  
なかいしんいちろう  
中石 真一路

話し手側が使う対話支援機器  
“コミュニケーション”



## ユニバーサル・サウンドデザイン 株式会社

☎ 0952-37-8208

[所] 神埼郡吉野ヶ里町立野950

[設立] 平成24年(2012年)

[従業員] 18名

[HP] <https://u-s-d.co.jp/>

ユニバーサル・サウンドデザイン 検索

### このポイント!



コミュニケーションは、グッドデザイン賞など多くの賞を受賞。令和元年(2019年)9月には、“難聴と認知症”をテーマにしたショートムービー“気づかなくてごめんね”を俳優の石倉三郎氏が主演。これをきっかけに、同年10月からコミュニケーションのイメージキャラクターに就任いただきました。



20  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 ワイビーエム

国内シェア約70%

環境機械製造のパイオニア

### 地下と水の技術で環境を守る

「私たちの仕事は“塀の中”なんですよ」。そう明るく話してくれたのは、地盤改良や土壌地下水汚染調査などで使用される環境機械の製造で国内シェア1位を走り続けるワイビーエムの吉田社長。

中小企業庁の第50回グッドカンパニー大賞特別賞を受賞し、経済産業省の地域未来牽引企業にも選定された同社ですが、“環境機械”と聞いても、パツとは分かりにくいかもしれません。吉田社長いわく「要は、建築機械を作っている会社です」とのこと。主に工事現場の基礎に使われる機械であり、騒音や安全性の面から“塀の中”で活躍しているため、一般の人の目には触れにくくなっています。

もともとは戦後すぐに鉱山用機械の製作からスタート。地下を掘るボーリングマシンの製造を機に、建物を建てる際の基礎部分を作るための地盤改良や地下水の調

査、浄化用関連の機器製造に徐々に特化するようになりました。徹底した低騒音・小型軽量化・省人化・省力化・スピード化・コンピュータ化、そして安全を目指し、研究開発を推進しています。

### ミリ単位の制御技術でNo.1に

平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災で地盤改良等の技術が注目され、平成23年(2011年)の東日本大震災で発生した液状化現象などにより、再度その重要性が叫ばれるようになりました。東京2020オリンピック・パラリンピックを前に建築ラッシュに沸く建築業界においても、なくてはならない技術です。

「技術的には、宇宙でも制御可能です」と吉田社長が胸を張るように、進化し続ける通信技術を味方につけ、遠隔地操作による細かな制御も可能に。10メートルはある

ボーリングの機械で穴の深さをミリ単位で制御できる技術は他に類を見ません。

また、水の浄化システムの研究開発や、有明海にも応用される底質改善など環境への技術開発も進められています。

「チャレンジするところに成長がある」と語る吉田社長の下、全く新しい分野への取組も積極的に行い、次世代へ向けて挑み続けています。



代表取締役社長  
よしだ りきお  
吉田 力雄

全国の地盤改良で活躍している  
G1シリーズ



## 株式会社ワイビーエム

☎ 0955-77-1121

[所] 唐津市原1534

[創業] 昭和21年(1946年)

[従業員] 280名

[HP] <https://www.ybm.jp/>

### このポイント!



海外でもワイビーエムの機械は高く評価されており、特に東南アジア、中国にシェアを広げつつあります。事務所のあるインドネシアでは、スマトラ島に新たな高速道路を作るJICAのプロジェクトに参加。“地下と水の技術”で、美しい地球環境づくりにグローバルに活躍しています。



## 株式会社飛鳥工房

木のぬくもりを感じる  
ものづくり



### 愛情が生んだ安心おもちゃ

滑らかな肌触りと子どもがなめても安全な塗料、そして木のぬくもりを感じるデザインが人気の飛鳥工房。創業当初は、家具のつまみや取っ手を製造し、家具業界を支えていました。

それが諸富町唯一のおもちゃメーカーとして確立したのは、廣松代表が大切な我が子に安心して遊べる木のおもちゃを与えたいと、木馬を作ったことから始まります。

「子どもが最初に触れるのは木の製品であってほしいという願いで作っています。赤ちゃんが触れるものですから、何度も研磨を重ねてすべすべになるまで磨き、塗料や接着剤は口に入れても安全な天然素材の物を使っています。デザインにもこだわり、角がなく、簡単に飲み込めないように工夫しています」と廣松代表。

同社では、木材の硬さや香りなどから特

性を見極めて用途を決め、材木の仕入れ、機械加工、研磨、塗装まで全てを自社で行い、安全管理と高品質のおもちゃづくりを行ってきました。

赤ちゃんのことを考えてこだわり抜いたデザインは、グッドデザイン賞や数々の賞を受賞し、おもちゃの人気ブランドとして全国から注文が寄せられています。

### アウトドア商品が誕生

食器、パズル、時計、インテリアなどさまざまな商品が並ぶショールーム。

廣松代表は常に木材の可能性を探り、佐賀の木材を使ったぐい呑みやスピーカー、トロフィーなど新商品を開発しています。

「常にアンテナを張って考え続けています。最近、大人の遊び心をくすぐるようなアウトドア商品を開発しました。かっこよくて機能性を備え、“飛鳥工房”らしい手

に柔らかい製品です。使い心地を追求するため、ミリ単位で薄く削って試作を重ねることもあります。手間暇がかかりますが、そこに職人の技が生きて思うんです」。

新ジャンル“飛鳥工房アウトドア”はアウトドア好きな人からの反応も良く、注目を集めています。

これからも“木の良さを伝えたい”という原点を大事に、木と向き合い、挑戦と研究を続けます。



代表取締役  
ひろまつ としひこ  
廣松 利彦

廣松代表が娘さんのために  
初めて作った木馬



## 株式会社飛鳥工房

☎ 0952-47-5697

[所] 佐賀市諸富町徳富112-4

[創業] 昭和61年(1986年)

[従業員] 5名

[HP] <https://asukakoubou.com/> 飛鳥工房 検索

### このポイント!



2012年度グッドデザイン賞を受賞したどんぐりとファーストスプーン。安全な塗料を使ったファーストスプーンは形にもこだわり抜いたことが評価されました。ゆっくり転がるどんぐりは見ていてかわいらしく、音や速度の変化が楽しめます。

木村情報技術  
株式会社技術と創造力で築き上げた  
Web講演会運営・配信  
実績No.1

## 業界トップのライブ配信

インターネットを使った講演会の運営・配信サービスの先駆けの存在で、医療業界でのトップシェアを誇る木村情報技術。

全国9カ所にある自社スタジオから配信している講演会は、最先端の情報を得ようと数千～数万名の医療従事者が視聴しています。さらに講演会の収録やオンデマンド配信、リアルタイムでの投票集計システムなどのコンテンツも充実。

ライバル企業が乱立する中でも、トップの座を維持している理由について、「一番大切にしていることは、講師の先生方との関わり方というアナログな部分です。製薬会社での営業経験を基に、先生方に喜んでもらえる挨拶や振る舞いなどを社員に徹底してきました。それが選ばれる最大の要因です」と話す木村代表。

確かな技術はもちろん、企業理念に共感し、「人に喜ばれることを判断基準として仕

事を選び従事する”、“感謝と和合を大切にしていこう”という精神を社員も実践しています。

また、毎日の朝礼は全国各地のオフィスをネットでつなぎ、ライブ配信をして呼吸を合わせています。

## 人と技術を育む

同社は世界最高峰のAI※1“IBM Watson※2日本語版”を日本で初めて導入し、その活用と研究開発を手掛けています。

AIソリューション“AI-Q”は質問や問い合わせにAIが24時間365日対応し、会話感覚でやりとりができます。

業務負担軽減や効率化につながるとあって、大手企業や大学、官公庁などでも導入が進んでいます。

木村代表に今後の展望を伺うと、「本社

がある佐賀にAIが学べ、データサイエンティストを育てる“木村情報タウン”を作りたいですね。そこで年齢を重ねても働き続けられる人材を育てていきたいです。人材が育てば、それを求める企業も増えます。事業を通して、起業する際にお世話になった佐賀に貢献していきたいです」との答え。

誠実な人柄と革新的な技術で時代を開く、木村情報技術の今後の活躍に期待が高まります。



※1 AI：人工知能のこと  
※2 IBM Watson：IBMが開発した質問応答・意思決定支援システム



代表取締役  
木村 隆夫

AIお問合せシステム  
“AI-Q (アイキュー)”



## 木村情報技術株式会社

☎ 0952-31-3901

[所] 佐賀市卸本町6-1

[創業] 平成17年(2005年)

[従業員] 335名

[HP] <https://www.k-idea.jp/> 木村情報技術 検索

## ポイント



約90の製薬会社と約90の大学医学部に製品やサービスを提供し、年間2,200回のライブ配信を行っている実績が認められ、製薬会社向け“Web講演会運営・配信”で国内トップシェアに輝きました。大手企業とも取引を行い、信頼の厚い企業です。



## 共立エレクトクス株式会社

イノベーションを起こす  
セラミックス基板の技術者集団



### 世界が認める高い技術

スマートフォンやパソコン、自動車用制御回路などで使用されるセラミックス基板や電子回路印刷基板の開発・製造を行う共立エレクトクス。同社の製品は電子機器製品の内部に搭載される電子部品の主要部材として幅広く利用されており、車の回路基板については3台に1台は同社の基板が使われているなど、世界市場で高い品質が評価されています。

同社は昭和26年(1951年)に電子回路で使うカーボン抵抗器の碍子を作るメーカーとして創業。以来半世紀以上の間、電子機器技術の変遷に伴って細密な寸法精度、高い信頼性、コストパフォーマンスの良さなど、セラミックス基板のメーカーとして日々技術を磨き上げてきました。

「我が社が心掛けていることは、お客さまの声を大事にし、難しい要望にも挑戦していくことです。過去には、“基板に直径0.1ミリ

メートルの穴が2,000個近く開いていて、その穴全てに導体を均一に埋め込めないか”と難しい相談を受けましたが、試行錯誤の末に実現しました。この技術は他社との差別化につながり、ものづくりを行う上で大きな自信となりました」と西山代表。

また、セラミックス基板と回路形成を開発の段階から一貫してできる同社は、お客さまの要望を受けてすぐに提案ができるので、大変喜ばれています。

### 有田からイノベーションを

同社はさらに技術力向上を追求し、薄いセラミックス基板の開発にも力を注いでいます。コピー用紙の半分の厚みである50マイクロメートルの薄さを均一に成形する技術は、回路基板に限らず燃料電池などさまざまな分野で活用されています。

日進月歩で進化するエレクトロニクス産

業において、新たな分野への技術開発にも積極的に取り組む同社。「時代の流れに乗っていくために、技術研究はもちろん、世の中にどのようなニーズがあってどう変化しているのか、常に情報のアンテナを張っています。5G※1やIoT※2、さらには新エネルギーなどの成長分野を視野に、どんな難しい技術でも、“あそこに頼めば何とかしてくれる”とお客さまから思われる企業でありたい」と西山代表は話します。

常に新しいことに挑戦する共立エレクトクスによって、有田からセラミックス基板の技術革新が巻き起こっています。



※1 5G: 第5世代移动通信システム。1G、2G、3G、4Gに続く無線通信システムのこと  
※2 IoT: モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



代表取締役  
にしやま けんご  
西山 研吾

超小型電子部品用の  
回路印刷技術



## 共立エレクトクス株式会社

☎ 0955-46-2821

[所] 西松浦郡有田町立部甲170-1

[創業] 昭和26年(1951年)

[従業員] 120名

[HP] <https://www.kyoritsu-po.co.jp/> 共立エレクトクス 検索

### このポイント!



共立エレクトクスの“超薄厚みセラミックシート”は、強度を保ちつつ靱性も有しており、その成形技術は非常に高いと評判です。薄型化が進む電子部品や燃料電池、全固体電池などさまざまな用途開拓が進んでいます。



24  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 香田製作所

切削加工で高みを目指す  
超精密加工や難削材も

### 精度と質の高い部品作り

工業製品の組立に欠かせない部品。香田製作所は中でも金属の切削加工に特化し、自動車や産業用機械などの多種多様な部品を製造、多くのメーカーから選ばれてきました。

高性能の複合加工機から生み出される部品は、一つ一つの精度の高さに加え、手触りの良さ、仕上がりの美しさも特長です。“価値ある製品に価値ある部品を”のキャッチコピーが示す通り、特に重要で、ブランド力の高い機械に用いられ、その品質の良さが認められています。

60台の機械を揃え充実した設備は、小ロットや短納期の要望にも十分対応できる体制。関東や関西の企業、それらの九州工場などにも納入しています。また、ステンレス、チタン、インコネルなどの難削材と呼ばれる素材の切削にも取り組み、超高精度な切削加工も得意です。

初代の祖父はろくろ、2代目の父はカム式旋盤、現在はNC旋盤と道具は変わっても、受け継がれる切削加工の技術。3代目の香田社長は、さらに他社との差別化を図ることで独自の存在価値を保ち続けます。

### 働きがいを生む環境整備も

地元から通う社員が多い同社は、それぞれが自主的に働く職場を目指しています。社員は一人一つの製品を担当し、指示書を読み取り、機械を動かします。部品と一口に言っても大きさや複雑さ、素材などはさまざまで、年間を通して変化を感じながらもものづくりにじっくりと取り組みます。

「新入社員は先輩に教えられ、ある程度上達しますが、この仕事を面白いと思ってもらえるかどうかが一番重要です。情熱を持ってのめり込むほど、次のステップにつながります」と香田社長。また、加工され

た部品がどのような用途で使われているのか、社員が実感できる機会を増やすことで、より働きがいを感じてもらえと考え、展示会などへの出展や他企業との連携にも意欲的です。

今後は長年続いている中小メーカーなどの需要の開拓も視野に入れ、人の創造力が加わった精密な切削加工技術という最大の強みを生かして未来を切り開いていきます。



代表取締役社長  
こうだ かずのり  
香田 和則

どれも精巧で美しい  
大小それぞれの部品



## 株式会社香田製作所

☎ 0952-62-7500

[所] 佐賀市大和町大字川上158-1

[創業] 昭和23年(1948年)

[従業員] 17名

[HP] <http://www.kodass.com/>

香田製作所 検索

### このポイント!



創業から70年以上受け継がれている金属の切削加工技術。特に、削るのが困難な難削材と言われる素材の加工に優れ、その精巧さや質感を高めることで他社との差別化を図っています。重要な保安部品や高級機器の部品などを製造し、関東・関西を中心に九州や海外にも商圏エリアを拡大中。

25  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



サービス業

**損害保険ジャパン  
日本興亜株式会社  
佐賀コールセンター室**  
日本一のおもてなしで  
お客さまに最高の満足を提供



### 充実したスキルアップ研修

損保ジャパン日本興亜は、全国5拠点でカスタマーセンターを運営しており、その一つとして、佐賀コールセンター室は平成18年（2006年）に開設。各種保険の問い合わせや契約変更手続きに対応しています。「私たちが掲げるミッションは“日本一のおもてなしで、お客さまにとって最高の満足を提供する”。困り事は一人一人違うからこそ、それぞれのニーズに合わせた対応でお客さまに安心していただくことが私たちの仕事です」と河村室長。

顔が見えない電話対応のため、大切なのは分かりやすい言葉で伝える説明力と、相手の気持ちに寄り添う人間力。簡単に身につくスキルではないからこそ、オペレーターの人材育成には力を注ぎ、成長に合わせた研修を段階的に行っています。平成27年（2015年）には同室から電話対応コンクール全国大会に出場し、佐賀県代表とし

て初めて優秀賞を受賞しました。

### 働きやすい環境づくり

「お客さまに満足していただくサービスを提供するには、社員一人一人が仕事にやりがいを持てる働きやすい環境づくりが大切です」と河村室長。同室はオペレーターの9割以上が女性で、在職中に結婚・妊娠した場合の復職率はなんと100%。復帰に不安を感じないよう周りがサポートするのはもちろん、育児と仕事の両立がしやすいように短時間勤務も可能で、女性が働きやすい環境が整っています。

全国のお客さまから同室への入電量は年間で約33万件。平成29年（2017年）からは、お客さまを待たせることなく、スピーディーな対応ができるようにAI※を導入しています。お客さまとの通話内容をリアルタイムでテキスト化し、その内容に関連す

る資料を自動的に表示するシステムで、現在あらゆるデータを蓄積している段階です。お客さまのニーズに合わせてデジタル技術を活用しながらも、相手の気持ちをくみ取るという人間にしかできないスキルを磨き続け、お客さま対応を極めていきます。



※AI：人工知能のこと



室長  
かわむら すずむ  
河村 薦

最新の環境で、社員が  
生き生きと働ける職場



## 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 佐賀コールセンター室

☎ 0952-41-2983

[所] 佐賀市天神3-15-1 アイ・フォレストビル3F

[開設] 平成18年(2006年)

[従業員] 175名

[HP] <https://www.sjnk.co.jp/> 損害保険ジャパン日本興亜 検索

### このポイント!



ES(社員満足)の向上こそがCS(顧客満足)の向上につながるを考え、社員一人一人が生き生きと、やりがいを持って働ける職場づくりに努めています。会社に行きたくなる取組として、社員が浴衣を着用して仕事ができる夏祭りやクリスマスイベントなども好評です。

※損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、関係当局の認可等を前提として、令和2年(2020年)4月1日に商号を変更し、“損害保険ジャパン株式会社”になります



26  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



## 株式会社東洋新薬

研究開発力が強み  
健康食品、化粧品などの  
受託メーカー

### 企業を支えるものづくり

健康と美容を確かな研究実績と開発力で支えている東洋新薬。健康食品と化粧品の総合受託メーカーとして、日本および世界へ商品を提供しています。事業の中で力を注ぐのは、特定保健用食品(トクホ)や機能性表示食品の開発。健康食品業界でトップシェアを誇る大麦若葉末や葛の花エキス™、ターミナリアベリリカ™など、独自の商材を開発し、お客さまである企業に提供しています。

化粧品についてもフラバンジェノール®や神奈川大学の特許技術“三相乳化法”を活用したスキンケア用品など、付加価値の高い商品製造実績が多数。天然素材の持つ力に技術を加えた、さまざまなものづくりが得意です。また、行政や大学との連携にも積極的に取り組み、佐賀県を含む1都※1道5県や東京大学、九州大学と協定を締結。県内では唐津産の柑橘類“ゲンコウ”、佐賀

大学発ブランド野菜“バラフ®”など固有の素材を配合した化粧品を開発するほか、佐賀大学と“発酵セラミド”の共同研究を行うなど、地域社会の産業振興にも協力しています。

### ODEMで業界をリード

「当社では100名以上の研究開発員が、日々さまざまな素材に対する研究や臨床試験に取り組んでいます。中には、特定保健用食品など商品化まで長い年月がかかる案件もありますが、機能性、安全性を重視した素材の“価値”への追求は欠かせません。生産管理、知財など各分野に精通したプロフェッショナルをそろえ、それぞれのニーズに応えられる一貫したサポート体制も特長です」と服部社長。

お客さまの要望により応えられるよう製造能力を向上させ、スムーズかつスピー

ディーに商品化を実現するという強みをさらに伸ばすため、令和元年(2019年)6月、本部・鳥栖工場の近くに最新設備を備えた“インテリジェンスパーク第一工場”が竣工しました。ODM※2メーカーとしてこれまで培ってきた研究開発力等を生かし、OEM※3ををさらに拡大させる新しいビジネスモデル“ODEM(Original Design Equipment Manufacturing)”を展開し、健康と美容のフィールドで業界をリードし続けます。



※1 東京都教育委員会との包括連携協定

※2 ODM: 委託者のブランドで製品を設計・生産すること

※3 OEM: 委託者のブランドで製品を生産すること



代表取締役社長  
はっとり としみつ  
服部 利光

完成したばかりの  
インテリジェンスパーク



## 株式会社東洋新薬

☎ 0942-81-3555

[所] 鳥栖市弥生が丘7-28

[創業] 平成5年(1993年)

[従業員] 1,084名

[HP] <https://www.toyoshinyaku.co.jp/> 東洋新薬 検索

### このポイント!



特定保健用食品の表示許可数日本一、そして医薬部外品の年間承認品目数4年連続日本一の実績があります。有名メーカーの商品も多く手掛けており、健康と美容の分野で創造性に富んだものづくりを続けて大きく成長。活気にあふれた企業です。



## 株式会社 戸上電機製作所

佐賀から世界へ  
電気の安定供給を支える



### 電気を制御する開閉器

創業者の戸上信文氏のひらめきと、たゆまぬ努力から生まれた世界初の“昼夜間自動配電装置”。大正14年(1925年)、5カ国で特許を取ったこの発明をもとに設立された戸上電機製作所は、電気の安定供給を支えるメーカーとして国内外のインフラの整備に大きく寄与してきました。

特に、高圧の電気を安全に配電する開閉器などの各種配電システムは、全国の電力会社などにおいて高いシェアを誇ります。部品の製造から製品の企画開発、販売、保全まで、グループ会社とも連携した万全の生産体制です。また、業務用エアコンに使われる制御システム機器、工場に設置される配電盤など、多くの製品にも技術を応用。業界で“スイッチのトガミ”と呼ばれるほど成長してきました。

さらに、太陽光発電設備などの保守点検機器、業務用の水処理システムなど現代

のニーズにマッチしたさまざまな製品も開発。時代を見据え、創意工夫で次々と新しい分野を開拓し、中国、ASEAN諸国、北米などへの海外展開も積極的に進めています。

### 人財育成という土壌

脈々と受け継がれるのは、ものづくりの技術ばかりではありません。人財育成にかける思いの強さも伝統の一つです。昭和2年(1927年)、働きながら学業を修める“戸上電機徒弟学校”を創設、戦後も養成所を設立するなど、それぞれの時代において技能者を育てる“人づくり”を大切にしてきました。

現在、敷地内にある“修技館”では、社員に対する高いレベルの技能訓練を実施しています。熟練の技を持つ社員たちが、長い期間をかけてじっくりと指導。若手社員

が技能五輪全国大会などへの挑戦を続けています。

3代目となる戸上社長は、文化・スポーツを通しての社会貢献を重視し、グループ全体が関わる陸上競技部をはじめ、運動部のバックアップのほか、資格取得の奨励、ミャンマー人留学生の奨学金制度など、個人をも多様な形で支援しています。人の豊かさを社会、地球、未来の豊かさにつなげる佐賀のオンリーワン企業です。



代表取締役社長  
とがみ しんいち  
戸上 信一

電気の安定供給を支える  
SOG開閉器



## 株式会社戸上電機製作所

☎ 0952-24-4111

[所] 佐賀市大財北町1-1

[創業] 大正14年(1925年)

[従業員] 1,011名(グループ会社含む)

[HP] <https://www.togami-elec.co.jp/> 戸上電機製作所 検索

### このポイント!



創業者の画期的な発明により誕生した開閉器を基礎に、電気の安定供給を支える配電システムを開発。社会のインフラ整備に重要な役割を果たしています。昭和36年(1961年)には東京証券取引所への上場も果たしました。現代の名工に選ばれたマイスターが在籍し、後進の育成にも力を入れています。



28  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## トヨタ紡織九州株式会社

ものづくり力で極める安全で  
快適な移動空間

### 匠の技で仕立てるシート

トヨタ紡織のグループ企業として、シートやドアトリムなどの自動車内装部品、エンジン周辺部品を製造するトヨタ紡織九州。製品のほとんどが、レクサス車に搭載されています。「レクサスの魅力の一つは本革シート。大量生産を効率的に行う生産ラインでありながら、世界に誇るレクサス品質を徹底させるため、製造工程の細部にわたってものづくりを極めていきます」と吉川社長。

同社では、生産工程で匠の技が必要とされる最上級モデルの表皮一体発泡シートを生産。天然の本革を受け入れ時から時間と手間をかけて検査し、品質を均一化した後、高度な技術を必要とする縫製を行います。完成後の最終検査では、シートに座ったときのわずかな違いや振動などを厳重にチェックし、豪華な質感、優れたフィット感を持つ完璧な製品のみを出荷。まさ

に、洋服のオーダーメイドのような徹底した品質でシートを仕立て、運転時の安全で快適な移動空間を提案します。

### 現場力を高める人財育成

ものづくりの核となる現場力を高めるため、人財育成にも力を注いでいます。現場に必要な技能や専門知識の修得状況を評価・認定する制度を導入するほか、個々の技能レベルを競う社内コンクールを実施。また、社員一人一人が自分の能力を最大限に発揮できるよう、キャリアに応じた教育体制も整えています。さらに、多くの社員が国家技能検定にチャレンジしており、科学技術分野における創意工夫労働者賞（文部科学大臣表彰）では、これまでに7名の受賞者を輩出しました。

地域とともに成長する企業でありたいと、給与・賞与の一定金額以下の端数を寄

付するクラブの運営や日本トップリーグに参戦するハンドボール部（レッドトルネード）の活躍など、地域に根差した活動にも積極的です。「自分たちができることで地域や世界に笑顔の輪を広げるお手伝いをしていきたい」と吉川社長。高品質なものづくりを通じ、今後もより良い地域・社会づくりに貢献していきます。



取締役社長  
よしかわ やすし  
吉川 靖司

世界トップレベルの技術で  
作られる高級シート



## トヨタ紡織九州株式会社

☎ 0952-52-7111

[所] 神崎市神埼町鶴1600

[創業] 平成3年(1991年)

[従業員] 1,500名

[HP] <https://www.tb-kyushu.co.jp/> トヨタ紡織九州 検索

### このポイント!



世界各国のトヨタ紡織グループから選りすぐりの技能者が集い、組立や縫製などのものづくり力を競う“オールトヨタ紡織技能コンクール”に出場。さらに、サークル活動として、現場で実践した品質向上の取組を報告する“QC発表会”を実施するなど、さまざまな人財育成の手法で、社員の現場力や実践力をアップしています。



## 株式会社中村

クスノキから生まれる  
人と自然に優しいものづくり

### クスノキを使った新事業

昭和30年(1955年)に木材販売を開始し、昭和49年(1974年)には“中村ツキ板”として法人化した中村。

現在の主な事業は住宅資材や建材の販売ですが、平成19年(2007年)、中村彰義会長がある人から「自分の子どもがアトピーで、市販の防虫剤が薬剤なので使えず、クスノキを防虫剤代わりに使っている」と聞いたことをきっかけに、新しい事業を始めることになりました。「小さなクスノキのブロックを作り、それにクスノキのオイルを塗って繰り返し使える防虫剤として提案しようと思いついたことが商品化のきっかけです」と中村代表。

また、クスノキは製材時に端材が多く出るので、それを利用することで環境に優しいものづくりにもなると、クスノキからアロマオイルや防虫ブロックなどさまざまな商品を展開する“KUSU HANDMADE”が誕

生しました。

### 人と環境に優しい企業へ

“クス ハンドメイド”は、“クスノキの効能を使った暮らしになじむもの”をテーマに商品開発を行い、クスノキの端材を利用した防虫ブロックやエッセンシャルオイルの効能を生かした化粧品など、その商品は今では約160種類にも及びます。

現在はセレクトショップを中心に全国に販路を広げている同社。「お客さまに育ててもらっているブランドだと思っています。“クスノキのハンガーが欲しい”、“石鹸はありませんか?”など、要望に応え続けてどんどん商品が生まれました」と中村代表は笑顔で語ります。

今後は、“クス ハンドメイド”のブランド力をさらに高めるとともに、健康で快適な住まいとライフスタイルを提供する企業を目

指す同社。中村代表は「住まいだけではなく食も含めて、自然素材を生かした地球環境に優しい商品を開発していくことが私たちの使命であると思っています」と話します。人と環境に優しいものづくりを佐賀から発信しています。



代表取締役

なかむら みよこ  
中村 光子子

一つ一つ手作りの  
エコブロック  
“ECO BLOCK”



## 株式会社中村

☎ 0952-44-3550

[所] 神崎市千代田町迎島1282-3

[設立] 昭和49年(1974年)

[従業員] 29名

[HP] <https://www.eco-washi.com/> 株式会社中村 検索

### このポイント!



平成28年(2016年)、中村は新事業として健康に良いといわれているエゴマの栽培に挑戦。“えこびと農園”のブランド名で、さまざまなエゴマ商品を生産・販売しています。さらに、自然と人を大切にする商品をアンテナショップで販売することで、お客さまに自然と親しむライフスタイルを提案しています。



30  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



## 宮島醤油株式会社

食の原点から未来を創造  
“おいしい”を全国の食卓へ

### 愛され続ける宮島醤油

創業から138年の歴史を持つ宮島醤油。その商品を知らない佐賀県人はまずいない、といっても過言ではないほど、長く親しまれてきた企業です。

“食の原点”である醤油・味噌の醸造から始まりましたが、関東にも工場を置き、自社ブランド商品の強化だけでなく、食品工業や外食産業向けの業務用加工食品や調味料の生産、さらにはOEM※と、事業を拡大し続けています。

お客さまのニーズに応えるうちに、現在取り扱っている商品の数はなんと約3,500種類と多岐にわたります。特に、地元産の優れた食材を活用する“地産地工”の商品開発に重きを置き、新技術の開発にも取り組んでいます。

また、石油燃料を使わない環境先進工場化への取組などが評価され、平成30年(2018年)には経済産業省の地域未来牽

引企業に、令和元年(2019年)には中小企業庁のはばたく中小企業・小規模事業者300社にそれぞれ選ばれました。



### “人”こそ事業の要

社員教育に光を当ててきた同社。宮島社長は「事業を支えるのは最終的に“人”ですから、社員を家族のように大切にする社風があり、人材育成に力を入れています。社

員とともに成長し続ける企業でありたいです」と話します。

理学博士でもある宮島社長は、社員を対象にした社内学校“宮島技術学校”で物理化学の教鞭も執っています。専門家を招いた技術セミナーなども定期的に行われており、働く上で必要な知識やスキルを身に付けるための機会が豊富です。

また、課外活動も盛んで、バドミントン部は全国の実業団選手権で決勝リーグに進むほどの実力者ぞろい。

今後のビジョンを伺うと、「多様化する食のニーズに最新の技術で応えていくことができる企業として、人々のライフスタイルの変化に対応し、食の豊かさを食卓に届け続けていきます」との答えが。人々の生活に密着した商品を提供し続けてきた宮島醤油は、“食”から未来を創造していきます。

※OEM: 委託者のブランドで製品を生産すること



代表取締役社長  
みやじま せいいち  
宮島 清一

数多くのロングセラー商品



## 宮島醤油株式会社

☎ 0955-73-2151

[所] 唐津市船宮町2318

[創業] 明治15年(1882年)

[従業員] 698名

[HP] <https://www.miyajima-soy.co.jp/>

宮島醤油 検索

このポイント!



宮島醤油の伝統を支えてきたのは社は“去華就実”の社風。  
“外面的な華やかさを捨て、実質あることに専念せよ”との意味で、堅実に守り続けた消費者からの信頼と実績の積み重ねが、同社にしかできない商品づくりにつながっています。

31

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE製造業  
(食品系)

## 味の素株式会社 九州事業所

アミノ酸を活用し  
人にも環境にも配慮した  
製品づくり



### 研究を重ねてより良い製品を

各家庭の料理の味付けに欠かせないうま味調味料の“味の素®”。料理の基本味であるうま味は、アミノ酸の一種として知られています。

アミノ酸は、人間の体の20%を占めるたんぱく質を構成しており、体を維持するために重要な役割を担っています。さらに体の修復機能をサポートする働きもあるなど、人体には欠かせないものです。

トモロコシやキャッサバなどから糖液を作り、その糖分が発酵菌に取り込まれて発酵することによってアミノ酸は生まれます。その発酵液からグルタミン酸ナトリウムを精製し結晶化することで製品となります。

「現在では世界各地の約20の工場ではアミノ酸を製造しています」と田村所長。味の素九州事業所では、20種類あるアミノ酸のうち、医薬用途等に使用されるアルギ

ニンや、低カロリー甘味料アスパルテームの原料となるフェルアラニンなどを生産しています。

「国内生産の拠点として、常に最高技術の発酵でアミノ酸を作り出せるように研究開発に取り組み、高度な品質管理を行っています」と田村所長は話します。

### 無限の可能性を探求

アミノ酸を使った製品として、アミノ酸サプリメントの“アミノバイタル®”や低カロリー甘味料の“パルスweet®”など数多くを開発・製造。さらに、昭和31年(1956年)には、世界に先駆けて医療分野にもアミノ酸を活用し、現在も医薬用アミノ酸のトップメーカーとして名をはせています。

人と環境に配慮した製品づくりにも積極的に取り組んでおり、発酵過程でできる副産物を野菜などの肥料にし、地域の農業に

活用しています。

「アミノ酸をたくさん含んだ副産物を肥料にすると、野菜のアミノ酸量も増しておいしくなります。このように資源を循環させることを“バイオサイクル”と呼び、資源を無駄なく生かすようにしています」と、環境にも味にも良い農業の実現に貢献しています。

これからもより良いアミノ酸を提供するとともに、可能性を探求し続けます。



九州事業所長  
たむら こうじ  
田村 光司

料理をおいしくする  
うま味調味料“味の素®”



## 味の素株式会社 九州事業所

☎ 0952-47-2211

[所] 佐賀市諸富町大字諸富津450

[設立] 昭和18年(1943年)

[従業員] 274名

[HP] <https://www.ajinomoto.co.jp/> 味の素 検索

### このポイント!



イオン九州と共同で、発酵副産物を添加して製造した堆肥を利用して栽培した野菜は“九州力作野菜®”、“九州力作野菜果物®”として販売。バイオマス化により年間2,000トンのCO<sub>2</sub>削減に相当する重油の削減に貢献し、第3回ジャパンSDGs※アワードでSDGs副本部長賞を受賞しました。

※SDGs: 持続可能な開発目標。平成27年(2015年)の国連サミットで採択された国際社会共通の目標



32  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

情報通信業

イーダブリュエム

## 株式会社 EWM ファクトリー

社会のニーズに IT で応え  
地域の活性化に取り組む

### ものづくりの拠点

EWMグループの制作拠点として、九州をはじめ首都圏・東北地方の企業や公共機関のWebサイト、大規模イベントサイトの構築・運営を行っているEWMファクトリー。

福島リーダーは「友納代表は、中央集中化の現状を変え、地方をもっと元気にして日本全体を豊かにしたいと、故郷の佐賀に我が社を設立しました。培ったIT技術を活用し、地域の活性化に取り組んでいます」と話します。

クリエイターなどが集い、気軽にものづくりを楽しめる場を提供したいと佐賀市の“街なか再生計画事業”の一環で、古民家をリノベーションした、ものづくりカフェ“こねくり家”をオープン。飲食店で役立つITツールやアプリを試す実験場としての役割も担っており、実際に良かったものは他店に紹介し、喜ばれています。

さらに県内企業を対象に、AI※1やIoT※2

などの先進技術の導入支援やサポートを行う“佐賀県産業スマート化センター”を運営。

ITに対して“よく分からない”、“難しい”という人の相談窓口として、困り事や課題を聞いて、ITでの解決法を提案し、企業の生産性向上や新たなビジネスの創出につなげています。

また、先進技術を身近に感じられるようにとイベントやセミナーを開催しています。



### ITで困り事を解決

Web制作で磨いたIT技術とデザイン力を生かし、新たな視点で佐賀の魅力を発信するWebマガジン“EDITORS SAGA”の共同運営や、地域のクリエイターと仕事を生み出す“ふるさとソーシングSAGASO”などにも取り組む同社。

令和2年（2020年）4月には佐賀市富士町の廃校をリノベーションし、“SAGA FURUYU CAMP”として宿泊所をオープンさせる予定など、多角的に事業を拡大しています。

「困っている人に何ができるのかを考えて仕事を創り出すことに、私たちの存在意義があります。社風としても、一人一人が主体的に取り組み、楽しみながらも責任感を持って挑める環境です。今後もさまざまな分野にIT技術を提供し、佐賀を元気にしていきたいです」と福島リーダー。

業界の垣根を越え、人に寄り添い、IT技術で新たな可能性を開きます。

※1 AI：人工知能のこと

※2 IoT：モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



ソーシャルデザイン事業部  
リーダー  
ふくしま ふみや  
福島 史也

農業散布用に  
開発したドローン



## 株式会社EWMファクトリー

☎ 0952-41-2780

[所] 佐賀市天神3-15-1 アイ・フォレストビル2F

[代表者] 代表取締役 友納 健一郎 (とものう けんいちろう)

[設立] 平成18年(2006年)

[従業員] 69名

[HP] <https://ewm.co.jp/> EWMファクトリー 検索

### こねくりポイント



ものづくりカフェ“こねくり家”では無料のWi-Fiと電源を利用して、仕事を行っているクリエイターの姿が見られます。また、子ども向けのプログラミング教室や女性向けの講座なども開催しています。佐賀の食材を使ったメニューもおいしいと評判で、旅行者にも人気です。



## 株式会社イマリ

ネット通販事業の先駆者  
未知のビジネス領域を開拓



### 通販事業で成長、多角化も

佐賀県の小売業界でまだインターネットによる通販が盛んではなかった頃、いち早くアロマランプのネットショップを立ち上げ、大きく成長したイマリ。久保代表は、家族が個人サイトとして運営していた事業を平成19年（2007年）に18歳で引き継ぎ、法人化しました。急成長の転機は大手ECサイト“楽天市場”への出店。年商3億円にも到達するほどの売上となり、現在もアロマランプの通販業界ではシェア1位を誇ります。自社のブランド展開のほか、企業向けのフレグランスのリース業なども行っています。

平成23年（2011年）以降、サイズを細かくそろえたレディース帽子の通販事業、佐賀市内での辛麺屋初出店と、多角経営を展開。県内の事業者で初めて楽天ショップ・オブ・ザ・イヤーを受賞し、外食事業は4店舗に増えるなど業績を伸ばしています。

さらに、現在、力を入れているのが、ウェルネス事業です。平成29年（2017年）、“第3の生理用品”といわれる月経カップ“ローズカップ”を発売。安全性を追求した“メイドインジャパン”の製品として注目を集めています。

### 世界を見据えた経営

久保代表は、会社設立当初から海外展開を見据え、名の通った“イマリ”を社名にしたと言います。自社の商品をアジア向けにも販売するほか、ウェルネス事業ではアフリカの貧困問題にも目を向けるなど海外の商品動向も常に意識し、独自分野を開拓してきました。

「外食事業でも、インターネット通販の強みを生かしています」と久保代表。定期的に冷蔵庫内の点検やメニューの変更を行い生産性を上げるほか、従業員に対して

も、ルールや査定表に基づいた評点を3か月に1度給与に反映させるなど、年齢に関係なく評価します。久保代表は「もちろん人材も大切ですが、誰でもできる仕組みづくりが重要です」と、多くの業務をシステム化しています。

常に高みを目指す経営手法は“売上の数字はお客さまを幸せにした数と同じ”という思いの表れ。これまでまいてきた種をさらに育て上げるべく突き進んでいます。



代表取締役  
くほ まさや  
久保 雅也

独自ブランドも展開する  
アロマランプ



## 株式会社イマリ

☎0952-97-9631

[所] 佐賀市鍋島町森田102-1

[創業] 平成10年（1998年）

[従業員] 60名

[HP] <https://www.imari-group.co.jp/>

### このポイント!



インターネット通販事業に早期参入した先駆的モデル。その実績から佐賀県のネット通販支援事業の公式アドバイザーとして県内企業約100社にサポートを行うなど貢献しました。アパレル、飲食、ウェルネス事業など新しいビジネスモデルを次々と構築し、海外展開も行っています。



34  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(地場産業系)

## 岩尾磁器工業 株式会社

化学工業の根幹を支える  
耐酸煉瓦のトップメーカー

### 耐酸煉瓦のパイオニア

有田焼の伝統窯である岩尾對山窯を継承し、昭和11年(1936年)に創業した岩尾磁器工業。セラミックスの総合メーカーとして、その製品は化学工業磁器や水処理設備・環境装置、磁芸壁画などさまざまな分野で使われています。中でも硫酸のような化学薬品や熱に強い“耐酸煉瓦”は国内で80%以上のシェアを誇ります。

創業時、国産の耐酸煉瓦の需要の高まりを受け、同社の陶磁器製造の技術と有田泉山の陶石が持つ耐酸性の特性を生かした国内初の耐酸煉瓦を開発。たゆまぬ研究開発に基づき化学工業用磁器製品を多様化させ、同社の製品は国内外の化学工場に欠かせないものとなりました。

「お客さまによって工場の環境や扱う薬品も異なるため、特性や設備に合わせ耐熱性・耐酸性などを調整します。形状の加工に至っては手作業のため、製造はオーダー

メイドです」と岩永常務。

さらに長年の経験が生かされ、工場設備の設計から製造、点検や補修まで一貫して行う同社。高度な技術と対応力がお客さまからの信頼につながり高いシェアを維持し続けています。

### セラミックスの可能性を開く

これまでに培われてきた原料開発、耐酸煉瓦製造のノウハウを応用し、次世代のセラミックス素材の開発に力を注ぐだけではなく、セラミックスを用いた環境浄化にも積極的に取り組む同社。

「既存のものを守りながら新しい分野に挑戦しています。私たちの商品は全て特注品ですので、一件一件プロジェクト形式で製品づくりを進めています。ニーズに対応するためお客さまと膝を突き合わせ、現場に足を運んで製品を使う場所、使い方を

知ることで社員の開発力と技術力を磨き、エンジニアとして技術を高めています」と岩永常務。

耐酸煉瓦以外の分野では機能性セラミックスの開発にも積極的に取り組み、蓄熱性と耐酸性に優れたセラミックスハニカムが有用性を発揮しています。

有田から世界へ“磁器の総合オートクチュールメーカー”として、さらなる成長は続きます。



常務取締役事業本部長  
いわなが ひろし  
岩永 寛

化学工場などで  
使われている耐酸煉瓦



## 岩尾磁器工業株式会社

☎ 0955-43-2111

[所] 西松浦郡有田町外尾町丙1436-2

[代表者] 代表取締役社長 岩尾 慶一(いわお けいいち)

[創業] 昭和11年(1936年)

[従業員] 220名

[HP] <http://www.iwao.co.jp/> 岩尾磁器工業 検索

### このポイント!



岩尾磁器工業の化学工業用磁器は、各時代の最先端の化学技術を支え、現在も日本の化学工業の根幹を支えています。これまでの経験から化学工場におけるあらゆる問題に対応した高品質で多彩な材料と利用システムを提供し、国内はもとより、海外50数カ国にも輸出しています。



## 株式会社大橋

環境保全と社会貢献が  
テーマの粉碎機メーカー



### ニーズに応えた粉碎機

剪定材や間伐材、竹などを碎く樹木粉碎機メーカーの大橋では、商品の設計から製造までを自社で行い、その優れた商品は森林や公園、果樹園などで活用されています。

創業当初はゴルフ場機器メーカーとして成長していましたが、平成9年(1997年)の地球温暖化防止京都会議を機に、これからの時代は“環境”がキーワードになると方向転換。

お客さまから“外国製の粉碎機はチップが粗く、葉も切れないため堆肥に利用できない”と相談を受け、新たな粉碎機の開発に乗り出しました。ゴルフ場機器回転の技術を元に研究開発スタッフが試行錯誤を重ね完成した粉碎機は、利用者の評判も上々でした。

22馬力という中型機を製造していましたが、小型機もほしいとの要望に応えたことで販路を広げ、国内粉碎機のトップシェア

を占めるまでに成長。

大橋社長は「常にお客さまの声に耳を傾け、品質向上に努めてきました。どの部門でも新入社員は一度製造現場を体験し、一人で組み立てられるように研修しています。そこで製品への責任と愛情が深まり、製造への意欲にもつながっています」と社員のものづくりに対する思いを醸成しています。

こうしたものづくりの楽しさに触れられる環境の中、工場では溶接や組立にも女性が活躍しています。

### チップも無駄なく再利用

独自ブランドに加え、OEM※1での提供も行っている同社。そこまで成長した要因は粉状にまで細かく碎く粉碎機能です。

それまで廃棄物として処理されていたチップが、園芸でのマルチング材※2やバイ

オマス燃料、家畜の敷料として利用できるようになりました。

特に、石油・石炭に代わるバイオマス燃料として利用すれば、CO<sub>2</sub>の排出抑制ができます。

「粉碎機を通し、地球環境に貢献できるのはうれしいです。今後も粉碎機の可能性をさらに探りつつ、環境に貢献できる新たな製品づくりに取り組んでいきます」と大橋社長。

“環境”をテーマに、これからもお客さまの声を大切に、強い技術力で時代を切り開きます。



※1 OEM: 委託者のブランドで製品を生産すること

※2 マルチング材: 庭やガーデニングの地表面に敷くことで雑草の発生や水分の蒸発を防ぐもの



代表取締役社長  
おおし ひろゆき  
大橋 弘幸

手軽に操作ができると  
評判の小型粉碎機



## 株式会社大橋

☎ 0952-44-3135

[所] 神崎市千代田町崎村401

[創業] 昭和63年(1988年)

[従業員] 36名

[HP] <http://www.ohashi-inc.com/> 大橋 検索

### このポイント!



大橋の粉碎機は、庭が多く環境意識の高い欧州にも販路を広げています。海外製に対し小型で自走可能な点と、粉碎しながらチップを庭にまける点が高く評価されています。雑草発生の防止になると庭のマルチング材としても利用されています。さらに北米、オセアニアへの進出にも取り組んでいます。

## 株式会社 佐賀電算センター

福祉行政、医薬品流通等の  
IT分野において  
全国シェア1位を獲得



### IT革命の時流を捉え成長

会計事務所を前身に昭和50年（1975年）に設立し、ソフトウェア開発やネットワークサービス、アウトソーシングサービスなど情報化に関する総合的なサービスを提供する佐賀電算センター。著しく変化するIT技術の時流を的確に捉え、全国展開を加速させています。「独自のIT技術とサポート力で、日本一魅力的なサービスを提供していきたい。そうでなければ生き残れません」と宮地社長。

同社はすでに国内トップシェアを誇るシステムを持っており、全国の自治体や企業で採用されています。例えば、自治体の介護・福祉事業をサポートするシステムは全国45都道府県と11の政令市をはじめとした359の市区町村に導入され、調剤薬局の医薬品流通業務をサポートするシステムは全国にある薬局の5割に当たる約3万店舗で利用されています。近年は、農産直売所

の仕入れ・販売などを一括管理するシステムが注目を集め、全国330カ所で導入されています。新しい制度・施策を先読みし、業務の効率化につなげるシステムを他社に先駆けて開発することで全国1位を実現してきました。

### 全国展開と地域密着の両輪

同社は全国展開しながらも、地元の企業・自治体にはよりきめ細かな密着したサポートを徹底。佐賀を代表するIT企業だという自負と、地元の成長や発展に貢献したいという思いがあるからです。10年前からは、環境保全活動の一環として、佐賀市との協定で指定された市有林を“佐賀電算センターの森林”と名付け、枝打ちや草刈りなど森林保全・管理活動を実施。さまざまな地元への貢献が評価され、平成23年（2011年）にふるさと企業大賞（総務大臣

賞）を県内で初めて受賞しました。

今後は、あらゆる分野でデジタル化が進み、本格的なAI※1やIoT※2の時代に入ることから、平成29年（2017年）にAI開発室、令和元年（2019年）にデジタルソリューション事業部を設立。先端技術を活用した新しいデジタルビジネスの創出で、さらなる成長を目指します。



※1 AI：人工知能のこと

※2 IoT：モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



代表取締役社長  
みやち だいじ  
宮地 大治

ニーズに合わせた  
システム提案が魅力



## 株式会社佐賀電算センター

☎0952-34-1500

[所] 佐賀市兵庫町藤木1427-7

[設立] 昭和50年（1975年）

[従業員] 426名（グループ会社含む）

[HP] <https://www.sdcns.co.jp/> 佐賀電算センター 検索

### このポイント!



※ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し同社が独自に実施“Pepper”はソフトバンクロボティクスの商標です  
“Pepper”が同社の商品サービス等を紹介しています

令和元年（2019年）7月に、ショールーム“DX※3ラボ”をオープン。AI関連や遠隔作業を支援するスマートグラスなど、最新デジタル技術を気軽に体験できるオープンスペースです。豊富なノウハウに先端技術をプラスして、お客さまの課題を解決します。

※3 DX：デジタルトランスフォーメーション

# 37

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 昭栄化学工業 株式会社 鳥栖事業所

独創的技術で未来を拓く



### 電子材料でトップシェア

昭栄化学工業は、今や日常生活に欠かすことのできないスマートフォンをはじめ、さまざまな電子機器に使われている電子部品の材料メーカーです。同社の主力製品である積層セラミックコンデンサ用Ni粉末およびペーストのシェアは、現在世界で40%を超えており、便利で豊かな生活を支えています。

昭和31年(1956年)の創業以来、電子部品用電極材料を作り続けてきた経験と技術力に対して、お客さまから厚い信頼を得ています。浅田社長は「60年以上にわたり培ってきた高い技術力とノウハウを生かし、常にお客さまの要望に対応してきました。金属微粉末といっても、形状や大きさなどお客さまの要望に合わせたものを作らなくてはなりません。たとえば高精度の積層セラミックコンデンサの電極材料には、0.3マイクロメートルの厚みの中に3~4粒

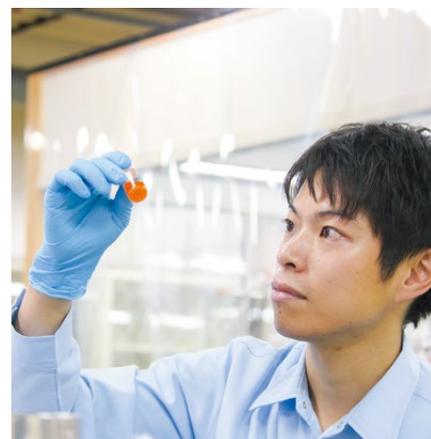
を重ねられるくらいの微細な粒子が求められます。また、ナノメートルの世界で粉末の大きさを均一にそろえることは非常に困難ですが、弊社はその技術を持っています。そこが一つの強みですね」と話します。

### 常に独創的技術を探求

近年、電子機器の小型化、高機能化に伴い、ますます電子部品の需要が高まる中で、さらなる新しい技術の研究開発が求められています。「私たちは、独創的技術に基づいたものづくりを大切にしています。新しい素材や生産技術の開発に注力しており、製造装置の多くは内製しています。そのために、社内でも興味を持って自分で学んで研究をしたいという意欲がある社員には学べる環境を用意しており、入社してから博士号を取る社員もいます」と浅田社長。

これから電子部品は、5G※1やIoT※2の進展に伴い、電子機器だけではなく自動車などさまざまな分野に使われていきます。

“量子ドット”という新しい半導体ナノ粒子の開発も行う昭栄化学工業は、さらに技術力と生産性を高め、今後ますます電子化が進む社会の発展に貢献していきます。



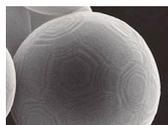
※1 5G: 第5世代移動通信システム。1G、2G、3G、4Gに続く無線通信システムのこと  
※2 IoT: モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



私たちの生活に欠かせない  
昭栄化学工業の金属微粉末

取締役社長

あさだ しゅういちろう  
浅田 修一郎



## 昭栄化学工業株式会社 鳥栖事業所

☎ 0942-82-6661

[所] 鳥栖市藤木町字若桜5-3

[創業] 昭和31年(1956年)

[従業員] 445名

[HP] <https://www.shoeichem.co.jp/> 昭栄化学工業 検索

### このポイント!



創業以来、“独創的技術で社会に奉仕”、“会社の繁栄と社員の幸福”という経営信条のもとに社員一人一人が自らの仕事を極め、幸せになれる企業を目指しています。



38  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 聖徳ゼロテック株式会社

精密プレス金型に特化  
限りないゼロへの挑戦

### 精密プレス金型の製造

パソコンやスマートフォン、自動車のパーツなど、身近な工業製品を作るために量産される部品の多くは“金型”を使って作られています。聖徳ゼロテックは主に電子機器などに使用される部品のプレス金型を製作し、その精度が非常に高いことで全国的に知られています。超高剛性・超精密プレス機を備え、安定のミクロン加工を実現。成形する過程で傷みにくく、経年劣化しづらいという点も大きな特長です。

2代目の古賀代表は「金型は作って終わりではなく、3年、5年と使って評価されるタイプの製品です。そのため、熱処理から加工方法に至るまで工夫しています」と話します。製作した金型は必要に応じて販売もするため、ビジネスチャンスが拡大。生産拠点においては、プレス工場も併設し、設計から試作、製造、検査までを自社で行うため、スピーディーな納品が実現可能です。

「社名の“ゼロテック”は、誤差を限りなくゼロに近づけるという思いで先代の社長が名付けました。一つ一つの製品は、安全性の根幹に関わるものですから、たとえ1万個に1個の不良品も許されません」と古賀代表。全社で技術を磨くとともに“メイドインジャパン”の製品の信頼性を高めています。

### 全社共通の“ゼロへの挑戦”

金型の設計や組み付けを行うには最低5年を要するため、長く働く喜びを感じてもらおうと、展示会にも積極的に参加している同社。来社したお客さまと直接やりとりすることが、社員の仕事のやりがいにつながっています。さらに、10代の若手から60歳以上のベテランまで男女を問わず幅広い人材が活躍するなど、誰もが働きやすい環境が整えられているため、高い技術と

のづくりに対する意識が保たれています。

平成21年(2009年)には“ハイブリッド金型”と銘打った独自の金型を開発し、材料の消費を抑えながら30%以上の歩留まり率向上を実現。電気やロボット技術を活用した金型製造にも取り組んでいます。

ゼロテックの社名通り、“ゼロへの挑戦”は続きます。



代表取締役  
こが ただすけ  
古賀 忠輔

高精度のプレス金型



## 聖徳ゼロテック株式会社

☎ 0952-29-6828

[所] 佐賀市西与賀町高太郎172

[創業] 昭和50年(1975年)

[従業員] 33名

[HP] <https://www.shotoku-net.com/> 聖徳ゼロテック 検索

### ポイント



精密プレス金型の設計から試作、製造のほか、販売やプレス加工まで全てを自社で行います。歩留まり率を向上させるハイブリッド金型も開発・提供。製品公差をミクロン単位でゼロに近づける高度な技術を求め、県外からの視察も多く、金型の価値を高めています。

39

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE製造業  
(機械金属系)

## 田中電子工業 株式会社

供給量世界一  
最高品質のボンディングワイヤが  
情報化社会を支える

### 高品質の金属素材

金や銅、アルミなどの金属を、髪の毛の4分の1程の15~25マイクロメートル径の極細線に加工した“ボンディングワイヤ”は、LSI※やトランジスタなどの半導体チップをつなぐ配線材で、パソコンやスマートフォンなどに使用される電子機器に不可欠な製品です。

部品の小型化に伴って、ワイヤの線径もどんどん細くなる傾向で、電気自動車、医療、航空宇宙産業などでもワイヤの需要が高まっています。

歴史と信頼のある田中貴金属工業のグループ会社である田中電子工業では、純度の高い、99.999%の金属を使用しており、その高い品質と長年の実績から世界シェア1位の地位を確立しています。

「平成15年(2003年)頃からボンディングワイヤの製造に特化していきました。グローバルリーダーとしてお客さまに真の価

値を提供してダイナミックに成長するのが我々の企業ビジョンです」と井関社長。

開発拠点とマザー工場の役割を担った佐賀で、ニーズを先取りした電子部品と材料の開発に取り組み、世界5カ所にある製造拠点で世界中からの注文に対応しています。

### 人が支えるサポート力

競争の激しい業界の中で、圧倒的な技術サポート力で他社との差別化を図っている同社。

「単に商品だけを売るビジネスではなく、お客さまの要望にお応えするサービスの重要な要素と組み合わせ、全てのお客さまに満足していただける、トータルソリューションの提供に努めています。一人前のエンジニアを育てるのに10年はかかりますが、ここまでできるメーカーは他にはありません。だからこそ、人が大事なんです」と

人材育成に重点を置く井関社長。

役職、年齢、在籍期間などに合わせた豊富な研修制度が整っていることで、常に目標とやりがいを持って働くことができます。

また、井関社長は社内報を通して自身の思いを発信したり、自由に語り合える“対話会”を設けて社員の声に耳を傾けたりしています。

地元採用にも積極的で、女性も多く活躍し、海外で働く機会もあります。

田中電子工業は、これからもお客さまの要望に応えるべく品質とサービスを向上させていきます。

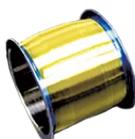


※LSI: 多数のトランジスタやダイオード、抵抗、コンデンサなどの電子部品を、一つの半導体チップに組み込んだ集積回路(IC)のこと



代表取締役社長 執行役員  
いせき しげる  
井関 茂

純度99.999%の金属を使用した  
ボンディングワイヤ



## 田中電子工業株式会社

☎ 0952-53-2345

[所] 神埼郡吉野ヶ里町吉田2303-15

[創業] 昭和36年(1961年)

[従業員] 220名

[HP] <https://tanaka-preciousmetals.com/jp/> 田中電子工業 検索

### このポイント!



電気自動車や医療などの分野において、さらにボンディングワイヤのニーズが高まる中、田中電子工業はその世界で35%というトップクラスのシェアを占めています。要望に応えるとともに付加価値を高めるべく、ワイヤの形状加工にも取り組み、高品質で高性能な製品づくりに力を入れています。

40  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## チクシ電気株式会社 佐賀工場

マイスターがいる  
ものづくりの現場で技術を研鑽

### 設計から検査まで一貫体制

通信・電気機器関連の設計から製造、工事、保守まで総合的な事業を展開するチクシ電気。九州各県に事業所（福岡、北九州、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島）を構え、佐賀工場はものづくりの拠点として電力会社や一般企業向けの電源装置、制御装置、通信機器等を製造しています。

「製品の設計から製造、検査まで一貫して生産できる体制を整えています。電気機器を収める箱の板金加工や塗装も手掛け、あらゆるニーズに対応できる技術力こそが我が社の強みです」と中村工場長。まさに大量生産の既製品では対応できない、顧客の細かな要望に応えられるオーダーメイドの製品づくりこそが同社の得意とするところ。ものづくりの現場には、確かな技術力を武器に実績を重ねてきた技能者たちが集まっています。

### 熟練技能者による技術指導

同社には、電子機器組立て技能士や電気機器組立て技能士、電気工事士など国家資格に合格した技能士や技術者が数多く在籍し、高度な技能者だけに与えられるマイスターも4名います。このような熟練技能者から技術を継承し、後継者育成につなげようと「マイスターたちが講師になって社内で勉強会を開き、技能検定にチャレンジする社員を全面的にサポートしています」と中村工場長。資格取得の推奨は、技術的なレベルアップだけが目的ではありません。検定は限られた時間内に課題をクリアする必要があり、いかに効率良く作業を進められるかが合否のポイントになります。「実際の仕事でも、段取りの良さが仕事の効率化につながります。検定を通して効率的な作業の進め方を学び、仕事に生かしてもらいたいです」と中村工場長は話します。

社員同士が切磋琢磨し、スキルアップに励み合える現場は、ものづくりが大好きな技術者にとって恵まれた環境です。チクシ電気にしかできないものづくりにこれからも挑戦していくため、多様化するニーズに対応できる技術を日々研鑽し続けます。



取締役  
佐賀工場長  
なかむら ともなり  
中村 智成

金属材料を結合させる  
自動冷間圧接工具



## チクシ電気株式会社 佐賀工場

☎ 0952-52-1265

[所] 神埼郡吉野ヶ里町立野560-11

[代表者] 代表取締役社長 中村 茂己(なかむら しげみ)

[創業] 昭和60年(1985年)

[従業員] 114名

[HP] <https://www.chikushi-ele.com/> チクシ電気 検索

### このポイント!



ものづくりの楽しさを子どもたちに伝えるため、マイスターを中心とした技術者たちが、県内の小学校等で出前授業を行っています。ハンダごてを使った電子工作には、子どもたちも興味津々。佐賀県立産業技術学院の“さが技能フェスタ”でも体験コーナーを毎年出展しています。

# 41

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 日本ハードメタル 株式会社

圧倒的な技術力で  
世界に挑む



### 世界トップクラスの技術

武雄市内の2カ所に工場を構える日本ハードメタルは、ダイヤモンドに次ぐ硬さを有する超硬合金素材の製造と販売を行っています。

本社は神奈川県にありますが、製品の約7割が武雄の2工場で製造されており、自動車産業や航空宇宙産業で使用される切削工具や、トンネルを掘る際に使用される岩盤を砕く刃(ビット)など、さまざまな分野で活躍する道具を作っています。

とりわけ丸棒型の給油穴付きねじれ加工製品は世界トップクラスの精度を誇る高品質で、世界中から注文が来ています。

「平成2年(1990年)に建設した九州橋工場では特殊形状の成形素材を製造しており、生産拡大のため平成28年(2016年)に建設した九州北方工場では特殊研削加工の専門工場として丸棒の研削品などを量産しています。高品質や短納期、超

硬合金素材の研磨やねじれ穴付き加工などで付加価値を高めています」と早坂代表。

製品の豊富なラインナップと、公差範囲わずか4マイクロンという高い技術力が光ります。

さらに九州北方工場では、高断熱外壁、無窓化によって環境負荷を減らし、省エネルギーかつ高精度な生産を実現しています。



### 技術力こそが武器

技術を磨き、精度を高めている同社では、飽くなき探究心で常に品質改良に取り

組んでいます。

現在の技術では超硬材料を焼き固める際、外的影響によって縮み方が異なります。そこで、常に同じ縮み方をする材料を作る技術と、その縮む量を確実に読み取る技術との両方を突き詰めるため、研究開発を進めています。

また、社内では、県内の工業高校出身者がこれまでに磨いた技術を発揮し、ものづくりに取り組んでいます。さらに出荷前の厳しい品質確認では女性が活躍しています。

「我が社は超硬素材メーカーとしては非常に小さいのですが、技術を磨き、“ハードメタルの製品じゃないと”と言われる製品を追い求めています。技術力だけは負けたくないですね。人、設備、測定技術で品質を上げ、さらなる規模の拡大と生産性の向上を図ってまいります」と力強く語る早坂代表。常に前を向いて成長し続ける、ものづくり企業です。



代表取締役  
はやさか てつろう  
早坂 哲朗

主にドリルに使用される  
“ねじれ穴付き素材”



## 日本ハードメタル株式会社

九州橋工場

☎ 0954-23-9151

[所] 武雄市橋町片白9309-6

[創業] 昭和39年(1964年)

[従業員] 230名

[HP] <http://www.nhm.co.jp/>

九州北方工場

☎ 0954-28-9363

[所] 武雄市北方町大字大崎5173-9

日本ハードメタル 検索

### このポイント!



超硬合金やサーメットの素材メーカーとして多品種で多様化する素材の研究開発にも取り組み、原料の配合から製作まで一貫して対応。高品質な製品は幅広い分野の各種工業用工具に使われ、日本、そして世界のものづくりを支えています。

# 福博印刷株式会社

お客様の課題を解決する  
ビジネスパートナー



## 印刷からAI活用支援まで

福博印刷は、チラシ、カタログなどの商業印刷事業をベースに、インターネット事業やコンサルティング事業など、多様化する顧客ニーズに応じて事業を展開している総合印刷会社です。

「一番の強みは、お客様の目標達成のためにリサーチ、企画立案のスタートから最終的なゴールまで、一貫したサポートができることです」と語る宮原社長。印刷物だけでは課題解決に至らない場合でも、Web・映像・サイン看板・企画・デザイン・マーケティングの各分野で情報をうまく扱い、加工することで、最適な課題解決策を提案します。

平成30年(2018年)には、顧客企業のデータを利用したAI※代行運用やAI活用を支援する新事業をスタート。活用事例は、商品の売れ数予測やDM送付先の最適化などさまざまです。AIを活用すること

で、業務の効率化やコスト削減につながることから、ビジネスチャンスを広げる分野として大いに注目を集めています。

## “超”印刷に挑む未来

多彩な事業展開で欠かせないのが、現場を支える人材の確保と育成です。社内でも各分野のスペシャリストを育てるだけでなく、地域社会に貢献するIT人材を育成しようと、佐賀県・佐賀市と“産業人材育成に関する協定”を締結した“デジタルハリウッドSTUDIO佐賀”を運営。未経験者でもWebクリエイターやDTPクリエイターを目指せる専門スクールで、学業・仕事・育児などライフスタイルに合った学びをサポートしています。開設から3年で130名を超える卒業生を輩出しており、地域活性化へ貢献しています。

同社の成長の原動力は、現状に満足す

ることなく新しいことにチャレンジし続ける企業風土です。「入社年次に関係なく、アイデアを出し合ってトライできる環境を整え、働きがいのある職場づくりに努めています。社員一人一人の成長こそが、企業の持続的な成長につながります。私たちが目指しているのは、印刷の枠にとらわれない“超”印刷です」と未来を見据える宮原社長。多面的な事業展開でお客様の課題を解決し、売上や利益の向上に貢献できるビジネスパートナーとして、これからも成長を続けます。



※AI:人工知能のこと



代表取締役社長  
みやほら かずひろ  
宮原 和弘

ニーズに応えた  
最適な印刷物を作成



## 福博印刷株式会社

☎ 0952-24-2366

[所] 佐賀市兵庫南4-22-40

[創業] 昭和23年(1948年)

[従業員] 242名

[HP] <https://www.ding.co.jp/> 福博印刷 検索

## このポイント!



デジタルハリウッドのフランチャイズとして“STUDIO佐賀”を平成28年(2016年)に開設。ホームページの制作・運営に関する必要な技術を習得できるクリエイター養成スクールで、好きな時間に好きな場所で自分らしく学べます。地域社会で活躍するクリエイティブ人材の育成に貢献しています。

## 株式会社ブリヂストン 鳥栖工場

世界トップシェアを誇る  
タイヤメーカー



### 高性能タイヤを世界へ供給

ブリヂストンは昭和6年(1931年)に創業した、タイヤ市場における世界トップシェアの企業です。戦後の高度成長期における自動車産業の発展に伴い、高性能タイヤの需要増を受け、昭和45年(1970年)、国内6番目のタイヤ工場として、九州の物流の要衝かつ人材が豊富である鳥栖で工場の操業を開始しました。現在は同社の中でも偏平率※1が低い高性能タイヤを主に生産し、世界に供給しています。

また、パンクなどによってタイヤの空気圧が失われた場合でも、一定距離を所定のスピードで走行できるランフラットテクノロジー採用タイヤも生産しています。高性能・高付加価値なタイヤづくりを支えているのは、徹底された高い品質経営と、最高水準の生産技術です。その結果、ゼネラルモーターズ社が定める、製品品質や品質マネジメントシステムなど13項目の品質に関

わる厳しい基準全てを満たした製造拠点に授与されるSupplier Quality Excellence Award<sup>アワード</sup>を3年連続で受賞するなど、海外メーカーからも高い評価を受けています。

### 高いレベルの品質を守る

ものづくりは品質経営が基盤です。CSR※2、コンプライアンス、安全、防災、環境、品質といった基盤になるところのレベルを上げていく一環として、顧客ニーズの中でタイヤづくりにおいては難しいとされる“人への教育、対応できる生産設備、生産方法”を日々改善し、要望に応えられるようにしています。

今後は、地球環境問題に対応した環境性能の高いタイヤをしっかりと供給することが必要だと考えています。そのため、IoT※3などのデジタル技術を開発して、データを活用したものづくりを行い、情報

でつながるような生産体制を確立し、さらなる品質向上に努めています。

ブリヂストン鳥栖工場は、さまざまなニーズに柔軟に対応できる世界一のものづくりを支える生産現場として、タイヤだけではなく、生産のプレミアム品質を目指していきます。



※1 偏平率: タイヤの幅に対する高さの比率の数値 ※2 CSR: 企業が社会に対して果たすべき責任のこと  
※3 IoT: モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



鳥栖工場長  
しの よしかつ  
篠 佳克

最速へのこだわりが生んだ、  
リアルスポーツPOTENZA  
RE-71RS



## 株式会社ブリヂストン 鳥栖工場

☎ 0942-83-5111

[所] 鳥栖市轟木町1000

[設立] 昭和45年(1970年)

[従業員] 783名

[HP] <https://www.bridgestone.co.jp/> ブリヂストン 検索

### このポイント!



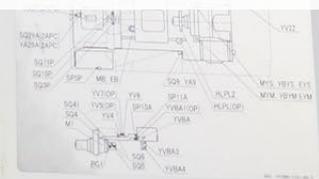
“世の人々の楽しみと幸福の為に”という創業者の思いを受けて、平成18年(2006年)から“サガン鳥栖”のユニフォームスポンサーを務めているブリヂストン。さらに、“ブリヂストン吹奏楽団久留米”には鳥栖工場のスタッフも参加するなど、スポーツや音楽を通じた地域社会とのコミュニケーションにも力を注いでいます。

米”には鳥栖工場のスタッフも参加するなど、スポーツや音楽を通じた地域社会とのコミュニケーションにも力を注いでいます。



## 宮崎鉄工株式会社

鹿島で極める  
“セラミック用成形機”の  
トップ企業



### 極めることでオンリーワン

ファインセラミックは、自動車の排ガスのろ過フィルターや電子基板、身近なところではセラミック包丁などさまざまな製品に使われています。宮崎鉄工は、そのファインセラミック用真空押出成形機的设计・製造・販売を行っています。昭和33年(1958年)に国産の真空土練機の製造・販売から創業し、その後セラミック成形の技術的なノウハウを生かし、真空押出成形機を開発。電子部品や自動車産業などで需要が伸びているファインセラミックの業界に参入し、高く評価される真空押出成形機のメーカーになりました。

「セラミックの業界はニッチな市場ですが、鹿島の田舎で大手企業と渡り合うためには、技術力で負けないようにしないといけない。そのために大切にしているのは“極める”こと。他のメーカーではなく、弊社でしか作れないオンリーワンの製品づくり

を追求しています」と宮崎社長。同社の真空押出成形機は、耐久性と独自の精密な製造技術で評価され、現在は真空押出成形機に関するさまざまな特許を取得しています。また、取引先の要望に開発段階から積極的に応えていることで高い信頼を得ています。

### 技術者が集う工房

同社は研究実験室を設け、大手企業からの研究員がそこで成形テストを行っています。「弊社は、技術職人がいる開発型の工房だと思っています。取引先が出張してまで弊社で実験してもらっているのだから、いかに最適な製品の提案を行えるかが大切です。セラミック原料の粒子は大きさや接着剤の配合など取引先ごとにバラバラなので自分たちのこれまでの経験と実績に基づいて伝えないとはいけません。弊社の社員

はほとんどが職人。だからこそ技術の説明にも重みがあります」と宮崎社長。人材育成でも研究開発に重きを置き、60年にも及ぶノウハウを継承、さらに発展させています。

これからは、セラミックだけではなく、樹脂系との複合材など広い意味での“粘土”という新しい素材に挑戦していく宮崎鉄工。鹿島からさらなる粘土成形の極みを目指していきます。



代表取締役社長  
みやざき てつや  
宮崎 哲也

ファインセラミック用  
真空押出成形機



## 宮崎鉄工株式会社

☎ 0954-63-4174

[所] 鹿島市大字中村2031-1

[創業] 昭和33年(1958年)

[従業員] 19名

[HP] <http://www.miyatetsu.jpn.com/> 宮崎鉄工 検索

### このポイント!



宮崎鉄工は、独自の精密な製造技術力で“真空押出成形機の専門メーカー”としてアジア諸国をはじめ、ヨーロッパ、アメリカなどの多くの国や国内の大手メーカーから高く評価されています。展示会でもその技術力に多くの人が注目しています。

45  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(地場産業系)

## レグナテック 株式会社

木と人を生かす家具づくり  
世界とつながるメーカー



### 佐賀発のブランド家具

佐賀県の伝統的な地場産品の一つ、諸富家具。創業50年を超えるレグナテックは、古くからこの地で家具の企画・製作・販売までを行うメーカーです。中でも近年の独自のブランド展開に特色があります。

“CLASSE”は全てが樺島雄大社長によるデザインで、ホームユース向けの製品。完全自社生産でいち早く立ち上げられたメインブランドです。

また、平田椅子製作所と共同で開発する“ARIAKE”は、海外7カ国のデザイナー10名が、佐賀の文化にインスピレーションを得てデザインし、佐賀の職人とともに作り上げる家具ブランド。最高の技術を取り入れ洗練された家具の価値が、多くの旅館やホテルなどに認められています。貴重なチーク材の産地であるラオスと連携し、現地で技術を指導しながら製作する“CLANTREEプロジェクト”にも参加。さら

に令和元年（2019年）11月には、太良町産のヒノキを使ったオフィス家具“ROOT”も立ち上げました。

「家具メーカーとして生き残っていくためには、ブランド力を高めしっかりと認知してもらうことが必要です」と樺島取締役。海外へはアジアや北欧、アメリカなど7カ国に輸出し、今後も12カ国への輸出を目指すなど、グローバルな視点で商圏を広げています。



### 生かし続ける“手仕事”

本社社屋と工場には、木の香り漂う広大なショールームが隣接し、ここで300点以上の自社商品を実際に見ながら購入することができます。どの家具にも共通するのは、素材の良さとテーブルの裏など細部にわたる仕上がりの美しさです。「見えない部分の違いが中国や香港などのお客さまからの評価につながっているようです」と樺島取締役。

さまざまな工程で機械化が進められる中、「全てを機械に任せるのではなく、手作業の部分を残し、ものづくりの楽しさと効率とのバランスを考えています」と、職人が働きやすい環境をつくります。魅力ある製造業の発信を行いながら、家具産業の未来に活路を見出し、積極的に業界をリードする企業です。



取締役 ブランドマネージャー  
かばしま けんご  
樺島 賢吾

海外のデザイナーと  
作るブランド家具  
“ARIAKE”



## レグナテック株式会社

☎ 0952-47-6111

[所] 佐賀市諸富町山領266-1

[代表者] 代表取締役社長 樺島 雄大 (かばしま たけひろ)

[創業] 昭和39年(1964年)

[従業員] 45名

[HP] <https://www.legnatec.co.jp/> レグナテック 検索

### このポイント!



上質な素材を使い、デザイン性と仕上がりの美しさを追求する家具メーカー。特に独自のブランド構築を重点的に、海外にも積極的に展開。平成27年(2015年)にはグッドデザイン賞を受賞しました。佐賀県の伝統産業“諸富家具”の魅力を発信しながら、製造業の発展に貢献しています。



# 46

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 株式会社 ア ク ア パ ス AQUAPASS

水だけの洗浄技術で  
目指すのは世界一

### 水だけの洗浄に特化

電子部品についての汚れは、ほんの小さなものでも劣化や故障の原因になります。そのために洗浄という工程は不可欠。そこで超音波と水だけで洗浄できる装置を開発・製造しているAQUAPASS。

大正14年(1925年)に窯業機械を製造する企業“今泉鉄工所”として創業。「約30年前に電子部品メーカーから部品洗浄機械の製造依頼を受けたことがきっかけで、溶剤を使わずに水だけで洗浄できる超音波洗浄機“アクアパス”を開発しました」と松尾社長。

同社の強みは、お客さまのさまざまな要望を解決できる対応力。洗浄したい製品は付着するゴミや形状もさまざまで、製造ラインも違う。お客さまの環境に合った洗浄機を提案するためオーダーメイドで、設計から製缶、加工、組立、試運転まで全てを自社で行っています。松尾社長は「お客さ

まに対してなぜアクアパスを選んでいただいたのかと伺った際は、どの企業も水だけで洗浄するという環境性の良さを認めていただいています。これまでの洗浄は有機溶剤を使い環境に悪いだけでなく、働く従業員の健康にも悪かった。水だけの洗浄装置は人にも環境にも優しい。そこに評価を受けています」と自信を持って話します。

### 世界一への挑戦

同社は技術的な特許も取得し、事業の方向性の明確化とグローバルな事業展開を進めるため、平成23年(2011年)に社名と製品名を“AQUAPASS”に統一し、海外を含めた対外的なブランディングにつなげました。現在では中国などのアジア圏はもとより、アメリカ、イギリスなどにおいても“AQUAPASS”の名前は洗浄機の世界的トップメーカーとして認められています。今

後はさらに海外に向けた標準機を作り、事業を展開していく予定で、「世界一の洗浄機メーカーを目指したい」と松尾社長。AQUAPASSは世界に向け挑戦を続けます。



取締役社長  
まつお しゅんいち  
松尾 俊一

水のみで洗浄する  
超音波洗浄機  
“AQUAPASS”



## 株式会社AQUAPASS

☎ 0955-46-5631

[所] 西松浦郡有田町北ノ川内丙325-3

[代表者] 代表取締役会長 今泉 浩一(いまいずみ こういち)

[創業] 大正14年(1925年)

[従業員] 35名

[HP] <http://www.aquapass.co.jp/> AQUAPASS 検索

### このポイント!



超音波洗浄機“AQUAPASS”の洗浄では、フロンなどでも落とせない指紋を水だけで落とすほどの脱脂力と微粒子除去能力を発揮します。スマートフォンや電子精密機器の中にある部品の洗浄には欠かせない存在になっています。

47

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

情報通信業

## 株式会社 ウェアサーブ

ITの技術で  
企業の多様な課題を解決

### IT技術で企業の経営支援

あらゆる業種でITの導入が進んでいますが、主に企業を対象に、ITを使った新しいサービスで業務改善などをサポートしてきたのがウェアサーブです。さまざまな基幹システムやWebコンテンツを開発し、経営の効率化や売上増に貢献しています。

最大の強みは、システム開発から販売促進までワンストップで経営支援ができること。“ビジネスにおいては経費減と収益増の両輪をうまく回すことが大切”とホームページ制作はもとより、Web広告ツールの運用などITの技術を最大限に発揮します。

また、県内運送会社の組合が運営する運送管理システム“そらうど”の開発と運用を担当するなど、クラウドサービスも展開しています。

同社が開発した自動車学校の教習管理システムも、クラウドで運用されているた

め、令和元年（2019年）8月に発生した水害でも、導入先の自動車学校はデータの消失を免れ、早期に営業を再開できました。

「基幹システム導入は買わずに利用することがこれから主流になります」と益田代表。クライアントとのコミュニケーションを図りながら、時代のニーズに合ったサービスを届けています。

### MRコンテンツの開発

いつも“楽しくワクワクする何か”をアップデートする益田代表の方針は、ITを使った新しい分野への取組にも表れています。特に、マイクロソフト社の“<sup>ホロレンズ</sup>HoloLens※1”を使ったMRコンテンツの開発には、2年をかけて注力してきました。

肥前さが幕末維新博覧会の特別展では、ホロレンズでパズルを組み立てる体験展示で他社と協力。“複合現実（Mixed

Reality）”と呼ばれるMRは、今後、AI※2と組み合わせ、医療、建設業、製造業などあらゆる業種での活用が期待されます。

また、AIやIoT※3の技術で林業などの1次産業における人手不足の解消などを目指すプロジェクトも他社と共同で進行中。佐賀県の地域課題をIT技術で解決すべく、ウェアサーブの挑戦は続きます。



※1 ホロレンズ：Windows10を搭載した頭につけるタイプのホログラフィックコンピュータ

※2 AI：人工知能のこと ※3 IoT：モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること

ホロレンズを使用した  
MRコンテンツを開発



代表取締役  
ますだ さとる  
益田 智



## 株式会社ウェアサーブ

☎ 0952-97-8541

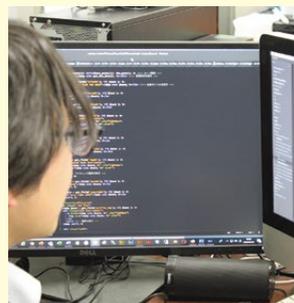
[所] 佐賀市栄町6-25 FLEX佐賀駅前2F

[創業] 平成19年(2007年)

[従業員] 10名

[HP] <http://www.wareserve.co.jp/> ウェアサーブ 検索

### ポイント



業種を問わず、顧客企業と密にコミュニケーションをとりながらIT技術による新たな基幹システムを開発。コストカットだけでなく、収益を上げる仕組みづくりも行います。クラウドサービスやMRコンテンツの開発事業にも力を入れ、あらゆる分野でのIT化をサポートしています。



48  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



株式会社  
川口スチール工業

太陽光で世界を駆ける

### 超薄型太陽光を武器に

金属の屋根や雨どいなど屋根を中心とした建築板金の企業として、昭和5年(1930年)に創業した川口スチール工業。工場やショッピングセンター、鳥栖スタジアムなど、産業用施設の屋根や大型施設の屋根を手掛けています。また、平成16年(2004年)頃からは太陽光発電も手掛け、これまで培ったノウハウを生かし、どのような屋根にも対応できるパネルとその架台の設計から施工までを行っています。

業界でも早い時期から太陽光発電に取り組んだ同社でしたが、初期の太陽光パネルは重く、産業用施設の屋根には合いませんでした。川口代表は「産業用施設の屋根に使えるパネルを探し、その中で見つけたのが薄型太陽光パネルでした」と話します。

その後、自社で薄型・超軽量の産業用フィルム型太陽電池パネルを開発したこと

で強度の弱い屋根でも太陽光発電が可能になり、産業用太陽光発電設備の国内シェア1位にまで成長しました。

### 太陽光でアフリカを灯す

事業を行う中で、平成22年(2010年)にアフリカでビジネスチャンスを見出した川口代表。アフリカは高温少雨のため土ぼこりが多く、パネル型の太陽電池では土がこびりついて使えなくなるという課題がありました。

同社のフィルム型太陽電池パネルは、丸太などに巻き付ける方式で、現地で簡単に施工ができ場所を選びません。「アフリカは、まだ電化率が0%に等しい状況。スマートフォンの普及などで電力需要が高まる中で、太陽光発電が急速に広がる潜在力があると感じました」と川口代表。これまでODAとしてアフリカで行っていたフィ

ルム型太陽電池パネル設置事業をより持続的なものにするため、日本で設置した太陽光発電設備の利益によりアフリカでのフィルム型太陽電池パネルの設置を進める“GOOD ON ROOFS”という組織を立ち上げ、多くの企業の賛同を得ています。

川口代表の太陽光発電事業は佐賀から世界に羽ばたきます。



代表取締役  
かわぐち のぶひろ  
川口 信弘

軽量で使いやすい  
フィルム型太陽電池  
パネル



## 株式会社川口スチール工業

☎ 0942-83-6331

[所] 鳥栖市原町760-6

[創業] 昭和5年(1930年)

[従業員] 12名

[HP] <http://www.steel-k.com/> 川口スチール工業 検索

### このポイント!



“GOOD ON ROOFS”は途上国の電化率向上のため、企業のオフィスや工場などに太陽光パネルを設置し、生成した再生可能エネルギーの利益の一部で途上国での太陽光パネルの設置を支援しています。この取組は九州未来アワード2019でグランプリを受賞しました。

# 49

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 九州住電精密 株式会社

世界トップシェアを支える  
ものづくりの技術



### 高性能・高品質を目指して

昭和39年(1964年)、住友電気工業の製造拠点として設立した九州住電精密。昭和45年(1970年)には日本で初めてプリント基板の高精度穴あけ加工などに用いるマイクロドリルの生産を開始するなど、ものづくりの根幹を支える高精度・高性能の切削工具を長年製造しています。

同社で製造を開始し、直径0.1ミリメートルまで小さく進化したマイクロドリルは、穴あけ加工の方法がドリルからレーザーへと移行したことから役割を終え、平成26年(2014年)に製造を中止しましたが、その製造技術を継承、深化させ、現在ではさらに小さい直径0.02ミリメートルの微細ドリルを製造しています。

また、ダイヤモンドに次ぐ硬さを持つCBN※を使った“スミボロン”インサートは、世界1位のシェアを誇ります。それまでは研削中心で加工を行うことが主だった焼入銅

の加工や鋳物の高速加工などに高い性能を発揮し、お客さまから好評を得ています。

さらに、平成27年(2015年)には超微粒のダイヤモンドを高密度に焼結したダイヤモンドインサートの生産に取り組むなど、ものづくりの技術をお客さまのニーズに合わせて進化させてきました。

### お客さまの多様な要望に応える

同社では、特殊形状や高精度対応などお客さまからの多様な要望に対し、スミボロン、スミダイヤなどのオーダーメイド工具の提案から製品供給まで一貫して行うことができます。そして、お客さまの日進月歩の生産技術の進化を支え、それに応えるため、自社製品に求められる品質と性能を限りなく追求しています。

また、社内にはツールエンジニアリングセンターを設置して、お客さまが実際に加

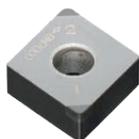
工している被削材を持ち込んでいただき、テストカットすることで、より深い技術を提案。お客さまのさまざまな加工トラブルに対するソリューションや加工ライン全体のライン診断、新規ラインのツーリングサポートも行っています。

九州住電精密は、これまで蓄積してきた技術力と多様な製品を革新、融合させることで、社会変化による新たなニーズに応えるとともに、グローバル市場に対して優れた製品、技術、サービスを提供し続け、持続的な成長を図っていきます。



※CBN：ホウ素と窒素からなる人工的なダイヤモンド結晶構造の化合物

ダイヤモンドに次ぐ硬さを持つ  
CBNを使った“スミボロン”  
インサート FV Type



## 九州住電精密株式会社

☎ 0952-82-3225

[所] 杵島郡大町町大字福母2374

[代表者] 代表取締役社長 坂田 利光(さかた としみつ)

[設立] 昭和39年(1964年)

[従業員] 280名

[HP] <https://www.kyushu-sumiden.co.jp/> 九州住電精密 検索

### このポイント!



切削工具はその性能だけではなく、工具で作った製品の精度を長く維持させることも重要です。そのために九州住電精密では、工具一つ一つを高い技術で製造することはもちろん、品質管理のため、自動検査装置や検査スタッフの厳しいチェックを経て最高品質の製品を提供しています。

50  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 九州精密工業 株式会社

日本のものづくりを支える  
歯車製造用工具のプロ

### 46年のノウハウ

昭和49年(1974年)に切削工具を作る企業として創業した九州精密工業。現在は、日本で数社しかない自動車やロボットなどで使用する、精密な歯車を作るための歯車製造用工具専門メーカーです。

同社の強みはミクロン単位の精密な歯車を作ることができる高品質・高性能な切削工具を作る技術で、お客さまが求めるさまざまな製品を一つ一つオーダーメイドで製作しています。そこには、創業者である福田健一会長のものづくりへの理念とノウハウが大きく影響しています。

「今の工作機械はアナログではなく、コンピュータ制御になっています。しかし、若い人たちがただプログラムを入力したとしても良い製品にはなりません。福田会長はたたき上げの職人なので、音を聞いたり火花を見たりするだけで精度が分かります。そのため、コンピュータ制御で作る機械に対

して、“これはおかしい”、“調整しなさい”と指摘することも多いです。若い人たちは福田会長のものづくりに対する理念をしっかり受け継いで、新たなものづくりに挑戦しています」と福田社長は話します。

### 日本のものづくりを支える

お客さまから求められる品質はますます高くなってきており、高品質で高性能な製品を作るためには、同じように高いクオリティの切削工具が要求されます。「作った製品の精度が維持できているか徹底した品質管理をし、少量多品種にも対応できる生産管理、高精度な工具の開発に取り組んでいきます。私たちの作った工具が日本の最高クラスのものづくりにつながっているのだと自信を持ち、さらに切削工具のプロとして組織力を高めていきたいです」と福田社長。

歯車を作る工具メーカーとしての自信と誇りが、日本のものづくりを支えています。



代表取締役社長  
ふくだ ひろし  
福田 裕志

国内シェア1位の  
パワースカイ  
ビングカッター



## 九州精密工業株式会社

☎ 0952-68-3001

[所] 佐賀市久保田町大字久保田1512

[創業] 昭和49年(1974年)

[従業員] 180名

[HP] <http://www.q-seimitsu.co.jp/> 九州精密工業 検索

### このポイント!



九州精密工業のものづくりを支えているのが開発力と設計力の高さです。お客さまからの細かい要求に対し、これまで培ってきた切削工具製作のノウハウや設計思想を最新の解析技術で、データ化、数値化することによって、高い精度の製品が生まれています。



## 株式会社 九州トリシマ

高効率にこだわったポンプで  
日本経済を支える



### 品質と効率を追求し抜く

ポンプメーカー西島製作所の標準ハイテクエコポンプの生産拠点として誕生した九州トリシマ。世界最高水準の効率化を実現した小型の標準ポンプを年間6,000台製造しています。

「互換性の高い標準ポンプですが、多種多様なお客さまの要望に対応するため、全て受注生産を行っています。ポンプを通ず液体や設置環境など、用途に合わせて設計・組立・設置をし、最高の効率を発揮するポンプを提供しています」と大家社長。

組み立てた後は綿密な性能試験を行い、品質と効率をチェック。メンテナンスやアフターサービスも万全で、常に最適に稼働する製品づくりを追求しています。

それを支えているのが、熟練した技術者たちで、毎年、多くの社員が技能検定に挑戦し、技能士の資格を取得しています。

### 3者一体のものづくり

常に最高の効率で稼働し、お客さまにメリットのある製品づくりに取り組むため、売る人・使う人・作る人が知恵と意見を出し合える、3者一体の関係を目指す同社。

中が見えないポンプに小型センサーを取り付け、IoT※で機器の運転状態をモニタリングできる“TR-COM”で事前に異常を察知。メンテナンスの手間やコストが削減できると喜ばれています。

さらに毎月、社外の人も参加できるポンプ研修会を開催し、基礎知識の勉強や組み立て体験を実施しています。ポンプの仕組みが分かるとユーザーからも好評で常に満員になる人気講座です。

また、地域貢献にも積極的で、母体会社である西島製作所の先代の社長が昭和56年(1981年)から始めた原田記念財団による県内の高校生への奨学金事業は現在も続いています。

「今後はサービス事業面に力を入れるとともに、さらに効率化を極め、製造台数を増やしていきたいですね。また、世界でインフラが整備されていない国や地域がありますので、しっかりしたものづくりの技術と製品で貢献していくことがポンプ屋の使命だと思います」と大家社長の展望は広がります。



※IoT:モノのインターネット。あらゆるモノをインターネットに接続すること



代表取締役社長  
おおいえ みちひこ  
大家 満彦

主力のCAシリーズ  
“片吸込渦巻ポンプ”



## 株式会社九州トリシマ

☎ 0954-26-3081

[所] 武雄市若木町大字川古9857-13

[創業] 平成4年(1992年)

[従業員] 85名

[HP] <https://www.torishima.co.jp/> 九州トリシマ 検索

### このポイント!



軸の回転による、遠心力で中の液体を流動させるポンプ。その軸を動かすモーターの必要電力は、日本の使用電力の約3割に上ります。高効率にこだわったエコポンプは約10%の電力費とCO<sub>2</sub>の削減を達成。その取組が評価され、平成26年度(2014年度)には経済産業省の省エネ大賞を受賞しました。

たエコポンプは約10%の電力費とCO<sub>2</sub>の削減を達成。その取組が評価され、平成26年度(2014年度)には経済産業省の省エネ大賞を受賞しました。



52  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



## 古伊万里酒造 有限会社

伝統の技を礎に  
一步「前」を進み続ける酒造り

### 時代に合わせた酒造り

焼き物の積み出し港として栄えた伊万里的地で、明治42年(1909年)に創業した古伊万里酒造。「創業当時は前田酒造でしたが、先代(父)が地元の誇りである“古伊万里”という名の酒を造りたいと社名を変更しました」と4代目蔵元の前田代表。清酒“古伊万里”は地元で愛される地酒として根付き、平成20年(2008年)には一歩先を進む新ブランドとして“古伊万里 前”が誕生。平成25年(2013年)には全米日本酒鑑評会でグランプリを受賞すると一気に知名度が上がり、今や海外にまで販路が広がっています。

世界で評価される銘酒を生み出しながらも、小規模な酒蔵にとっては生産現場の効率化が課題となり、平成28年(2016年)に大規模な設備投資を実施。「搾り機を木槽から藪田式圧搾機に変更。酒質は変わりましたが、味わいがきれいになって品質

も安定しました」と前田代表。他にも、遠隔地からこうじやもろみの品温がチェックできる管理システムを導入して作業環境を改善。歴史ある酒蔵の伝統を次世代に引き継ぐため、スタッフの働きやすさを追求する新しい酒造りが始まりました。

### 世界で愛される日本酒に

“前”シリーズは限定流通酒で、国内外約70軒の酒販店等と直接取引をしています。信頼できる取引先からの率直な意見は、日々の酒造りに生かされ、造り手の励みにもなります。

海外販路も同様で、現在、韓国、中国、フランス、イギリスなど7カ国に輸出していますが、現地販売店との直接取引がほとんど。「今や日本食レストランに日本酒があるのは当たり前。海外市場で日本酒が生き残るには、料理のジャンルに関係なく、料

理とのペアリングでソムリエが薦めたいくなる一本になることが必要です」と前田代表。日本酒の消費人口や消費量が減少傾向にある中、国内外にかかわらず“日本酒と言ったら古伊万里酒造”と、選ばれる一本になることが大きな目標です。

古伊万里酒造の躍進を支えているのは、地元に着した酒造り。しっかりと地元で根を張って地盤を固めているからこそ、世界中の飲み手を笑顔にする酒を醸し続けることができます。



“古伊万里 前”の純米吟醸は令和元年(2019年)に英・仏・米3カ国のSAKEコンテストで金賞を受賞

代表取締役  
まえだ くみ子



## 古伊万里酒造有限会社

☎ 0955-23-2516

[所] 伊万里市二里町中里甲3288-1

[創業] 明治42年(1909年)

[従業員] 9名

[HP] <https://sake-koimari.jp/> 古伊万里酒造 検索

### このポイント



“前”シリーズのヒットをきっかけに、地元から九州全域、都市圏、ついには海外にまで販路が拡大。積極的な海外展開を後押ししたのは、ジェトロ(日本貿易振興機構)による支援サービスです。韓国、中国などアジア圏へのアクセスの良さも大きなポイントになりました。

53  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(食品系)

## サンポー食品 株式会社

40年愛されるカップ麺  
九州外にもシェア拡大



### 味を守り続ける努力

豊かな風味が本場の豚骨ラーメンを思わせるカップ麺“サンポーの焼豚ラーメン”。サンポー食品が昭和53年(1978年)に発売して以来のロングセラーで、幅広い世代の人に親しまれています。

同社は、大正10年(1921年)に精米業として創業、昭和24年(1949年)に製粉・製麺会社を設立し、令和元年(2019年)6月に設立70周年を迎えました。当初は乾麺のそうめんやうどんなどを中心に製造。その後、即席棒状ラーメン“三寶ラーメン”を発売し、“サンポーラーメン”の愛称が広まったことで、現在の“サンポー食品”に社名を変更しました。

カップ型即席麺“長崎ちゃんぽん”を発売した翌年の昭和53年(1978年)に“焼豚ラーメン”は誕生。5代目の大石社長は「おかげさまでおいしいと言って食べていただき、今に至ります。大事に育ててくださった

お客さまの期待を裏切ることのないよう、“おいしさ”を大切にしています」と話します。環境などの変化で、原料も変わる中、スープ一つでも同じ味を保ち続けるのは、簡単なことではありません。食べる人の安心や満足を第一に、長く愛された昔ながらの味を変えない努力が続いています。



### 自由な発想で商品開発

少子高齢化の影響や人々の嗜好の多様化への対応など、時代を見据えた動きも大手企業に負けない姿勢の一つです。同社の商品開発部は、毎年200種類もの案を企画会議にかけ、そのうち30近くの新商品を世に送り出しています。地元のラーメン店とのコラボ商品、その他消費者のニーズに合わせたさまざまな商品が店頭に並びます。

古川取締役・製造本部長は「開発する際はスープや麺、かやくなどと分けて、1人で一つの商品にじっくり取り組むところが、大規模な会社にはない魅力かもしれません」と話します。

現在、商圏は九州内だけでなく、関東や一部は東北にも及ぶほか、台湾などの海外にまで拡大中。自由な発想と味へのこだわりを持ちながら、佐賀県を代表する食品会社として、九州内外へとファンを増やしています。



代表取締役社長  
おおishi たかのり  
大石 忠徳

基山町産の菊芋を  
使用した商品



## サンポー食品株式会社

☎ 0942-92-2511

[所] 三養基郡基山町長野230

[創業] 大正10年(1921年)

[従業員] 100名

[HP] <https://www.sanpofoods.co.jp/>

サンポー食品 検索

### このポイント!



主力の焼豚ラーメンは、長年にわたり九州の定番として幅広い世代に親しまれるヒット商品。“関東でも販売してほしい”といった声も多く、近年は関東や海外など九州外へと販売エリアを広げています。

## 西研グラフィックス 株式会社

新聞印刷周辺機器を開発  
精度の高さでシェア1位



### 新聞印刷分野で技術を醸成

令和2年(2020年)で創業70周年を迎える西研グラフィックス。戦後、新聞輪転機を保守する工場が九州にも渴望され、初代の並田勇社長が“西部印刷機研究所”として創業しました。その後、新聞印刷の付属機器製造へと発展し、鉛版鑄造機の高い品質が認められ、全国に事業を拡大。オフセット輪転機への転換期に岐路に立たされながら、ものづくりの力で時代の荒波を乗り越えてきました。

中でも注目すべきは高性能な新聞搬送機器“CSGキャリア”。新聞を確実につかんで運ぶセンターグリップが特長で、改良を重ねた現行モデルは国内シェア1位の製品です。つかんだ際のインクが転写しない、安定性が高いなど顧客の要望に応える性能を追求し、“キャリアは西研”と言われるほど評価されています。

また、新聞輪転機の製造も約60年の歴

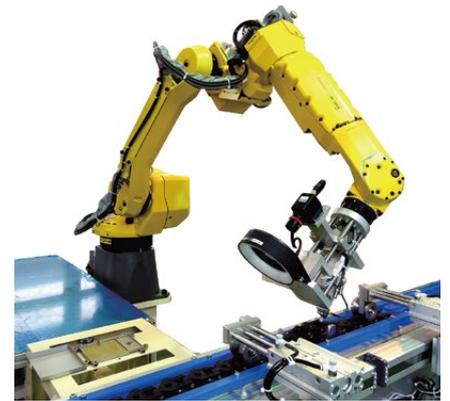
史があり、国内に3社あるメーカーの一つです。平成14年(2002年)には日本初の4×1輪転機を開発。軽量かつコンパクトで、ランニングコストの削減などを実現し、現在では国内の主流タイプとなるほか、中国、インドへもシェアを広げています。

### システムの自動化にも貢献

大型機械の製造で培われた技術とその精度の高さは、さまざまな分野への応用が見込まれ、新しい事業にもいち早く挑戦しています。ロボットによるシステムの自動化もその一つ。例えば、危険を伴う熱間鍛造加工の際の自動化装置を開発したり、キャリアの内部検査に多関節ロボットを活用したりと多岐にわたります。三次元測定器による計測技術も提供。また、同社から独立した西研トレーディングでは、海外からの部品を安定供給するサプライチェーンを構築するなど、しなやかな発想と技術力を駆

使した展開が目玉されます。

3代目の並田社長は「開発から製造、販売、アフターサービスまで全てを自社で行い、責任を持ったものづくりを大切にしています。自社の強みを生かして世の中のニーズに応えていきたい」と話し、“技術立社”、“顧客第一”の基本姿勢を守りながら未来へシフトしています。



代表取締役社長  
なみた しょうた  
並田 正太

安定性・信頼性が向上した  
新聞搬送キャリア



## 西研グラフィックス株式会社

☎ 0952-52-8515

[所] 神埼郡吉野ヶ里町吉田135

[創業] 昭和25年(1950年)

[従業員] 125名

[HP] <http://www.seiken-g.com/> 西研グラフィックス 検索

### このポイント



製品の品質を維持していく上で、測定や確認を行う作業は今後ますます重要になります。接触型の三次元測定機では測定困難な大型の構造物も西研グラフィックスが所有するレーザー式三次元測定機を使えば測定が可能で高精度な測定サービスも行っています。

55  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(機械金属系)

## 武井電機工業 株式会社

お客さまの要望を  
カタチにする職人集団



### 設計から製造まで自社管理

時代のニーズとお客さまの要望に、高度な精密制御機械技術で応える武井電機工業。モーターや変圧器の修理業から始まり、制御盤・配電盤などの電気制御機器の製造にまで活動の幅を広げることで、エレクトロニクス関連の制御技術に磨きをかけられました。

「我が社の強みは、電気設計と機械設計、さらには製造からメンテナンスまで一貫して自社で行う生産体制です。電気・機械・光・情報を独自のアイデアと発想で複合技術へと作り込めるところに真骨頂があります。社員同士の密なチームワークによってそれを可能とし、常に高品質のものづくりに取り組んできました」と武井会長。

設計から組立まで自社で行う企業は珍しい上に、光学設計やその調整までも行うのは国内でも同社のみ。スモールビジネスでも一目置かれる企業を目指し、どのよう

な要望にも対応できる柔軟性とそれを可能にする技術力で成長し続けてきました。

### 圧倒的な技術力

自社製品の開発に力を入れ、佐賀県から技術支援を受けたり産学連携に取り組んだり、同社は新たな技術開発を積極的に行い、数々の特許を取得。中でも平成28年(2016年)に特許を取得し、九州地方発明表彰で発明奨励賞を受賞した“レーザ加工方法及びレーザ加工装置”は、スマートフォンやタブレットなどで用いられているタッチパネルディスプレイを加工するための装置で、国内はもとより世界でもトップレベルと評されています。

集光性を持つレーザ光は複雑な図柄も圧倒的なスピードで正確に切り抜き、多様化し需要が高まっているエアバックや車載用ディスプレイのための異形状フィルム

加工でも生かされています。

「我が社の根底にあるものは社員の幸福です。ものづくりが好きな社員とともに、常にお客さまの要望に応えたいと、努力を重ねてきました。これからも“やっぱり武井じゃないと”と言われる製品づくりに取り組んでいきます」と武井会長を筆頭に職人魂を燃え上がらせませす。



代表取締役会長  
たけい くにお  
武井 邦雄

レーザ加工装置により  
0.8秒で加工されたフィルム



## 武井電機工業株式会社

☎ 0942-89-4151

[所] 三養基郡みやき町江口2617

[創業] 昭和11年(1936年)

[従業員] 149名

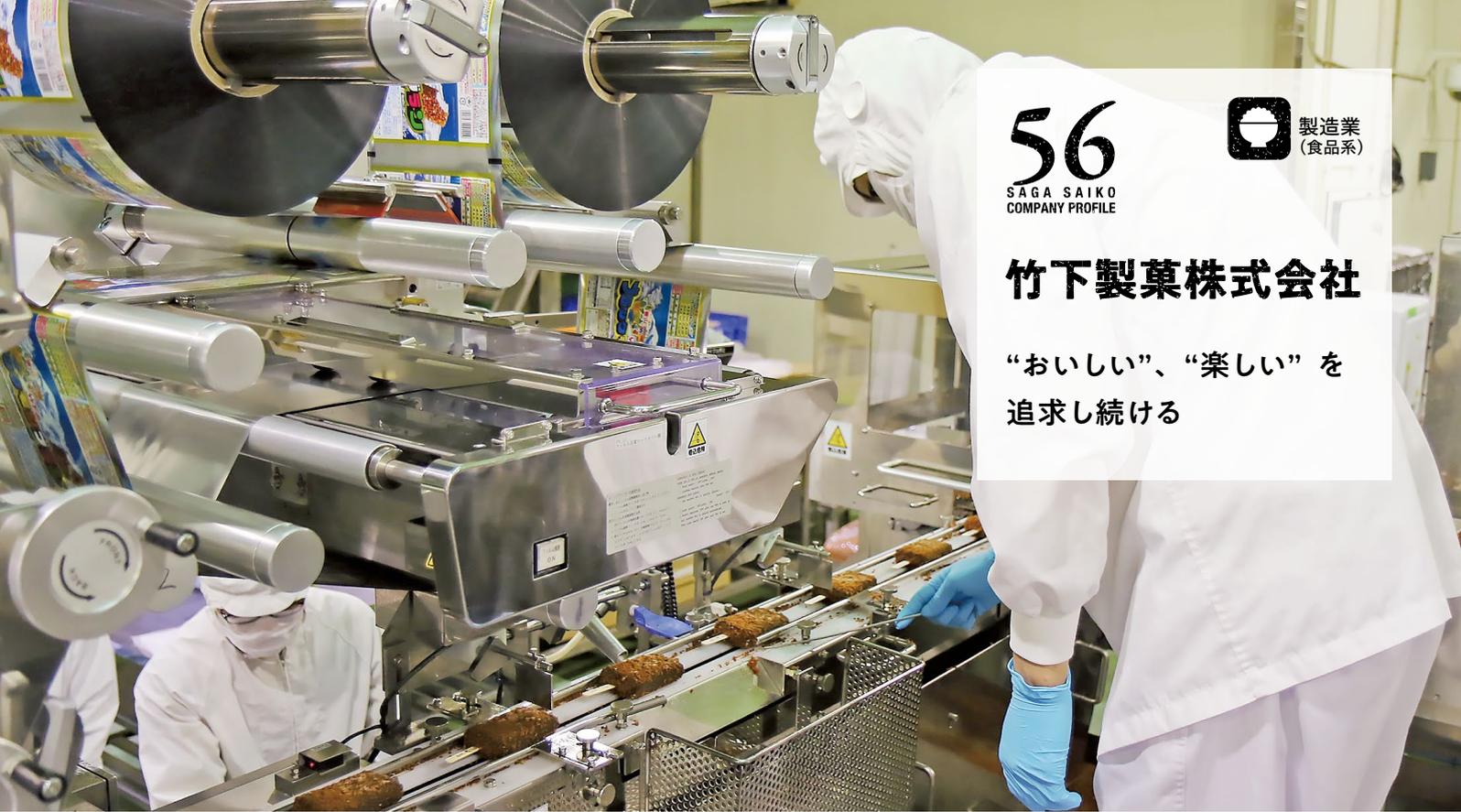
[HP] <http://www.takei-ele.co.jp/> 武井電機工業 検索

### このポイント!



“タッチパネルのフィルム用レーザ切断装置開発※”は、平成30年(2018年)に第7回ものづくり日本大賞で九州経済産業局長賞を受賞しました。正確さと圧倒的な処理速度は国内外からも高く評価され、導入が進められています。

※平成26年度(2014年度)・平成27年度(2015年度)の“戦略的基盤技術高度化支援事業”(経済産業省)において、九州大学と佐賀県工業技術センターとの共同研究により実施したものです



56  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

製造業  
(食品系)

## 竹下製菓株式会社

“おいしい”、“楽しい”を  
追求し続ける

### 九州を代表するアイス

“ブラックモンブラン”、“ミルクック”といえば佐賀だけでなく、九州の人にとっても馴染み深いアイス。食べ終わった後、バーについている当たりくじにワクワクした人も多しはず。

竹下社長は「商品がおいしいのは大前提になりつつある時代ですが、そこに加えて“楽しい”があるのが我が社ならではの当たりくじをつけ、遊び心に溢れた商品やキャンペーンを企画してきました。商品を通してくださるお客さまをはじめ、世の中をハッピーにしたい。それが経営理念にもある“社会に奉仕する”ということにつながってくると思います」と笑顔を輝かせます。

竹下製菓の代名詞とも言えるブラックモンブランはそのシリーズだけで、年間2,000万本以上を製造。常に材料や食感を見直すなどおいしさを追求し、変化し続けています。

どんどん新しい商品が世に出ている中でも選んでいただけるよう、「定番商品の基本戦略は変えず、お客さまのイメージからも逸脱せず、気付かれぬようにおいしくしています」と竹下社長。

さらに、当たりくじの企画が毎年変わるため、パッケージもその都度リニューアルするこだわり。

当たりくじというシンプルな楽しさは子どもたちの心に響くものがあり、大人には懐かしさを思い起こさせます。



### 菓子とアイスの両輪で

アイスの印象が強い会社ですが、マシュマロやようかんなどの菓子も有名です。それもそのはず、同社は製菓で創業しましたが、夏場の売上の落ち込みを補うために60年ほど前からアイスの製造を始めました。

「長年会社を支えてくれたのは“鶴の里”などの菓子です。今はアイスの割合が多いですが、菓子にも力を入れ、アイスと菓子の両輪でさらに経営を安定させたいですね」と竹下社長は展望を語ります。

その突破口として誕生したブラックモンブランをクランチバーにしたお菓子は、手土産にもってこいと駅や空港、サービスエリアなどにも置かれ、人気商品となっています。

「さらに販路を拡大し、食べたいと思ってくださる人の元にお届けできるよう、これからも営業にも力を入れていきたいです」と竹下社長の挑戦は続きます。



代表取締役社長  
たけした まゆ  
竹下 真由

“ブラックモンブラン”と  
ようかん“やどり木”



## 竹下製菓株式会社

☎ 0952-73-4311

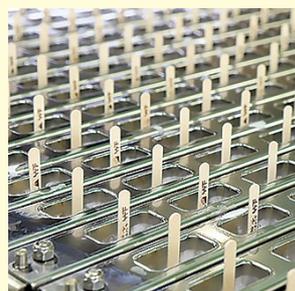
[所] 小城市小城町池の上2500

[創業] 明治27年(1894年)以前

[従業員] 90名

[HP] <http://takeshita-seika.jp/> 竹下製菓 検索

### このポイント!



創業から120年以上の歴史を持つ竹下製菓。その長い歴史を支えてきたのはおいしさと楽しさを追求し、消費者のニーズや時代に合わせて変化し続ける柔軟さにあります。ロングセラーのブラックモンブランはバリエーションが豊富で、全国的にも高い知名度を誇ります。

## 天山酒造株式会社

世界が認めた佐賀の酒



### 佐賀の恵みに育まれて

145年にわたり清酒、焼酎、リキュールの製造・販売を行っている天山酒造。天山の清らかな湧き水と佐賀平野でとれた酒米を使い、昔ながらの酒造りにこだわった日本酒は、芳醇な米のうま味を感じます。

七田社長は日本酒のおいしさを広めるため、フランスで開催されている日本酒コンクール“Kura Master”に挑戦。フランスのトップソムリエが料理と日本酒の相性の良さという観点で審査する大会で、国際的にも注目されています。そこで“七田”の純米吟醸“雄町”が最高賞のプレジデント賞を獲得し、国内外にその名を知らしめました。

「Kura Masterでの受賞は欧州での販路拡大への大きな自信となり、欧州諸国で声をかけていただく機会も増えました。また、授賞式の様子が国内のテレビで報道され、佐賀酒の認知度を高める良いきっかけになりました」と笑顔の七田社長。

現在、販路はアメリカやアジアを中心に世界26の国と地域に広がりました。

### “不易流行”の酒造り

同社では松尾芭蕉が説いた“不易流行”の考えを根本に、創業以来大切にしている品質第一主義や自然の豊かさを生かした酒造りはそのままとしつつ、消費者のライフスタイルや時代に合わせた商品開発に力を入れています。

その結果、日本酒の低アルコール化に成功。度数が低くても、米本来のうま味を表現し、味わいとバランスを保つ製造技術を開発しました。さらに、シャンパンと同じく瓶内二次発酵させたスパークリング日本酒は女性からも人気です。

「日本酒は和食と合うのはもちろん、世界各国の料理との相性も良い、懐が広い飲み物です。ワインやビールのように、日本酒

も浸透するとうれしいですね。また、お肌やアンチエイジングにも良いのです。日本酒の魅力に気付いてもらえるような機会や場をつくり、情報発信に力を入れて、このおいしさを知っていただきたいです」と質にこだわった酒造りに挑み続けます。



代表取締役社長  
しちだ けんすけ  
七田 謙介

天山スパークリング



## 天山酒造株式会社

☎ 0952-73-3141

[所] 小城市小城町岩蔵1520

[創業] 明治8年(1875年)

[従業員] 22名

[HP] <http://www.tenzan.co.jp/> 天山酒造 検索

### このポイント!



平成29年(2017年)のKura Masterでプレジデント賞を受賞した“七田”の純米吟醸“雄町”は、香りが華やかで米のうま味がしっかりと引き出されたバランスの良い酒。国内外の数々のコンクールでも入賞し、高い評価を得ています。



58  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

製造業  
(コスメ系)

## 株式会社トレミー 九州唐津工場

世界品質の化粧品づくりの  
黒子役

### 化粧品づくりのパイオニア

昭和12年(1937年)にパウダー製造業として創業し、昭和58年(1983年)に設立したトレミー。化粧品のOEM※1メーカーとして、化粧品のメーカーや販売会社からのさまざまな要望に応え続けています。

同社の強みは、化粧品の研究から製造、納品まで、一貫した体制でものづくりを行えるところです。「化粧品の企画開発から製造までを行うことで、お客さまのご要望や目的だけではなく、ものづくりを行う中での達成感も共有することが大切だと考えています」と鈴木代表。一貫した体制を生かし、OEMだけでなく、自社で企画した商品をお客さまに提案して製品化するODM※2にも取り組んでいます。鈴木代表は「あえて自社ブランドは持っていません。私たちは化粧品の総合プロデュース業として、お客さまの要望全てに“高品質”でお応えできるよう、日々研究を重ね、最高のピ

ジネスパートナーであるための努力を続けています」と話します。

### 九州唐津工場でさらなる品質向上を

国内はもとより海外のお客さまのニーズにもより幅広く対応するために、平成24年(2012年)には唐津市に工場を設立しました。「唐津を選んだのは、唐津の企業と唐津市が中心となって行っている“唐津コスメティック構想”という化粧品産業の集積化の計画に賛同したためです。また、唐津はアジア市場への玄関口ということも決め手の一つでした」と鈴木代表。

工場の品質レベルは設備・管理の両面で万全の体制を整えて、クリーンかつオリティの高い化粧品づくりを行っています。また“ジャパン・コスメティックセンター(JCC)”の一員として、化粧品原料の開発による農林水産業の活性化やグローバル

展開支援などを推進しています。トレミーは、一般的な“基礎化粧品”から“医薬部外品”まで、お客さまに寄り添った時代の先端を行く製品の研究を重ねて、“高品質”にこだわった製造技術と生産体制を提供しています。



※1 OEM: 委託者のブランドで製品を生産すること  
※2 ODM: 委託者のブランドで製品を設計・生産すること



代表取締役  
すずき こうじ  
鈴木 幸司

トレミーが企画した  
レディメイド商品



## 株式会社トレミー 九州唐津工場

☎ 0955-70-4881

[所] 唐津市浜玉町浜崎1901-460

[設立] 昭和58年(1983年)

[従業員] 90名

[HP] <https://www.toremy.co.jp/> | トレミー 検索

### このポイント!



トレミー九州唐津工場は、エアシャワー室や空気循環殺菌装置などをはじめ、製造室や充填室にもクリーンユニットを設置。衛生管理の行き届いた環境で品質の安全を厳守しています。徹底された品質管理で化粧品づくりに取り組んでいます。



## 株式会社 中島製作所

高い技術で多品種製造  
お客さまのためのものづくり



### 細かいニーズにも対応

大正14年(1925年)に創業し、現在は半導体製造装置の金属部品加工を中心にしている中島製作所。その強みは、独自の管理システムによる多品種の製造と短納期の対応力です。

「半導体製造装置はお客さまからさまざまな仕様に関するご要望があります。特に部品の種類は何万点とあり、2~3個の小ロットの仕事が何千件と来るので、マンパワーでは納期の把握ができずにいた時期もありました」と中島社長。その改善のため、独自で生産管理システムを開発し、業務の見える化を図ったところ、納期の遅延がゼロになりました。確かな信頼を得たことで、取引先から高い評価を受けています。また、生産設備の一部は自社で製造し、その現場に合ったものを自分たちが使いやすいように設計・開発することで、生産性の向上につなげています。

### 積極的に新製品を開発

“下請けだけではなく、よりお客さまと近い距離でお仕事をし、付加価値が高いものを提案したい”という中島社長の熱い思いから、平成22年(2010年)に自社製品を作る製品開発部を立ち上げ、国内初のマイクロ波で食事を温め直す機械“ミールシャトル”を開発しました。これまで病院の入院食を温める機械は、温風での再加熱方式のため、ごはんは乾き、野菜の色は変色するなどの欠点がありました。そこで中島社長は“金属加工のノウハウで何かできないだろうか”と、佐賀大学にも相談し、何度も試行錯誤の上、ミールシャトルを製品化することに成功しました。ミールシャトルは病院や介護施設で利用され、その便利さが好評で県内では佐賀大学医学部附属病院に導入されています。平成30年(2018年)には経済産業省のものづくり日本大賞を受賞しました。

また、マイクロ波加熱の技術によって、発泡コンテナに入れたまま短時間で6食を温められる“HOT・PIT”などの新たな自社製品の開発にも余念がありません。今後、さらに自社製品事業を伸ばしていく中島製作所の挑戦は続きます。



代表取締役社長  
なかしま ひろき  
中島 弘喜

日本初のマイクロ波  
再加熱カート  
“ミールシャトル”



## 株式会社中島製作所

☎ 0952-97-1121

[所] 佐賀市蓮池町蓮池66

[創業] 大正14年(1925年)

[従業員] 109名

[HP] <https://www.nakashima-mec.co.jp/> 中島製作所 検索

### このポイント!



金属加工の中でも、特に溶接加工の評価が高い中島製作所。技術が必要とされるステンレスの薄い板同士の溶接を得意としています。5年、10年と経験を積んだ職人たちが高い水準で行っており、お客さまから“仕上がりがきれい”と好評価を得ています。



60  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

製造業  
(機械金属系)

## 日本タングステン 株式会社 基山工場

世界シェアを支える  
タングステンの技術

### 高い技術で要望に応える

昭和6年(1931年)、タングステンの製造・販売を行う企業として創業した日本タングステン。その社名の通りタングステンを加工する粉末冶金※を得意とし、金属、電気電子材料、超硬合金、セラミックの分野でハードディスクの装置、半導体部品などさまざまなものづくりを行っています。

「炭化タングステンはダイヤモンドの次に硬い素材。それを材料から加工まで一貫生産できるのが私たちの強みです。大手メーカーさんのような大量生産ではなくお客さまのニッチなニーズに応えた少量多品種の製品化を成し得るのは、私たちの確かな粉末冶金の技術だと自信を持っています。特に、設計のノウハウと最終的に製品化する加工技術は大切にしており、長く受け継いでいきたいですね」と指宿部長は話します。

### 職人の技が光るダイカッター

サニタリー製品の輪郭加工に使用される超硬合金製ダイカッターは国内シェア1位を誇り、同社の主力製品です。従来のダイカッターは鉄製が主流ですがすぐに摩耗して使えなくなることが欠点でした。お客さまからもっと長寿命化したいという要望を受けて、同社独自の技術を適用することによって、世界に先駆けて超硬合金製ダイカッターの商品化に成功しました。

「作るときに一番難しいのは、焼く工程の段階でタングステンが半分くらいに収縮するため、最終的な成形加工を事前に予測することです。また、ダイカッター製品は硬い反面、欠けやすい性質を持つため、仕上げは機械ではなく職人が全て手で研磨しています。カッターの刃先の約30ミクロンという極細の幅をしっかりと仕上げられるのは、それだけ高い技術があるからです。さらに技術を継承するために、令和元年

(2019年)からは人材育成にも非常に力を入れています」と指宿部長は自信を持って話します。

令和13年(2031年)には創業100周年を迎える日本タングステン。これまで築いてきた粉末冶金の技術で価値を創造し、未来につなげます。



※粉末冶金: 金属などの粉末を成型し、焼結することで製品を作る製法のこと



超硬合金製ダイカッター製品は  
国内シェア1位

機械部品事業本部  
ダイカッター事業部長  
いぶすき こういち  
指宿 耕一



## 日本タングステン株式会社 基山工場

☎ 0942-81-7700

[所] 三養基郡基山町大字園部3173-2

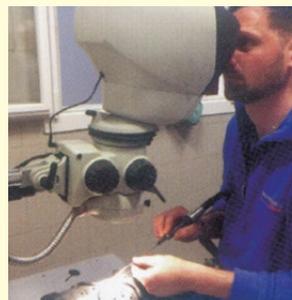
[代表者] 代表取締役社長 後藤 信志(ごとう しんじ)

[創業] 昭和6年(1931年)

[従業員] 396名

[HP] <https://www.nittan.co.jp/> 日本タングステン 検索

### このポイント!



昭和61年(1986年)に生まれたダイカッターの出荷総数は累計で10,000本以上、世界40カ国以上で使用されています。納入したダイカッターの研磨を行うアフターケアのため、技術者は世界中にいます。日本タングステンは誇りとする研磨の技術でお客様の信頼を得ています。



## 有限会社 平田椅子製作所

家族のだんらんをつくる  
椅子づくり



### 高品質の椅子づくり

設計から組立まで自社で一貫生産している椅子専門メーカーの平田椅子製作所。シンプルで洗練されたデザインと人間工学に基づき、機能性を併せ持った製品はどんなリビングにもなじみます。

バブル崩壊に伴う価格競争激化の波に対し、平田代表はそれまでの量産型からデザイン性を向上させた高品質・高付加価値の製品づくりに舵を切りました。

「高齢化が進む業界の将来性も見据え、10年かけてパーツの製造など全ての技術を身に付けました。ものづくり本来の楽しさややりがいを感じられるようになると、そこに魅力を感じて入る若い社員も増えました」と平田代表。

今では自社生産が強みとなり、家具メーカーの開発拠点として試作や生産、メンテナンスや補修も請け負っています。

### 座る人に寄り添った椅子

平成17年(2005年)から佐賀大学医学部などの協力を得て開発を進めた“人にやさしい椅子プロジェクト”。張り具合が調整でき、サイズ展開のある椅子を開発。長時間座っても負担が少なく、寝たきりだった人が座れるようになったり、立ち上がりやすくなったりと喜ばれています。

緻密な計算と、職人の技の粋を集めた“ポザ”は人気シリーズに成長しました。

### 平田ブランドを強化

中国やASEANなど海外マーケットも視野に入れ、自社ブランディングの強化に取り組む平田代表。平成26年(2014年)には同じ諸富家具メーカーのレグナテックと互いの得意分野を生かした家具ブランド“ARIAKE”を立ち上げました。

海外デザイナーと組み、有明海や自然を

表現した洗練されたデザインと、卓越した家具職人による家具は、国内外で高く評価されています。「日本には北欧家具と対等に渡り合える力があります。むしろ出ていけないのが不思議なくらいです」と製品への自信を見せる平田代表。

今後の展望について平田代表は「椅子は人が一番触れる家具だから、使い勝手やデザイン、人がほっとできるような存在感をものづくりの中で表現していきたいです。そのためにデザイン性や技術の向上を目指します」とメイドイン佐賀の椅子に磨きをかけ続けます。



代表取締役  
ひらた しょうじ  
平田 尚二

人にやさしい椅子  
“ポザ”



## 有限会社平田椅子製作所

☎ 0952-47-6534

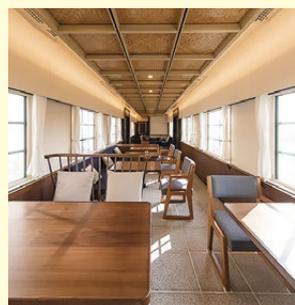
[所] 佐賀市諸富町大字徳富118-2

[創業] 昭和38年(1963年)

[従業員] 28名

[HP] <http://www.hiratachair.co.jp/> 平田椅子製作所 検索

### このポイント!



平成31年(2019年)3月に誕生し、天神と大牟田を結ぶ観光列車“THE RAIL KITCHEN CHIKUGO”や伊豆を走る“ザ ロイヤルエクスプレス”の車両の椅子は平田椅子製作所が手掛けています。快適な旅を支える大事な役割を担う椅子に選ばれていることこそが高品質の証と言えます。



## 株式会社ミゾタ

水の総合エンジニアリング  
として水とともに歩む

## ゲートポンプでトップシェア

大正4年(1915年)に低平地でクリークが多い佐賀の地にあって、水田に水をくみ上げる農業用水ポンプの製造を行う企業として創業したミゾタ。主力の事業は逆流防止の水門(ゲート)と、ポンプの強制排水機能を一体化した“ゲートポンプ”の開発・製造を行う鉄工事業。ゲートポンプは、昭和60年(1985年)に特許を取得。省スペースで低コストだったこともあり、今や全国各地に展開し、国内トップシェアを誇っています。「ゲートポンプは全国にあり、お客さまからさまざまなニーズが出てきます。ゴミを絡みにくくすることや低い水位でも稼働できるようにすることなど長年にわたり常に改善を行うことで技術力を高め、そのノウハウを蓄積しています」と井田社長。

事業展開として多角化にも取り組み、浄水場・下水処理場の機械設備や水力発電設備、防災設備としてのトンネル内消火設

備、さらにはバイオ分野の設備まで扱っています。井田社長は「薄く、広く」が弊社の特徴で、バイオ事業は社員のアイデアからスタートしました。いろんな事業に挑戦することで経営環境の変化にも対応していかなければなりません」と話します。

幅広い事業の展開を支えているのが、高度な技術力を持つ社員たちです。その実力はものづくりマイスターや褒章を授章するほどで、技術を継承する“育つ環境”が整えられています。

## 水と人を豊かにするために

事業の中でも鉄工事業は、公的な事業が多く、社員のアフターフォローに対して高い評価を受けています。「お客さまから『使い方が分からなくなった』と連絡を受けて社員が飛んでいくこともあります。また、弊社は国や県、市と災害時の協定を結

んでおり、特に7月から10月にかけては雨が気にかかるので緊張します。大雨の予報時は社員が交代しながら徹夜で待機し、要請があればすぐに出動します。いざという時の社員一人一人の姿勢が誇らしいです」と井田社長。今後は防災・減災が求められる中でより“ミゾタ”が求められるように、培った技術力のさらなる向上に取り組みます。

水と人との関係をもっと豊かにするために、ミゾタはゲートポンプのパイオニアとして走り続けます。

取締役社長  
いだ はじめ  
井田 建全国でトップシェアの  
ゲートポンプ

## 株式会社ミゾタ

☎ 0952-26-2551

[所] 佐賀市伊勢町15-1

[創業] 大正4年(1915年)

[従業員] 402名

[HP] <http://www.mizota.co.jp/>

ミゾタ 検索

## このポイント!



ゲートポンプの特徴は、保水と排水が1カ所でき、用地買収のコストを大幅に下げられる点にあります。また、門柱などのコンパクト化が可能で景観を損ないません。そのため、公共工事のコスト削減と環境保全の両面から社会に貢献しています。

63  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



卸売業・小売業

## 株式会社安永

美の提供と人づくりで  
社会を笑顔にする総合商社



### サロン運営をサポート

美容室やエステサロンなどを対象に、良質な資材の提供と技術向上のための講習会を開催し、サロン運営のトータル支援を行う美の総合商社安永。

安永代表は「我が社では美の追求と人づくりを通してお客さまと社会に貢献することを目指しています。美容業は直接、お客さまの肌や髪に触れるからこそ、きちんとしたサービスを提供するため、評判の良い講師を安永トレーニングセンターに招き、カットやカラーの最新技術や確かな情報を生で伝える講習会を開催しています」と話します。

さらに日本ネイリスト協会の認定校として資格の取得も可能なほか、まつげエクステの講習会を開催するなど、ネイルサロン・エステサロンなども立ち上げからサポートしています。

九州佐賀国際空港からのアクセスの良さや、静かな環境などが喜ばれ、中国からの

受講生も多く、国内外を問わず、幅広い受講生に確かな技術を伝えています。

また、よりサロンオーナーの側に立った営業活動を行うため直営のサロンを立ち上げ、実践的な取組も進めています。

サロンに訪れるお客さまの笑顔のために、サロンオーナーの声に耳を傾け、確かな技術と情報を提供し続けています。

### 女性が輝く社会づくり

美を探求する中で、女性が輝き続ける社会づくりの重要性を感じた安永智子副社長は、安心して子育てできる、新たな育児スタイルを提案する“日本ハプトノミー協会”を創設。妊婦や赤ちゃんが安心して使えるフランス政府認定のSKIN HAPTICS社のスキンケア製品と、その製品を使ったマタニティケアとベビーマッサージを日本で初めて導入しました。

「女性がまず自らを大切にし、自分らしく輝くことが、家庭や社会を明るくすることにつながります。マタニティケアを通して、妊婦さんをリラックス状態に導き、ハプトノミー※の“触れるケア”で、母性の開花を促します。安心して子育てできる環境を整え、佐賀から“もう一人子どもを産みたい”と思うお母さんを増やしたいです」と安永代表はほほ笑みます。

フランス式マタニティケアとベビーマッサージは佐賀を中心に全国に広がり、親子の愛情を深める場になっています。



※ハプトノミー：オランダ発祥の“自分で自分の体の感覚をケアする治療法”



代表取締役  
やすなが ただし  
安永 正

選び抜いた  
美をサポートする商材



## 株式会社安永

☎ 0952-73-2940

[所] 小城市小城町452

[設立] 大正元年(1912年)

[従業員] 20名

[HP] <https://ys-beauty.co.jp/>

株式会社安永 検索

### ポイント



安永は日本で唯一、妊婦や赤ちゃんにも安心して施せるフランス政府認定のベビーマッサージを導入し、講師の育成にも取り組んでいます。母親が安心して集える場所をつくり、そこで産前産後の正しい知識やケアを広め、女性が輝く社会づくりに貢献しています。

## 吉田刃物株式会社

佐賀刃物の伝統の技で  
国内トップシェアを占める

### 鋭く頑丈な佐賀刃物

園芸農業、機械刃物、包丁など切れ味が良く、使いやすい刃物に定評がある吉田刃物の製品。中でも“鋼付ねじり鎌”は、草の根から土ごと削り取れると好評で、国内はもとより海外でもロングセラーの商品です。

元刀鍛冶の創業者である吉田清司氏が、柔らかい鉄と硬い鉄を合わせた“鋼付”の鎌の量産化に成功し、丈夫で折れにくく、切れ味が長持ちすると評判になりました。

鍛冶屋としては珍しく、昭和51年(1976年)に大型機械の導入のため多久市に工場を新設。販路が全国に広がり、“鋼付ねじり鎌”の国内トップシェアの座を獲得し続けています。

さらに、平成元年(1989年)には合弁会社※を設立。3代目の吉田社長は「当時は成長途上の中国を、ものづくりで応援しよ

うという思いで設立したそうです。価値観の違いなどで戸惑うことも多々ありましたが、この経験のおかげで輸出入のノウハウを培うことができ、国際社会で生き抜く足掛かりになりました」と話します。



### 熟練の技術が光る“包丁”

現在、農業の機械化や少子化に伴い、既存商品の売上が伸び悩む中、成長しているのが高級包丁です。

平成25年(2013年)に日本食がユネスコ無形文化財に登録されたことをきっかけに、日本食やメイドインジャパンの製品が世界で高く評価されるようになりました。

新商品の包丁は、世界でもトップクラスの超高硬度のステンレス鋼を使用し、職人が鋼付の技術で鍛え上げています。

また、ステンレスの層を重ねてできる、独特な刃模様“ダマスカス鋼”はその美しさからヨーロッパを中心に海外でも人気が高まっています。

「伝統の技術を若い世代に伝承し、刃物を軸にしたさまざまな製品づくりに挑戦したいですね。これからもお客さまにとって使いやすい道具にこだわり続けていきます」と吉田社長の挑戦は続きます。

※合弁会社：外国資本と国内資本が共同出資して設立、運営する会社のこと



代表取締役社長  
よしだ けんじ  
吉田 健司

海外からも注文殺到の  
ZDP鋼の和包丁



## 吉田刃物株式会社

☎ 0952-76-3868

[所] 多久市南多久町大字花祭2808

[創業] 昭和21年(1946年)

[従業員] 40名

[HP] <http://www.hanamatsuri.co.jp/> 吉田刃物 検索

### このポイント!



江戸時代から続く佐賀刃物の伝統を受け継ぎ、家庭用から農業用まで豊富な刃物を製造。代表作ともいえる“鋼付ねじり鎌”は長年国内トップシェアを誇っています。刃物一筋で技術を極めるとともに、常に新しいことに挑戦し続け、世界への道を切り開いています。

65  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



農業・林業・漁業

ええのうかー

## A-noker株式会社

最新の技術でアスパラ作り  
佐賀の農業を盛り上げる



### ソトモノ農家の挑戦

一流シェフもうならせる、筋までおいしいという味のあるアスパラガスをブランディングし、“森のアスパラ”として栽培・販売を行っているA-noker。これからの農業ベンチャー企業として平成30年（2018年）12月に会社を設立しました。「平成25年（2013年）に太良町でアスパラ農家としてスタートしました。試行錯誤を重ね、4年がかりでようやく森のアスパラにたどり着きました」と安東代表。

その後は、収穫ロボットの導入、AI※を活用した環境制御装置や栽培予測などで省力化、効率化を行い、最先端の農業を行ってきました。

### 佐賀の農業を再興する

「自分たちの家族経営だけで今の品質を維持できる限界は3,000㎡。もっとおい

しいアスパラを作れる仲間を増やしたいと考えました。そこで自分たちの栽培から販売までのノウハウを教えるために法人化して、仲間を作ることができる移住者・就農者の受け入れと研修プログラムを作りました。国内には、農業に就きたいけどどうしていいかわからないという就農希望者は多く、農家目線でアグリビジネスが成功した事例は少ないので、そこにビジネスチャンスがあると感じています」と安東代表。

同社は、今後の事業として、移住者のために農地やアスパラの販路の紹介、さらにはブランディングのノウハウの提供までも予定しています。

同社のビジネスモデルは、稼げる農家を増やす仕組みをつくることです。アスパラだけでなく、農作物に高付加価値をつけるノウハウを他の農作物などにも応用し、他の農家にも役に立てる仕組みづくりが目標です。「おいしい農作物を作る農家さんは

他にもたくさんいらっしゃるから、そこを発掘し、農業全体の所得の向上につなげたい。私たちは農業に困った人の問題解決に取り組んでいきます」と安東代表。

“農業は稼げる、かっこいい”ということを発信し、子どもたちの将来の夢に農業を選んでもらうことを目指して安東代表の挑戦は続きます。



※AI：人工知能のこと



代表取締役  
あんどう こうたろう  
安東 浩太郎

高く評価されている  
“森のアスパラ”



## A-noker株式会社

☎ 090-9564-1143

[所] 藤津郡太良町大字大浦己701

[設立] 平成30年(2018年)

[従業員] 4名

[HP] <https://a-noker.com/>

### このポイント!



A-nokerの“森のアスパラ”は、ミネラルが豊富で、うま味を感じるアミノ酸の含有量が多く、筋までおいしいことが特長で、有名シェフにも評価されるようになりました。また、収穫ロボットを導入して、生産性の向上を図りつつ、品質の高いものづくりを行っています。



66



農業・林業・漁業

SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

## 農業生産法人 グレイスファーム 株式会社

6次産業化で  
キクラゲの可能性を探求

### 白いキクラゲとの出会い

キクラゲの栽培と加工販売を行っているグレイスファーム。白いキクラゲ“白美茸”<sup>はくびたけ</sup>の周年栽培に成功し、関西・関東方面のホテルや旅館などにも出荷しています。

創業は平成23年（2011年）、元々は別の職業だった副島代表は、同社の白いキクラゲに出会い、キクラゲの魅力に惹かれ事業を引き継ぎました。

「実はキクラゲは、低カロリー高タンパクで、食物繊維、ビタミンDなど健康に欠かせない成分を多く含んでいます。中華料理に使われるのは主に黒いキクラゲです。一方、白いキクラゲは無味無臭で色が半透明のため、他の食材を邪魔しません。多様な料理の材料として活用できると考えました。また、キクラゲは中国からの輸入が9割以上で、生での流通はほとんどありません。そのため、国産キクラゲの需要も高く、可能性を感じました」と副島代表。白

いキクラゲを食用として売り込むことで、多くの料理人から注目を集めています。

### 偶然から生まれた商品

同社の商品開発のきっかけとなる出来事がありました。

「ある日、白いキクラゲの中を切ってみたら三重構造になっていて、その中にコラーゲンの部分があったのでスプーンですくって、たまたま放置していたところ、一日経ってもプルプルのままでした。これはすごい保湿効果があるんじゃないかと調べてみると、プルプルの正体は多糖体でした。いろんな用途に使えるのではないかと将来性を感じました」と副島代表。その保湿性の高さに着目し、柔らかい触感で透明な球体の洗顔せっけん“白美の雫”といったユニークな商品を発売。食品としてだけでなく、美容化粧品の原材料としての利用も

模索し、“唐津コスメティック構想”も視野に、他の企業と共同研究を続けています。

現在、唐津南高校と共同で白いキクラゲを粉末にした素材の特許を出願中。粉末の素材は化粧品のほか、高い栄養価で食品などに応用ができるため、さらなる可能性が期待されています。



代表取締役  
そえじま こうすけ  
副島 幸輔

高い栄養価と保湿成分を  
多く含む白いキクラゲ



## 農業生産法人 グレイスファーム株式会社

☎ 0955-58-2477

[所] 唐津市七山藤川2273

[創業] 平成23年(2011年)

[従業員] 4名

[HP] <http://gracefarm.biz/> グレイスファーム 検索

### このポイント!



白いキクラゲの保湿成分を洗顔せっけんに配合して製品化した“白美の雫”は、地域発の美容商材を表彰するジャパンメイド・ビューティーアワードで審査員賞を受賞。この商品化をきっかけにさらなる農産物の価値を高め、生産から製造、サービスまでを担う6次産業化を進めています。

## 有限会社 サガ・ビネガー

守り続けているのは  
伝統的な製法とこだわり



### 時間をかけるこだわり

天保3年(1832年)に創業し、“右近酢”や健康酢“飲む果実酢”、佐賀県産たまねぎを100%使用した“たまねぎ酢”などの食酢や調味料を製造・販売するサガ・ビネガー。同社のものづくりへのこだわりは、創業時から守り続ける製法にあります。大手メーカーの酢造りは、24時間で、早く安く大量に生産する製法“速醸法”が主流。一方同社は、材料を佐賀の気候に合わせながら90日間をかけて自然醗酵させて仕込み、さらに90日間をかけて貯蔵・熟成させる“静置発酵法”という昔ながらの伝統的な製法を採用しています。

「当社は、醸造初日には、おいしいお酢ができるように神様にお祈りする習わしがあります。その心掛けと、一つの製品づくりにじっくりと時間をかけることで、余計な添加物は一切入れなくても、素材が醸し出す芳醇な香りとまろやかな酸味で、料理を

引き立てるおいしい酢になるのです」と右近社長。こだわりの製法で造られた同社の酢は、健康志向の消費者から人気を集めています。

### さまざまな酢造りに挑戦

こだわりの製法を武器に、トマト、にんにく、大豆など同社は多彩な野菜酢の製造に挑戦しています。現在はさまざまな企業・団体から、農産物を活用した6次産業化商品としての酢の製造・販売の注文が増え、佐賀市のNPO団体からの依頼による“菊芋酢”や、アスパラガスを栽培する農業法人からの依頼による“アスパラ酢”などのOEM※商品ができました。

「当社の強みは、100リットルからの小ロットでも対応できることと、これまでに手掛けた野菜酢の実績です。北は北海道から、南は沖縄まで各地から“うちの野菜

でお酢が造れないですか?”と相談をいただき、いろんな野菜の酢造りを行いました。もちろん失敗もありますが、その経験に基づいた提案もさせていただいています。大手ができない細かいニーズに対応できることが評価されています」と右近社長。伝統の製法へのこだわりと、新しいものづくりへの挑戦。サガ・ビネガーのおいしい酢への探求はこれからも続きます。



※OEM：委託者のブランドで製品を生産すること



代表取締役社長  
うこん まさみち  
右近 雅道

さまざまな素材で  
造られた飲むお酢



## 有限会社サガ・ビネガー

☎ 0952-23-6263

[所] 佐賀市嘉瀬町大字中原1969-3

[創業] 天保3年(1832年)

[従業員] 6名

[HP] <https://www.sagavinegar.jp/> サガ・ビネガー 検索

### このポイント!



伝統的な“静置発酵法”は時間と手間がかかる製法。素材や環境、造る量でも味わいが変わってくるため、一つのタンクの醗酵の進み具合や匂いなどを日々細かくチェックし、状態を見極めることで、サガ・ビネガーにしかできない酢が生まれます。

68  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE

製造業  
(機械金属系)

## シンエイメタルテック株式会社

技術と信頼の精密板金の匠

### 精密板金への挑戦

シンエイメタルテックは、鉄やステンレスの薄板を加工して、一般産業用機械のカバーなどのパーツを製造する精密板金加工の企業です。昭和42年(1967年)に配電盤ボックスを製造する企業として創業。その後、平成に入る頃に高い技術力を要する精密板金の分野に挑戦し、当時は苦勞をすることも数々ありました。

「精密板金は、お客さまから求められた図面に基づきミリ単位で精密にもものづくりを行わないといけません。弊社がより高い技術力を身に付けるために、他社が嫌がるような難しい仕事にあえて挑戦しました。もちろん失敗もありましたが、難しい仕事を繰り返すうちに自然と技術力が高くなりました」と船山常務。さらなる技術力向上のために精密板金の全国大会に挑戦し、平成20年(2008年)と平成25年(2013年)には組立部品の部で金賞を受賞。佐賀

県で受賞したのは同社だけで、特に曲げや溶接、仕上げの技術が他社より優れていることが証明され、企業としてこれまで行ってきたことへの自信になりました。

### お客さまの要望に技術で応える

同社の強みは高い技術力だけではなく、少量多品種、短納期の顧客ニーズに細かく応えているところです。顧客から注文された製品の図面に対して、どのような用途に使うのかといったことをしっかりと確認し、より良いものづくりへの提案をしています。船山常務は「時にはお客さまの工場に行き、図面以上の提案をします。他社では普通やらない提案や短納期の対応をお客さまのためにいき、より信頼を高めることが大切です」と自信を持っています。

また、技術を高めるための人づくりにも力を入れ、若手の役職への登用も積極的

に行っています。さらに、これまで培った技術をしっかりと底上げし、現場力を高めていくための社員教育にも積極的です。

精密板金を核としたいろいろな仕事をワンストップで解決できる企業として、シンエイメタルテックはさらなる成長を続けます。



常務取締役  
ふなやま しんいちろう  
船山 伸一郎

ねじ歯とはすば歯車を  
組み合わせた“ウォームギア”



## シンエイメタルテック株式会社

☎ 0952-44-2150

[所] 神崎市千代田町崎村551

[代表者] 代表取締役 田原 和幸(たばる かずゆき)

[創業] 昭和42年(1967年)

[従業員] 56名

[HP] <http://www.shinei-metaltec.co.jp/> シンエイメタルテック 検索

### ポイント



平成30年(2018年)に開催された板金加工技術を競うコンクール“第30回優秀板金製品技能フェア”で、平成27年(2015年)に続き2度目の経済産業大臣賞に輝きました。受賞したウォームギアは、薄板では難しいとされる溶接もつなぎ目が残らないように仕上げられています。



## 株式会社友樹飲料

清涼飲料水の新たな価値を  
老舗メーカーの挑戦

## 日本一の商品開発

明治35年(1902年)から炭酸飲料を作り続けている友樹飲料。創業者の友田樹吉氏が、小城市牛津の地で当時は珍しかったラムネを販売して以来、同社では瓶入りのサイダーや子ども向けのシャンメリーの製造を中心に、同業者からの委託製造も行ってきました。

平成12年(2000年)、ソフトドリンクの新商品開発を支援するODM※事業を開始。4代目の友田社長は「業界の常識を覆したい」と思い、他のメーカーではなかなかできない、オーダーメイドの飲料を小ロットかつ低コストで生産することに挑戦しました」と話します。その時に飲食店と共同開発したノンアルコールの炭酸飲料“こどもびいる”が話題になり、これが火付け役に。オリーブなど各地の特産品を使ったご当地サイダーや、バーテンダーの要望をかなえたジンジャーエールのほか、多彩なブラン

ド飲料が次々に誕生しました。「当初は年に数件だったものが、今では150~200件に増え、商品開発数は日本一になりました。“スワンサイダー”などこれまでの自社商品を大切に受け継ぎながら、技術と発想力を生かしたユニークな商品を作り続けています」と友田社長は話します。



## 天然水を炭酸水に

清水が流れ虫も飛び交う小城市の祇園川そばに平成24年(2012年)4月、新社屋と工場“蛍の郷ファクトリーパーク”が完成。工場見学を受け付けるほか、自社商品のドリンクバーやショップを併設するなど、“ほんの少しの遊び心を忘れない”という友田社長の経営方針がここにも伺えます。

自然豊かな環境で地下から湧き出る天然水をそのまま使ったスパークリングウォーターは、現代のニーズにもマッチした商品として成長。また、令和2年(2020年)4月からの操業を目指す山梨県富士吉田市の富士山工場では、官民連携で富士山の天然水を利用した商品展開を行う予定です。「富士山を訪れる外国の方にも佐賀の企業の取組を発信したい」と友田社長。

ただ飲み物を作るだけでなく、清涼飲料水を通して地域を豊かにし、さらに友樹飲料の未来へ新たな可能性を広げています。

※ODM:委託者のブランドで製品を設計・生産すること

代表取締役社長  
ともだ さとし  
友田 諭幅広い世代に親しまれて  
いる炭酸飲料

## 株式会社友樹飲料

☎ 0952-72-5588

[所]小城市小城町岩蔵2575-3

[創業]明治35年(1902年)

[従業員]135名

[HP] <http://www.tomomasu.co.jp/>

友樹飲料 検索

## このポイント!



創業以来、百数十年にわたりラムネやサイダーなどの炭酸飲料や清涼飲料水を製造。日本で初めて天然水のスパークリング商品を誕生させ、人気を集めています。もう一つの主力であるODM事業では、小ロットでも生産できる体制を整え、各地の地サイダーなどを企画から販売までトータルサポートしています。



70  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



製造業  
(地場産業系)

## 株式会社 中村製材所

持続的な森林経営で  
木材の未来を創る

### 環境にやさしい木材を

昭和25年(1950年)創業の中村製材所は、国内産の木材を中心に加工・販売を行っています。木材業界の環境は時代とともに変化し、20年前には国内産の木材の自給率が20%を切っていました。そこで中村代表は、国内の森林の状況を危惧し、“これまで以上に国内産の木材の需要が増え、伐採と植林の循環ができるようにならないか”と考え、平成18年(2006年)からFSC<sup>※1</sup>認証された木材を取り扱うようになりました。

「現在ではSDGs<sup>※2</sup>と言われており、私たちはそれをキーワードに持続可能な製造業を模索しています。環境に配慮された木材はまだまだ少なく、FSC<sup>®</sup>認証された木材だけだと販路拡大も難しい。その中で、いかに高い付加価値を木材につけるかということでオリジナル商品のSKINWOOD<sup>®</sup>ができました。若い木を使うことで、伐採から

植林までのサイクルを早められるため、健全な森林経営と林産業に役立ちます」と中村代表は話します。

### 木で人の心を動かす

令和7年(2025年)までに国内産の木材の自給率を50%まで引き上げる木材利用促進法が成立したことで、今後、国内産の木材の需要が増えることが見込まれています。そこに国産の若い木を材料として使うスキンウッドのビジネスチャンスを狙っています。

「スキンウッドは、比較的小さな若い木を柾目(平行な木目)にできて、意匠をそろえやすく、いろいろな用途に使用できる可能性があります。さらなるブランディングと販売促進が必要ですね」と中村代表。

今後は、SDGs達成のためにさまざまな連携が必要と考えています。「スキンウッド

の活用にしても、自社努力だけではなく、自治体や団体、企業などと幅広く連携していくことで新しい発想や商品開発のビジネスモデルができるのではないかと期待しています」と展望を語る中村代表。会社のビジョンである“持続可能な資源から新しい価値の創造を通じて人々を笑顔にする”を実現し、木材で持続可能な社会を目指し課題解決へ取り組みます。



※1 FSC<sup>®</sup>: 森林管理協議会。森林の管理や伐採が環境および地域社会に配慮して行われている森林を認証する国際機関  
※2 SDGs: 持続可能な開発目標。平成27年(2015年)の国連サミットで採択された国際社会共通の目標



代表取締役  
なかむら のぶあき  
中村 展章

木材製造特許技術の  
スキンウッド



## 株式会社中村製材所

☎ 0952-47-3100

[所] 佐賀市諸富町為重385-1

[創業] 昭和25年(1950年)

[従業員] 5名

[HP] <http://kanejin.jp/> 中村製材所 検索

### このポイント



スキンウッドは、中村製材所の特許技術で佐賀県産などの若い木材をつなぎ合わせ薄くスライスした板材。広い面積の均一な柾目は、それまでケミカルな壁紙や大木を使うことでしか実現できなかったものの、スキンウッドによって本物の木で施工することができるようになりました。ウッドデザイン賞2018も受賞しています。

71  
SAGA SAIKO  
COMPANY PROFILE



卸売業・小売業

にいぜろいちろく

## 2016株式会社

有田の未来を担う“2016/”



Kenta Hasegawa

### “2016/”の誕生

2016は平成27年（2015年）に創業し、翌年にはデザイナーの柳原照弘氏らによって作り上げられた新ブランド“2016/”を発表しました。柳原氏は世界で高い評価を受けている百田陶園の“1616/arita japan”ブランドを過去に手掛けており、“2016/”は有田焼創業400年事業に向けて立ち上げたプロジェクトの中で、海外のデザイナーとのコラボを他の窯元・商社にも広げ、有田の町全体で有田焼を世界に送り出そうとの思いから生まれたブランドです。

プロジェクトの目的は2つ。有田焼の職人技術と専門知識に、国際的に活躍するデザイナーの着想や経験値を一体化させ、新しい商品づくりを行うことと、参加企業による完全な事業化を平成28年（2016年）以降に目指すことでした。この目的を掲げて参加企業を募り、10の窯元と6つの商社が参加することになりました。「1616/arita

japan”の成功事例も自分たちだけではなく、他の窯元・商社たちが同じように取り組まないことには産業として成長していきません。時代の流れをつかみ、有田焼を再構築したいと考えました」と百田代表。“2016/”の商品はミラノサローネ※で初めて発表され、高い評価を受けました。

### 長く愛される新たな有田焼のブランドとして

プロジェクトではコラボした海外のデザイナー全員が有田に足を運び、参加企業とじかにやりとりをして商品づくりを行いました。長く使ってもらえる器のブランドにしていくことが今後の目標だと百田代表は語ります。

「プロジェクトに参加した窯元は大変刺激になったと思います。会社を立ち上げて4年になりますが、参加して業績が落ちた窯元は一つもありません。このプロジェク

トを通じてデザイナーとじかにコミュニケーションができたおかげで、一つの食器に次の付加価値をつけることができました。窯元には、自分たちの技術への自信と、海外という新しい市場に通用するデザインの考え方が身に付いたと思います。関わった窯元が10年後には有田の中核を担ってくれると期待しています」と、“2016/”は有田の未来をつくる一つのブランドとして産地全体に広がり、未来に向けて着実に歩み始めています。



Scheltens & Abbenes

※ミラノサローネ：イタリアのミラノで毎年開催される世界最大規模の家具見本市



代表取締役

ももた のりゆき  
百田 憲由

16組のデザイナーと  
コラボした有田焼



Yasunori Shimomura

## 2016株式会社

☎0955-42-2016

[所] 西松浦郡有田町赤坂丙2351-169

[創業] 平成27年（2015年）

[従業員] 13名

[HP] <http://www.2016arita.jp/>

2016株式会社 検索

### このポイント



Kenta Hasegawa

“2016/”は、クリエイティブディレクターである柳原照弘氏をはじめ、16組の多様な文化的背景を持つデザイナーたちが有田焼を再解釈し、有田の技術を結集して、世界の日常に寄り添う新たなスタンダード商品として誕生しました。

## 株式会社メルシー

最新の生地で  
ファッションをやさしく  
女性のライフスタイルでも  
問題を解決

### 毎日着たくなる着心地の良い服

平成23年(2011年)、佐賀の街にレディースセレクトショップとしてメルシーがオープンし、そのオシャレでハイクラスなアイテムは多くの女性から支持を集めています。

さらにネット販売もスタートし、日本最大のファッション直販サイトZOZOTOWNに出店するまでに成長。

お客様の声に耳を傾ける中で、ファッションとは“流行を追い続けるのではなく、素直に自分が着たい服を着ること”と定義し、令和元年(2019年)に自社ブランド“メルシー”の衣類を企画・生産から販売まで手掛けるファクトリーブランドに転換しました。

「シンプルな構造でありながらも実用性に富み、毎日着たいと思えるような普遍的な服づくりを目指しています。ファッションの最先端“フランス”の街並みを歩く人々の生活様式を現代日本的に解釈して、“清潔

感”、“現実的”そして“時代性”という3つのキーワードを軸に、素材にもこだわり魅力ある洋服を表現しています」と松田代表。

着心地の良い服づくりのため、サンプルの試着やアンケートを依頼するなど、お客様のリアルな声を集めて検証し、製品化を進めています。

### ファッションから未来を考える

“佐賀を輝く女性の街にする”をモットーに掲げる同社では、働き方も柔軟です。

仕事のスキルがあれば、フルタイムでの出勤ができなくても責任を持って働いてもらいたいと、店長であっても家事・育児との両立ができるようになんと勤務は週3日。

それでも時間が限られているからこそ、一人一人が精一杯やるべき仕事に取り組み、働く楽しさから笑顔を輝かせています。女性としての転機を迎えても、自分に

合うキャリアを諦めずに長く働ける環境を整えています。

同社は世界にも目を向け、世界中の女性に着てもらえる服を届けていきたいと海外展開も視野に入れています。

“ありがとう”の意味を込めた“メルシー”の服は、優しく包まれるような温もりを感じます。



代表取締役 CEO  
まつだ じゅん  
松田 潤

ファッションを楽しめる  
洋服の数々



## 株式会社メルシー

☎ 0952-27-3888

[所] 佐賀市呉服元町2-18

[創業] 平成23年(2011年)

[従業員] 9名

[HP] <https://merci-saga.com/> メルシー 佐賀 検索

### このポイント!



自社ネット販売の売上が年々増加しており、全国各地にお客さまが増えていることから、全国のお客さまと実際にお会いして、リアルな場でコミュニケーションが取れるアンテナショップを、全国各地で開催しています。顔の見えないネット通販でも、お客さまとのコミュニティを大切にしています。

# さくいん

## INDEX

<b>あ</b>	株式会社AQUAPASS	49	天山酒造株式会社	60	
	味の素株式会社 九州事業所	34	東亜工機株式会社	12	
	株式会社飛鳥工房	24	株式会社東洋新薬	29	
	株式会社EWMファクトリー	35	株式会社戸上電機製作所	30	
	株式会社イマリ	36	株式会社友樹飲料	72	
	岩尾磁器工業株式会社	37	トヨタ紡織九州株式会社	31	
	株式会社ウェアサーブ	50	株式会社トレミー 九州唐津工場	61	
	A-noker株式会社	68			
	株式会社大橋	38	<b>な</b>	株式会社中島製作所	62
	株式会社オプティム	4		株式会社中村	32
<b>か</b>	株式会社唐津プレジジョン	5		株式会社中村製材所	73
	株式会社川口スチール工業	51		株式会社中村電機製作所	13
	木村情報技術株式会社	25		株式会社中山鉄工所	14
	九州住電精密株式会社	52		株式会社名村造船所	15
	九州精密工業株式会社	53		2016株式会社	74
	株式会社九州トリシマ	54		株式会社西村鐵工所	16
	共立エレクトクス株式会社	26		日本タングステン株式会社 基山工場	63
	熊本電気工業株式会社	6		日本ハードメタル株式会社	44
	農業生産法人グレイスファーム株式会社	69	<b>は</b>	久光製薬株式会社	17
	小糸九州株式会社	7		有限会社平田椅子製作所	64
	古伊万里酒造有限会社	55		富久千代酒造有限会社	18
	株式会社香田製作所	27		福博印刷株式会社	45
<b>さ</b>	株式会社佐賀鉄工所	8		株式会社ブリヂストン 鳥栖工場	46
	株式会社佐賀電算センター	39		株式会社ブルーム	19
	有限会社サガ・ビネガー	70	<b>ま</b>	株式会社ミゾタ	65
	株式会社SUMCO	9		宮崎鉄工株式会社	47
	サンポー食品株式会社	56		宮島醤油株式会社	33
	昭栄化学工業株式会社 鳥栖事業所	40		株式会社メルシー	75
	聖徳ゼロテック株式会社	41		株式会社百田陶園	20
	シンエイメタルテック株式会社	71		森鉄工株式会社	21
	西研グラフィックス株式会社	57	<b>や</b>	株式会社安永	66
	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 佐賀コールセンター室	28		ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社	22
<b>た</b>	田口電機工業株式会社	10		吉田刃物株式会社	67
	武井電機工業株式会社	58	<b>ら</b>	レグナテック株式会社	48
	竹下製菓株式会社	59	<b>わ</b>	株式会社ワイビーエム	23
	田中電子工業株式会社	42			
	株式会社炭化	11			
	チクシ電気株式会社 佐賀工場	43			



**発行・お問い合わせ先**

---

令和2年(2020年)2月発行  
佐賀県 産業労働部 ものづくり産業課  
〒840-8570 佐賀市城内1-1-59  
TEL:0952-25-7421 FAX:0952-25-7282  
E-mail:monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp